夕刊
滿洲日報
八月六日

哈市の支那官憲またも共產黨員百三十名逮捕
東支鐵問題に態度强硬なる勞農側に對する牽制策か

【ハルビン五日發電】本日支那官憲はまたもやロシア共產黨員百三十名を逮捕したが、右は露支和平交渉に對するロシアの態度强硬なるため之が牽制策と見られてゐる

綏芬南方で兩軍衝突す 支那軍移動し住民不安

【ハルビン五日發電】本日ボクラニチナヤよりの報道に依れば四日夜十二時頃同地の南方十六里の地點で露支兩軍衝突し機關銃の火蓋を切つたが大事に至らず平靜に歸した、尙之がため支那軍は移動をはじめ同地方の住民は戰々兢々としてゐると

露支交渉成否は勞農側の誠意如何に因る
外交部長王氏語る

【南京五日發電】滿洲里における露支豫備交渉につき王正廷氏は語る
今までに外交部に達した報告に依れば交渉の結果は良好とも險惡とも云ひ難く、只支那側としては豫定の目的を達して居ないといふ程度だ、この豫備交渉は正式交渉を開くについての手續上に關する意見の交換をやつてゐるので、ロシア側に誠意があつたならば交渉は圓滿に運ぶ、要するに今後交渉が進展するかどうかはロシア側の誠意の如何に因る

原狀復歸により解決點に達せん
北平外交團の觀測

【北平五日發電】奉天に於ける張學良、孫科、朱紹陽三氏商議の結果、ロシアの東鐵原狀恢復要求を原則として承認したことは支那側として當然の態度で國際的環境が日に非なる今日此上强硬態度に出づることは絕對的不可能なる立場に在るからである、外交團方面に於ても當然斯くあるべきを夙に豫知し居り支那側の承認程度が判明せぬが、ロシアは恐らくこの原則以上の承認を以て面目を立て正式交渉に移れば相當長引くとしても略事件前の狀態に大差なき解決點に進むべく樂觀してゐる

東邊道の交渉署愈よ閉鎖に決定
本年九月末日限り

【安東特電六日發】東邊道管內各地に於ける一切の外交を掌つてゐる交渉署及びその分署は先般既に國民政府の訓令に依り撤廢することに決し目下夫々閉鎖準備中であるが、愈々來る九月末日限り閉鎖することになり殘務一切の事務は本年末までに必ず整理することになつた由であるが閉鎖後の交渉問題は各地公安局長が取扱ふことになるであらうと

重要協議を了へ孫科氏けふ離奉
鐵道案は歸寧後に決定か

【奉天特電六日發】去る四日來奉せる鐵道部長孫科氏は東支鐵道問題、北寧（京奉）線の中央移管問題等に關し、學良氏と會商し豫定の通り五日午後十一時瀋陽驛發の北寧線で離奉した、氏は天津に立寄り歸寧の筈であるが、孫科氏來奉後學良氏は非常に驩待し來奉當夜は北陵の別邸で朱紹陽氏を陪賓とし、盛大な歡迎會を催し更に昨夜は六時より長官公署に於て送別の宴を張つた、問題の北寧鐵道の中央移管に對し如何なる結果を見たかは知り得ないが、孫氏の歸寧後東鐵問題と共に何とか決定するであらうと觀測されてゐる

從業員不足から支那鐵道は打擊
東鐵應援派遣の結果

支那側の東鐵回收問題から東鐵從事員ロシア人は辭職するもの續出し、ために列車運行も全く不圓滑に陷つてゐるが、奉天交通委員會ではその對策として四洮、洮昂、平奉（山海關以東）奉海、海吉、吉長、吉敦の各鐵道に對し技術優秀な若手の驛長、助役、機關士、連結方等を二十名乃至三十名宛選拔せしめ各鐵道局に現職のまゝ東鐵へ派遣したが、長春、寬城子等も此等の應援者によつて事務を執るに至り、二十四五歲の若い驛長が眞劍味になつて活動してゐるため、滿鐵への連絡貨物など目立つて敏速に行はれるに至つたと、然し晚秋の特產出廻り期までに東鐵問題が解決して應援從事員が夫々所屬鐵道に復歸せぬ場合は東鐵は勿論各支那鐵道も輸送上に致命的大打擊を被るであらうと見られてゐる、從つて滿鐵としてもその影響は甚大で特產輸送上には可なり大きな齟齬を生ずるものと觀測されてゐる

木下關東長官けさ辭表提出
拓相を官邸に訪ふて

【東京六日發至急報】木下關東長官は六日午前九時十分松田拓相を官邸に訪問し正式に辭表を提出同四十分辭去した、松田拓相は直に濱口首相を訪ひ此旨を報告した

後任は太田氏に決定

【東京六日發至急報】木下關東長官辭任に就き濱口首相は明日葉山御用邸に伺候、天皇陛下に拜謁後任に太田政弘氏を內奏御裁可を經て直に親任式を行はるゝ筈

河北省黨部の委員總辭職

【天津五日發電】河北省黨部執行委員は從來再三中央に辭意を陳じたが前日執行委員會で八月五日愈々總辭職する事を決議した其理由は河北省現地の實力者に壓迫され仕事が出來ないと云ふので委員連名中央に電請した電文內容は左の如し
國民革命目前の重要工作は反帝國主義の民族爭鬪と反封建勢力の民主爭鬪とである、現在帝國主義は其攻勢益々甚しく封建勢力も愈々跋扈を逞しうして居るが中央は事實を顧慮するに過ぎ河北環境は異常に劣惡で處々工作進行が妨害されて居る、本職等は負ふべき革命責任を負擔する方法なく前に再三辭職を申請したが今日猶明示無く依つて止むを得ず八月五日より斷然辭職し各部の工作は秘書に維持せしむる決心をした

石常間の有軌自動車計畫

【吉林特電六日發】當地崇信銀號經理初滌章、開豐有軌汽車公司經理李蔭芳外地方紳商等の發起にて東支南部線石頭城子より五常縣に至る石五鐵便有軌汽車（自動車）路敷設を計畫し最近吉林省政府及建設廳に請願書を提出した、其請願書に依れば石頭城子五常縣城間二百四十餘支里とし其敷設資金百二十萬元の民間合資組織として先づ其四分の一即ち三十萬元を醵出して石頭城子榆樹間の第一段を修築通車後更に榆樹五常間の第二段を續築する計畫である、而して本事業は民業鐵路公司章程に則り其手續を具備しをり省當局に於ても實業の發展交通の利便を圖る見地から之を受理し近く省政府委員會に提出し審議する筈

冷藏、果實兩倉庫大連埠頭に設置
工費四十萬圓を投じ

滿鐵農務課に於て豫てより計畫中の冷藏庫新設問題は略具體案の作製を了して先月下旬カンサルティング、エンヂニヤーとして內地より招聘せる米人ユーデル氏の專門的意見をも徵した結果愈々最近

冷藏裝置　樣式、收容規模等の決定を見、設計圖も出來上つたので六日午後關係書類を松岡副總裁の手許に提出し決裁を受けることとなつた、尙ほ仄聞する所によれば滿鐵としては例の東亞勸業の滿蒙牛大量輸出に必要缺くべからざる肉類冷藏庫の設備と現在年產（州內外共）約二百萬貫、昭和五年度は收量約四百五十七萬貫、同十年度に於て千四、五百萬貫を豫想されつゝある滿洲產林檎の輸出港としての大規模な

果實倉庫　の新設を急いで居るので工費約四十萬圓は追加豫算として副總裁の決裁を受け大連埠頭に肉類、果實兩冷藏庫が併設される模樣である、就中果實倉庫は相當大規模のものらしく現在滿洲に輸入さるゝ甘橘類、バナナ、等年約五十萬貫內外を收納すると共に平均樹齡五、六年の現在の滿洲の林檎が今後加速度的に年々增產する輸出林檎の南支南洋方面への

積出港と　しての完全な倉庫設備を完成せんとするものであると、因に滿洲林檎は平均樹齡十年で一本に付約十貫の收穫を見つゝありと

松岡副總裁見送順序
總裁の際と同樣

滿鐵副總裁松岡洋右氏は愈々七日午前十時出帆の香港丸にて離滿東上することゝなつたが、滿鐵では過般離滿した山本總裁を見送つた際と同樣盛大な見送りをすることゝし、奉天、青島、南島の三ランチを仕立て奉天丸を一般社員に青島丸を見習學生に南島丸を重役及部課長用にして樂隊を入れ港外まで賑々しく見送ることになつた、而して一般社員及見習生は甲岸壁から直接ランチに乘込み、重役部課長は棧橋に副總裁を送つた後乘船港外へ赴く手筈となつてゐる

更任する芳澤公使暇乞に昨夜東京發歸任
ゴルフ本一册をポケットに洒脫なる調子で時局を語る

【東京六日發電】更迭を前に殘務整理及び國民政府要路への暇乞のため一旦歸任する芳澤公使は後任に內定して居る佐分利參事官、有田アジア局長、其他の見送りを受けて五日午後八時四十五分東京驛を出發したが、公使はゴルフの本一册をポケットに突つ込んだ呑氣さで車中往訪の記者に東鐵問題其他について洒脫な調子で左の如く語つた

在支六年

今度の旅程は六日午前十一時長崎丸で神戶を出て上海、南京に五、六日間それから北平に着いて此處にも五、六日間滯在し其後は朝鮮經由又は大連から船で遲くも今月末までには歸朝する積りだ、南京では勿論蔣首席をはじめ國民政府の人達と會ふが其用向は御想像に任せる、北平には佛國公使は居ないが米白伊和の各國公使には會へると思ふ 歸つてから歐洲の大使になるつて？、そんなことは豫想する譯には行かない、私も大正十二年に支那公使になつてから滿六年にもなる、一つ「在支六年」とでもいふ題で回想錄でも書くかねハ、、、、、今年になつてから三回も支那と日本との間を往復してまるで旅行氣分だ、何時になつたら旅が止むことかね
なほ公使は現下の外交問題について左の如く語つた

對支交渉

私は今度南京政府の人達と會つても條約交渉の話はせぬ、勿論話の模樣では之に言及することがあるかも知れないが兎に角交渉はしない、重光總領事も此問題では未だ南京政府との打合せもして居らぬから當分交渉が始まることはなからう、大使館昇格も一、二ヶ月中に變化があるやうなことはない、滿蒙の外交機移管問題は支那からは何も申出はないが、現在の狀態では自然南京政府が外交權を統一してゐるので自然滿蒙交渉も南京政府に持つて行かなければ物になるまい

東鐵問題

露支問題に對する日本の態度は支那一般から疑はれてゐるやうだが、政府としては政友會でも民政黨でもいづれも國家的立場から此問題を扱ふのでいづれの國に加擔すると云ふやうなことはない、今の所居中調停などゝ云ふことは考へられて居ないが双方の間に立つて取持つ位はあるかも知れない、然し日本の權益が侵害されない限り、即ち現在の狀態で進めば何も積極的に調停の勞を取る必要ありとは信ぜられない、現在の歐亞交通斷絕の狀態が長引いたらどうかつて？、然し烏蘇里線を廻れば二日遲れるだけで行けるんだからたつた二日の問題で支那やロシアを壓迫することも出來まい

大觀小觀

料理學者であると共に人間學の卒業者たる木下謙次郎氏はアッサリと辭表を提出。
◇
夏向きといふものか。
◇
芳澤謙吉氏「在支六年」の北京公使から、安達駐佛大使の後任たるべしといふ。
◇
芳澤氏の後任、關稅特別會議以來の事情よりすれば、當然に佐分利貞男氏が踏襲せん。
◇
露支交渉、支那側はクーデター前の原狀還元に讓步したといふ。
◇
當然に落ちつくべきところに落ちて行くのが、國際外交においても當然のこと。
◇
然る上にて、必要あらば露支協定、奉露協定の改訂に努めよ。
◇
而して兎にかく、東支鐵道による歐亞の連絡を急げ。
◇
今日の准決勝戰、午後三時からいよいよ滿俱と京城。
◇
これは先づ滿俱のもの、而して最後の決勝戰も滿俱に、フレイフレイ滿俱。

式通開路道新間大金のふけ（けふの金大間新道路開通式）

土に即する人々（七）
外國へ輸出する草花の種子
◇―千田萬三

險難な一路をひたむきに進む「土を耕す人々」、私はこの人々の生活態度と、その環境の一部分を傳へたと思ふ。そこには決してバラの花のまき散らされた坦道と云つたものは見出せない、即ち金に餘裕のある人の趣味ごとゝしての農園でない限りは、私はこの勤苦い「土に即する人々」の生活の中に今一つの休憩場をつくりたいと思ふ、それは「草花」のアメリカ輸出と云ふ綺麗な「土の仕事」をこゝにはさむことによつて。
▲▼
海城の「滿洲輸出種子栽培組合」の原種圃は今が一年のうちで最も賑やかな、草花の扮裝くらべのシーズンである。大ていの草花は咲きそめてゐる、百日草、コスモス、美女櫻、金盞花、金魚草、おしろい花、百合等が十八の娘の如く香ぐはしく咲いてゐる。

草花の輸出種子栽培組合の出來たのは大正十五年であつた、現在海城の原種圃で念を入れてつくつた草花の種子は、その組合員である奉天以南の邦人農家四十戶に分配されてゐる、さてこの種子を分けて貰つた組合員は、花が過ぎ實が結んだ時には、これを再び組合本部に送りそしてこれを纏めて外國へ輸出すると云ふ順路をとるのである。
▲▼
海城原種圃五百萬坪の畑には、すくすくと外國へ嫁入る草花が伸びてゐる、大原さんはこの自稱東洋一の花畑の中に私を案內し乍ら美しくも興味ある話をつゞける。
昭和元年にはじめたもので未だ販路と云つたものもさう廣くはない、がしかし將來は頗る有望である、即ち左記の世界に比類のない條件を備へてゐるから、
（一）土地
（二）勞力
滿洲からゆく花の種子の八割はアメリカである、はじまつて三四年にしかならぬこの組合から既に年々三、四萬圓の花の種子がゆく、これは年々增加してゆく傾向を持つことは勿論である、現在アメリカの市場にはドイツ、オランダ方面の種子が非常な額を以て入りつゝあると、これは長い間の取引地盤の關係からである、しかし乍ら「安くつてよい」と云ふ點から、いづれは滿洲の種子がこれらの地盤を蠶食してゆくことは遣り方によつては出來ると信ぜられる、勞力の安い、そして地代の低廉なこの滿洲である故に決して外國にはひけは取るまい、今でさえも歐洲ものよりは三割方安くアメリカに出してゐると云ふ。
▲▼
海城の原種圃では日本もの以外に外國から花の種をとつてさまざまな變種をつくり、それを再び外國に送ると云ふ段取りにもなつてゐる、この草花事業は奉天以南殊に關東州內に於てよく成長するが、これは果樹園の間作として最も適當な「土の仕事」であらう。
日本の國際貸借を滿洲の草花輸出によつて、どうとかしやうと云ふ大それた意味ではないが、而もアメリカ對手であるだけこの仕事は面白いと思へる【寫眞は海城原種圃】

大連金州間道路けふ開通式擧行
金州南門外において

大正十四年關東廳に於て州內幹線道路の計畫をなし、大連、金州、普蘭店間及び旅順、營城子、周水子間、合せて二十九里の開鑿工事は百五十五萬圓の經費を以て始められたが、この內大連、金州間七里八丁の區間は五十三萬圓の經費を以て去る七月六日開通を見るに至つたので、これが

開通式は　今六日午前十時金州南門外に於て擧行された、集つた顏觸れは、神田內務局長、田中大連民政署長、藤原旅順民政署長、本莊普蘭店民政署長、竹內土木課長、中村技師、石本大連市長等でまづ竹內土木課長の挨拶あり次いで神田內務局長、石本大連市長、曹金州會長の各祝辭があり中村技師の

工事報告　があり、これが終るや金州小學校に於て祝賀宴が賑やかに催されて正午開通式は終つた

天氣豫報

七日　曇り一時晴但驟雨模樣　南東の風
日出四時五十八分　日沒七時
滿潮前十一時四分後十一時三十五分
干潮前五時五分　午後六時十五分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七、六	二八、六
旅順	二四、七	二八、五
營口	二一、四	三〇、七
奉天	二一、二	三〇、七
長春	二〇、九	三一、一

內地の參加者を乘せ 日本一周船の入港
けふ市內を見物し明日旅順へ いよく八日解纜

豆船あめりか丸を我家として日本一周の涼しい旅――ジャパンツーリスト、ビューロー主催大阪商船及本社後援の旅行團はいよく八日正午大連解纜壯航につくこととなつたが、これに先だち用船あめりか丸は內地からの參加團員を乘せて六日午前九時入港滿船飾して横腹にツーリスト、ビューロー日本一周船と白く大きく書き出した巨體を九時半岸壁に横付けした、一行は頗る元氣で老若男女百八十六名百萬長者ありプロ文士あり七十の老翁老媼あり若き學生ありで先づ大連埠頭の規模に驚きの眼をみひらく

ビューロー及び本社員多數の出迎へを受けて上陸するや數十輛の貸切自動車を連ねて山縣通りから滿鐵本社前大廣場を經て星ケ浦に到着十一時まで海濱を散策して晝食をとり正午から小崗子露天市場、露西亞町滿蒙資源館などを觀察し午後二時滿鐵社員倶樂部に於ける本社主催の歡迎會に臨み三時から一時間に亘つて高柳本社長の滿蒙事情に關する講演を聽き午後四時解散市中見物に時を過し夜は船內に一泊するが明七日には午前七時埠頭出發七時五十分發列車を以て旅順に赴き戰跡博物館等の見學をなす筈である

岸壁についた一周船
寫眞下圖は瀨口船長(左)と岡田事務長

初音町殺人の犯行を自白
下郡春次郎が眞犯人

昨紙夕刊所報の平壤賑町の遊廓で詐欺竊盜被疑者として捕へられた下郡春次郎(三二)は取調中大連初音町工專助教授小河內氏妻女殺しの嫌疑濃厚との照會で大連署より上郡山刑事同地へ出張共力取調中の處愈々右殺人眞犯人なる事を自白したと大連署へ入電があつたと

夕涼み 探偵綺譚 【二】
馬賊の巣窟に狂亂の巡査の妻女を救ふ (下)
老孤山慘劇事件

夜が明けて追々二番手三番手の救援隊が馳付け村の支那人等も馳せ集つて辛うじて漸く火を消し止め、黒焦げになつた人馬の死體を收容したが、茲に一つ何とも奇怪なことは、元來此の派出所には一人の妻帶者と一人の獨身者の巡査が詰めてゐたので、つまり男二人に女一人の都合三人住つてゐた筈の處、黒焦の死體を檢めて見ると二人の內一名は確に田崎三吉と呼ぶ獨身者の巡査に違ひないが、他の一名は燃え殘りの衣片や骨相から判斷してもどうしても他の一巡査、即ち妻帶者の杉山榮藏巡査ではない。

◇ ◇

而も更に不思議なことは、男の巡査さへ戶外へ逃げ出されなかつた賊の包圍攻擊中に在つて、杉山巡査の妻君の死體丈けが見當らない事だつた。で段々支那人共に前後の模樣を聞き糺して見ると、杉山巡査は丁度其夜公用の爲め大連に出た不在中で、派出所には田崎巡査と杉山夫人の外に賣藥行商人が一人偶然泊り合してゐた。然るに突然襲擊した馬賊共は逸早く杉山巡査の妻女を生捕にして巣窟に拉し去り、其の後で派出所の裏表を外部から防遏して家の四方から火を點けた。屋內からは田崎巡査と賣藥屋が彈丸の有る限り發砲して應戰する內に、猛火は遠慮なく建物全部に燃え擴がつて、遂に此の世からなる焦熱地獄の苦みを受けつゝ無慘に燒死したものと判つた。

◇ ◇

其內杉山巡査も急報に接して馳せ歸り、最愛の妻が馬賊のために拉し去られた事を聞いて無念の齒嚙みして口惜しがり、男泣きに泣いた。金州の警察では愈々捨て置けずと、大擧して馬賊共の巣窟を包圍し、殘念ながら二人の首魁者は逸したけれど、其の他は殆と全滅せしめた位痛快にやつゝけ、巣窟の一室に監禁されてゐた杉山巡査の妻女を漸く發見して奪ひ返したが、妻女は賊共の言語に絕した凌辱に、其時殆ど半狂亂となつてゐた。賊の巨魁趙登喜は其後間もなく警察隊との交戰に戰死し、程經て呂永發も到頭逮捕されたが、當時は未だ斯る兇惡極まる馬賊共に對しては、逮捕次第斬罪に處してゐた時代で、呂永發も金州附近のとある丘上に引出され、公衆の前で首を刎られたが、此の凄い光景を見て、態々好奇に柳樹屯から見物に來てゐた日本人酌婦の一人が氣絕したのは滑稽なエピソードだつた。この金州老孤山派出所の慘劇事件は、關東州始政以來我が警察の取扱つた犯罪事件の內で、最も劇的なテンポを有つ最も古い記錄の一つである。

褚氏取引の相場慘落
また小遣稼ぎ

相場は慘落したが褚玉璞氏の身柄取引が又再發して居る、市內雲井町一番地元褚氏部下第五軍三十一師軍長某氏は過日劉珍年部下梁立桂氏の下に就職を頼みに行き煙臺軍官學校に入つたが例の褚氏釋放の件に付き梁師長に懇願せる處運動資金として四萬元出せと言はれ二日資金融通の爲歸連したが例の策士の小遣ひとりだらうと言はれて居る

共産黨の嫌疑者
竊盜の餘罪

【奉天特信】四日午前十時頃共産黨員の嫌疑を受け檢擧された金州生れ大連西川商店員閻家桐(三〇)は一日奉天驛前瀋陽旅館分號に於て行はれた共産黨の宣傳ビラ撒布事件の際同順館に投宿してゐたが其事件と同時に城內方面に姿を晦ましたので更に共産黨の濃厚なる嫌疑を受け鋭意捜查中のもので四日浪速通一六老精華眼鏡店で發見し引致されたものである彼は共産黨については絕對口を緘して自白しないがその裏面に意外にも竊盜罪のあることが判明した即ち彼は王之仲と詐稱し老精華眼鏡店に出入中同店の懷中時計數個その他金鎖萬年筆等價格百五十圓のものを竊取してゐたものである

釜山から出發
マラソン旅行

五日旅順をスタートして旅順釜山間のマラソン旅行を決行することになつてゐた埼玉縣大宮尋常高等小學校訓導福安鐵一氏は豫定を變更し大連滿鐵本社前を最終點として釜山を出發した模樣である

室內樂の權威 絃樂四部合奏
ハイドウン、クアルテット 來る十日に大演奏會

本年度に於ける滿洲音樂界最大の收穫として滿鐵音樂會主催、本社後援の下に今回我が國に於て最も古い歷史と充實せる內容を有し室內樂の權威として今や世界的にも其の名を知られてゐる絃樂四部合奏團ハイドウン、クアルテット宮內省樂師芝祐孟、安倍季巖、杉山長谷夫、多基永四氏を聘し來る十日午後七時半より協和會館に於て大演奏會を開催する事になつた

ハイドウン、クアルテットは今から十八年前即ち明治四十五年日本で初めての室內樂として創立され、爾來幾多の困難と戰つて漸く完成されたもので現在宮中音師として世界的に名譽ある樂團を組織してゐる部員は第一ヴアイオリン芝祐孟第二ヴアイオリン多忠亮ヴイオーラ杉山長谷夫ヴイオロンチエロ多基永の四氏で何れも樂界に立派な獨奏家としての名聲を博して居る人達で、內多忠亮氏は病氣の爲め安倍季巖氏が代理として一行と共に來滿する筈であるが、此の四重奏は同等の資格ある事を條件とし各自の獨奏部を有する小人數の合奏であるから、樂曲の全體を通じて如何なる纖細な部分に就ても各演奏者の働きが明かに微妙な點まで感ぜられ、各部の奏者が全く其曲中に浸り味ひつゝ表現する音樂の自然的リズムの流れの集りとも云ふべき神韻の漂渺さがある譯で、此樂團の來連は必ず在滿一般好樂家に絕大の衝動を喚起するであらう

一行は八日着連の筈で大連演奏後は旅順、奉天、撫順、長春、哈爾賓、安東等各地に巡演し朝鮮を經て歸京の豫定である寫眞前列右杉山氏左芝氏後列右多氏左安倍氏

太平洋横斷の再擧を計畫
目下使用機を設計中 決行期は明年の九月

【東京特電六日發】全國民からの寄附により熱烈な期待の下に計畫された我太平洋横斷飛行は調查準備の粗漏より遂に決行不可能となつたにつき帝國飛行協會では是非ともこの不面目を一擧に恢復せんと會長阪谷男はじめ小松新總務理事、杉浦庶務主任の手で極秘裡に横斷飛行再擧の計畫を進めてゐる使用機は目下關西某飛行機製作所にて設計せしめつゝあり、本年十月半にその完成を待ち當局の諒解を求め直に製作に着手することゝなつてゐる、發動機は多分外國品を使用することゝなるべく、また機體製作費等は阪谷會長の手で出資者を求めることになつてゐる、而してその飛行士、航空士等については未だ決定を見ないが機體設計完了と共に銓衡し來春より練習を積み愈々明年九月上旬を期して太平洋横斷飛行決行の壯途に上る豫定である

動員令狀を配布して大騷ぎ
兵事係員の不馴から 充員召集令狀を誤送

【熊本六日發電】熊本縣玉名郡荒尾署にては管內九ヶ町村の本年度歸休兵數十名に一日附にて二日午後一時應召場所を明記した動員召集令狀を赤札急使で配布した右赤札急使を受けた應召者の家族等はてつきり支那ロシアとの戰爭が始まるに違ひない、開戰に依る動員令だと親子妻子の別れや不在中の後始末等大混雜を演じ九ヶ町村玉名全郡に亘り戰時出動氣分横溢したが、此の騷動の最中當日夕方に至り又も急使が令狀配布の家庭を訪問し召集令狀を取纏めて歸つたので村民は何の事やら譯が判らずとんだ悲喜劇が隨所に繰返へされた

調查の結果荒尾署兵事係の深尾部長は七月十五日の異動に荒尾署に轉じ來り兵事係となりたるが師團司令部より七月歸休となりし者の充員召集令狀追加編入をなすことゝなり右令狀を送附し來れるより動員召集と誤り赤札急使を立てしものにて不馴れのための過とは云へ國家の重大事たる動員をなせることゝて大問題となつてゐる

來年の陰曆三月十三日に世界中は暗黑となるぞよ
露天市場に怪しいビラ撒布

來年陰曆三月十三日中の刻より世界中は暗黑となる――と言つたとて國際的燈火管制を行ふわけぢやない天津に降臨ましました神樣の御託宣だ、四日夜小崗子露天市場附近に何者か怪しげなビラを撒布して行つた者があるので一巡補が取上げて見た處夫には支那文で「天上の神より全市民に與ふ」として次の文句が記載してあつた「我々は天上の神より選ばれて地上に降された代表者であるが我が大神は現代澆季の墮落せる人間共を御覽ぜられて來年三月十三日には世界中を暗黑とし世の罪人共に對して最後の審判を行はせられる、既に下準備として神の代表委員六名は過日天津に降臨し惡業ある者に悔悟を促しつゝあるが特に彼等の懇願に依り世を暗黑化する事は二時間だけに短縮したが今や當地の罪人を救はんと大連に廻つて來た效を求めんとする者は我に來れ」と堂々たる印刷物だが小崗子署に於てはビラ撒き犯人を目下探索中

世界一周の途に上るZ伯號
燃料を積み七日出發

【レーキハースト五日發電】ツエッペリン伯號は目下燃料積込中であるが愈々七日世界一周の途に上ることに決定した

獨逸國民に船長の報告
船體故障なし

【レークハースト十四日發電】ツエッペリン伯號船長エッケナー博士は着陸後一時間內に乘客及び貨物を紐育へ送り出してから

今度の航海では歐洲で猛烈な暴風に見舞はれメキシコ灣流上では豪雨に襲はれアメリカ近くでは逆風で困難したが艦體には故障はなかつた、歸航は七日夜とならう

と語つたが次で博士はマイクロホンを通し獨逸國民に航海の模樣を放送した、尚ほ同船出發後發見された密航者はアルベルト、ブシュクルと云ふ十七歲の少年だが一番早い獨逸行汽船で追放された

密航少年に追放を宣告

【ニュージャーシ州グロスター五日發電】ツエッペリン伯號密航者獨逸少年ブッシュクルは當地移民局に於て取調の結果入國者として好ましくない者と宣告され即時追放に處する旨判決があつた

獨大統領祝電

【ベルリン五日發電】ドイツ大統領ヒンデンブルグ將軍はツエッペリン伯號の指揮者エッケナー博士に對して大西洋横斷成功の祝電を發した

新景勝地で天幕生活の快味
地方色の濃い杏樹屯海岸 來る八日正午締切

金福線の開通に依つて突如名勝の數に入れられた杏樹屯海岸は人に知られなかつただけに人工的の設備こそないが、それだけに純朴な地方色の濃いものがある、海岸は小石の敷い清砂曲汀、護謨模糊として長山の島嶼を眺め、左に釣魚臺、右に駱駝石の奇岩、小漁村に廟宇に濁りを知らぬ海の紺靑、釣りに磯に全く滿洲第一の海岸と言つても過言でない、中日文化協會では本社の後援を得て、この新景勝地の紹介を兼ねキャンピングの妙味を會得せしめる爲に、一大キャンプ村を作らうとしてゐる、八月十日(土)十四時三十分大連驛發同十三日(火)十九時二十五分大連驛歸着まで僅か四日間ではあるが、精神的にも肉體的にも海の子達を喜ばせるであらう會費三圓(汽車賃食費を含む)で誰でも條件なく參加出來るが、四人組めばキャンプを特に貸すから家族連には喜ばれるであらう向日曜日歸りの便もあるが締切は八日正午參加希望者は滿員にならぬ中に至急紀伊町同協會へ申込まれたいと

上海の虎疫 邦人罹病
續發の模樣

上海の虎疫は日と共に猛威を加へ加速度的に患者數が增加してゐるが更に當地海務局への入報によると居留日本人二名、遂に同病に感染し更に發病者を見る模樣で在住居留民は不安にかられてゐる

自動車の追突
自轉車を破損

六日午後一時ころ大連櫻花臺二十三番地先路上に於て日進街二〇自動車運轉手徐成奎(二五)の操縱する自動車は前方進行中の青雲臺一七鮮魚行商張振全(三〇)の自轉車に追突し張の左手三ヶ所、左足二ヶ所に治療二週間を要する擦過傷を負はせた上自轉車の後部車輪を滅茶苦茶に破損した

阿片密輸發覺

遼寧省海城縣城東梨子窪特產物商店員王化民(三〇)は、五日十七時大連着十六列車で阿片煙土一貫三百匁を着衣の下に隱匿し大連に密輸の目的を以て來連、大連驛に下車した處を專賣局監視員畢殿芝(四〇)に發見され大連署に突き出された目下阿片密輸犯人として取調べを受けてゐる

入港船の增加

海務局の統計によると七月中の大連入港船舶三百六十隻九十萬三百廿四噸檢疫人員六萬三千百廿五名で昨年に比較すれば隻數で五十一隻、噸數八萬七千六百十一噸檢疫人員で一萬三千九百五十七名の各增加を示してゐる、尚この增加の裏面には露支關係による外國船の入港增加も見逃せない理由である

時計詐取

大連常陸町三九淺田伴藏は昨年四月中旬ごろ逢坂町四九貸座敷松市に居住してゐた但馬町七四岡野かた鈴木リンに對し同人所持の腕時計時價四十圓を讓つて呉れ、代金は同月末迄支拂ふと云ふので之れを信じ讓り渡した處、今日まで代金も支拂はねば時計も返さぬので六日大連署へリンから詐欺の告訴をされた

無屆け仲居

大連市外海猫屯會甘井子屯一二料理店營業本山巳之吉(五五)はその筋の許可なく仲居影野シヅモを使用してゐる事發覺、六日大連署に告發されて科料五圓に處せられた

夏期講習會

關東廳主催の夏期講習會は既報の如く今二十日午前八時より市內朝日小學校に於て開始されたが、講師は東京女高師附屬小學校訓導岩下吉衞氏、講習科目は「教科書を中心としたる各學年算術教授法」で每日午前四時間午後一時間宛算術教授の實地授業を行ふ筈で會期は六日間、聽講者は大部分初等教育家である

◇…開原縣八棵樹附近居住の鮮農は去月十六日以來の霖雨で衣食住の全部を奪はれ支那地主の援助も斷たれて生活に窮し協議の結果沿線の勞働に出稼ぎする事に一決先發として十六名の一團が三日開原、鐵嶺方面に出發した【鐵嶺】

◇…自稱奉天南市場新亞日報社長と稱する宋子溪(四〇)は四日午後一時頃汎島町八番地新井モスリン店に於て家人の隙に乘じセル地一反を萬引し逃走せんとする處を警官に逮捕され餘罪取調中である【奉天】

金融組合聯合會の設立計畫具體化
基本金二十萬圓で近く實現せん
將來は社團法人に

關東廳では大正十五年以來朝鮮における金融組合の制度に則り關東州内各會屯における一般農民の金融を緩和し、農業の發達を助成するため大連、旅順、金州、普蘭店、貔子窩の五ヶ所に會屯金融組合を設立し、更に昨年十月都市金融組合の設立と共に各會屯金融組合も金融組合令による組織に變更したが、各組合共創立以來異常の發展を示し、各農村に於ては唯一の金融機關として之れが利用範圍が擴大すると共に、現在においては各組合共資金の調節に多大なる不便を感じつゝある狀態にある、そこで關東廳においても各組合相互間の聯絡を統一すると共に資金貸付に關する總括を成す必要を認め、各組合の資金の調節及指導機關として金融組合聯合會の設立を計畫し、目下これが具體案を作成中であるが右に對する基本金としては

本年度豫算において計上された金融組合資金百萬圓中二十萬圓を以て引當て、組合役員として理事長一名理事一名、幹事二名、事務所は當分の間關東廳内に設け、役員は財務課長及財務課員をして兼務せしむる筈である、しかして基本金及組合員の出資金以上に資金を要する場合は銀行方面と聯絡する仕組であつて將來においては官廳の管理を離れ社團法人として獨立せしむる計畫なるものゝ如く右は近く實現をみる模樣である

豫期した程の成績擧らず
第一回現金廉賣デー
當業者の覺醒が必要

去る廿七、廿八兩日に開催した第一回現金廉賣デーの成績につき各同業組合の報告を綜合するに第一回はボーナス月であつたので各商店では非常に期待してゐたが、事實はこれに反し成績概して不良に終つた模樣である、即ちボーナスを支給されてから十日乃至數日を經過してゐたことも有力な原因となつてゐるが、それより廉賣デーとは名のみで、實際は普通小賣値段と大差なく僅か廢ざらへ品が廉價に賣出されてゐたといふに過ぎず、今少し特長を出すことが必要で一般商人の覺醒を促す向きが多い、又は最初のことでもあり宣傳が行屆いてゐなかつたことも爭はれない事實であるが、要するに舊來の風習を破つて掛賣制度から現金賣制度への轉換期であるので商人の理解と覺醒が必要でこの點輸入組合及び聯合會は指導鞭撻すべきであると云はれてゐる

夏枯れ季節の安東木材界
需要發送共に漸減す

【安東發】奉天方面仕向次並材の活況により安東製材界は稍見るべきものがあつたが、次並材は元來季節的のものであり、春以來の需要は六月を最高として漸減の傾向を辿り所謂夏枯期に入り、之が甘味に陶醉して醒めざる間に七月中の安東木材界は異常の不況を呈した、即ち次並材は資材の不足と奥地梅雨期に入つたために需要方面も漸減し商談も又捗々しからず、製材僅かに百五十一車の發送を示したのみである、これを前月と比較すれば

滿洲仕向製材
六月中　一九四車
七月中　一五一車

を示し明かに夏枯閑散の傾向を如實に語つてゐる、右は夏枯閑散期を控へながら本來の朝鮮仕向本位に立還り急速なる轉換策を講じなかつたことが主なる原因であると觀られてゐる、更に朝鮮方面の需要を見るに夏枯期に入つたのと一面に於ては現政府の緊縮政策により工事の見送り或は中止等となり一般に閑散狀態を誘致した上に安東資材薄と製材高之に反し新義州は資材過剩に製材安と言ふが如き宣傳が鮮内需要筋に巧に宣傳され居るもの〻如くであつて、現在安東の製材採算が僅に新義州に對抗し得るといふ事實が需要先に判つてゐないからである、加ふるに一面に於て安東製材界が次並材の甘味から鮮内仕向を等閑に附した關係は勿論の事で遂に今日の不況を呈するに至つてゐる、これ等の事情から七月中に於ける發送狀況を見ると

▲朝鮮仕向
一般需要（原木 二五車／製材 八九車）
局用品 原木 五車
▲滿洲仕向
一般需要（原木 五四車／製材 一五一車）
社用品（枕木 三八車／製材 四車／原木 一六車）

といふ發送車數で右の數字は前述の理由を有力に物語つて居り夏枯に入つた安東製材界の將來を暗示してゐるものとみなければなるまい

水稻作
全國的には良好

【東京六日發電】（農林省發表）本年七月末頃迄の水稻作狀況に就き道府縣より管内情報を徴し之を綜合するに**氣象狀態は**全國大部分の地方に於いては七月初め頃より晴天連續し爲めに氣溫高く日照り又多くして適順なる狀態を示せり**灌漑水は**局部的には缺乏を來せる地方なきにあらざるも全國的に見る時は目下の處にては著しき不足を來せる程度に非ざるが如く尚ほ肥料管理は例年と大差なし**病蟲害は**全國を通じて發生稍々多く浮塵子も又九州地方及び其の他局部的に發生稍々多き模樣につき極力驅除に努めつゝあり**氣象其の他の事情**右の如きを以て稻の成育は關東、北陸東山及び四國地方は良好、東北東海近畿及び中國地方は稍良好、北海道は普通九州地方は稍不良の狀況にして之を全國的に通觀する時は稍良好なるが如し

不渡手形
七月中は七枚

最近頻々として不渡手形が現れ銀行を狼狽させてゐる、即ち大連手形交換所に於ける七月中の不渡手形は七枚、金額千四百四十圓にてうち取引停止となつたもの二名で八月に入つてからは既に不渡二枚金額一萬二千百四十三圓である

大連商議の三人男
新副會頭（三）山口啓三君

四ヶ年會頭の榮職を立派に勤め上げ、アッサリ勇退した佐藤君の置き土産にチヤキ〳〵の新人山口啓三君を副會頭にもつて來たお手並は、却々どうして自己を呼ぶに「老生」といふ君にしては鮮かなものだつた、山口君自身にしても、思ひ掛けない副會頭の椅子が轉げ込んで來たのに面喰つただらうが、それよりも世間がアッと云つた、なぜなら生えぬきの實業家の數ある中で、眞逆か支店長畑の山口君が推されやうとは思ひ掛けなかつたからだ。」

× ×

何んでも佐藤君が山口君に白羽の矢を立ててから先づ大汽の社長安田君に相談したら「い〻ところにお氣付でした、あの人なら…」と安田君が折紙をつけた相だ、君は福島縣の産、明治卅八年東亞同文書院を出るや日本郵船上海支店に入社、昭和二年三月大連出張所に榮轉して來た郵船生え拔きの人、半生を支那で送つただけに優れたる支那通であると同時に海運にかけても一方の腕利きだ。

× ×

其の性格は必らずしも派手な方ではないが――その健實な歩み振りこそ八面玲瓏たる現在の君を築き上げた。幸に村井會頭のノホホンを補佐して君の持つ事務的才能を十分發揮したならば、問題多き大連商議の仕事を締めくゝつて行くに持つて來いの女房役たることが出來るであらう。君は未だ春秋に富む四十九歳、人多けれど人材尠き滿洲財界において、今後重きをなさんことを祈つておく（完）

朝鮮向大豆及豆粕割戻金
改正の要點

【安東發】既報の如く朝鮮仕向豆粕及原料大豆に對する滿鐵割戻金が改正されたがその要點は同手續き證明中農會内にて消費すべき豆粕又は製油原料大豆に就き割戻し金下附といふことが追加された事である、即ち從來は朝鮮の道府郡島及その農會に納入した豆粕及原料大豆にのみ下附されたものを今後は農會内にて消費すべきものに割戻しする譯でこれで朝鮮輸入大豆、豆粕全部に割戻し金を交附さるゝものと見らるゝやうになつた、而してこの發着證明は農會名を以て發着驛長の證明を受くることゝなつてゐるが農會が直接證明を受くるや或は他の方法を以てするかは不明で安東驛の證明に就いては沖田驛長の手許で研究中であると

特産取引人組合總會
新役員決定す

大連取引所重要物産取引人組合は八月五日午前十一時大連取引所に定時總會を開き左の事項を可決した
一、昭和三年度の組合經常費收支決算報告
一、組合事務報告
次に委員は議長指名の詮衡委員六名合議の結果、左の十六名を選擧した
日本側委員 日清、日綿、豐年、大連油坊、大信、瓜谷、三泰、三菱、新正
華商側 福順厚、東永茂、×丁新昌、裕昌源、廣永茂、成裕昌、西記、東茂泰、協和棧、×福和盛、×天和成（×印は新委員）
會計監査員 三泰、東永茂

滿鐵半ケ月に八十萬圓增收
浦鹽輸送の杜絶で積替へ輸送に忙殺

【長春發】東支鐵道東部線の浦鹽仕向け輸送貨物が杜絶して續々南行滿鐵連絡に切り替へられる結果滿鐵は之等貨物の積替輸送に忙殺されてゐることは既報したが事變發生前は昨年同期に比して兎角減收勝ちで且つ兩行貨物は東行五、四南行四、六程度で頗る劣勢にあつたが俄然去月二十二日からは貨物收入の大增收を來し、殊に去月來數日間の如きは昨年の收入が何れも三萬圓乃至四萬五千圓に過ぎなかつたものが本年は二十七日十二萬圓、二十八日十二萬圓、二十九日十一萬二千圓、三十日八萬五千圓、三十一日十一萬圓と言ふ增收振りで二十二日から本月四日に至る十四日間を比較すれば左の通り

昨年　五六三、四九九圓
本年　一、三六八、七八九
增　八〇五、二九〇

即ち滿鐵はこの十四日間に八十萬圓の增收を見た譯で動亂中の東南兩行比率の破れた期間は當然滿烏協定から除外されるから滿鐵は丸儲けである

銀相場
八十九圓臺割れ

大連市場の鈔票は今朝銀塊高爲替安の强材料を入れたが上海標金の奔騰に刺戟され、前場五錢安の八十九圓三十五錢と寄りアト軟調を辿り遂に八十九圓臺を割り、四十五錢安の八十八圓九十五錢と引けたが先行尙爲替高豫想に銀價は落潮を辿るものとみられてゐる

白米小賣値
―五日現在―

大連米穀同業組合調査に係る五日現在の白米小賣値標準は左の如し
朝鮮米 檢査特等四十三瓩入一叺十二圓十錢也▲三十瓩入一袋八圓五十錢也
滿洲米 檢査特等四十三瓩入一叺九圓七十錢也▲特等同上九圓二十錢也▲檢査一等同上九圓二十錢也▲一等同上八圓六十錢也

團體めぐり

思惑者横行と場外の先物取引
大勢を無視し防止策に腐心
◇……滿洲重要物産組合（五）

即ち明治四十四年八九月の頃より日支取引商人中に一種の思惑賣買をなすものが漸く多くなつて最初は單に從來の先物取引のみを考へてゐた人々も漸次其内容を知るに至る頃は、互にその危險を感じながらも、既にこれを俄に中止することが出來なくなつて居り、儲かる者は勢ひに乘じ、損する者は善後策の爲に益々深入りするといふが如き狀態となつて居た、かくの如くにして事態益々紛糾し、當業者中非常な窮境に陷つたものも尠くないので、組合では其の救濟策に就き種々腐心しつゝあつたが、到底これを如何ともする能はず四十五年一月遂に最後の手段として集合所に於ける期賣買に對し斷然立會中止を命ずると共に、最も甚しきものと目されてゐた債務者四人に對して、債務の實行整理が成る迄は斷然出入することを禁ずる旨掲示した。

◇

所が此の非常手段は意外の效果を生じ、期賣買に基く紛糾も此時を以て終熄するに至つた、而して取引所開設について都督府が組合と折衝を始めたのは此の紛糾以前の事であり、商議員を任命したのは此の紛糾終熄後であつた、故に此の間の事情にあまり通曉してない都督府は勿論組合に於いても亦、當時特産物閑散の時期であつたので、今後の形勢に就ては殆どこれを豫想することが出來ない狀態であつた。從つて一時其の儘にこれを傍觀するの外はなかつたが而も出廻り期に入る頃より、又復市場に空賣買の思惑をなすものありとの說が漸く高まつて來たので組合では前年の例に倣ひ事前に豫防の目的を以て場内に於ける一切の先物取引を禁止した。

◇

その爲に一方困つたのは輸出業者で實際に必要を感ずる先物契約に就いて影響を受け種々不便を感ずる點が尠くなかつた、又思惑賣買は一旦之に興味を有して慣れて來た風習であるために容易に之を停止する事も出來ない事情にあつた。されば組合が市場に於て一切の先物取引を禁止すると、彼等は勢ひ場外に於て取引きをなすの風を生じ、後には毎日時を期して午後市場の散會後、奥町の支那芝居附近に集合し、盛んに定期賣買を行ふに至つた。

◇

これに對し當局では組合當事者と協議して種々其の防止策を講じたが、此の場外取引を禁ずることは却々容易ではなかつた。何んとなれば滿洲重要物産の大集散地たる大連に於て、先物取引を認めないといふ樣な、經濟法則の無視が實際に於て到底行はれるものではなかつたからである。又之が爲に實需に基く取引を危險にならしめるばかりでなく、統制せられない投機取引は賭博を奨勵するやうな結果ともなる恐れがあつた。

黄塵

◇…爲替の騰勢著るし、四十八弗近くなりて、それでもなほ輸出が相當にあるやうだつたら、問題の「金解禁」も愈よ近い。
◇…好機を逸する勿れ、此の機會を逸したら、現内閣の存立の意義もなく、また「金解禁」は當分の間出來ぬやうなことになるだらう。
◇…實行豫算塗糊論なンて政友會でも素人筋の言ふ事だ。
◇…その證據には高橋、勝田、三土などと云ふ玄人筋は少しもソンなことは言つてない。
◇…商工會議所の改善に就いて論ずるのはいい。
◇…然しそれに乘じて私憤に似たものを洩らしたり、個人攻擊をするに至つては沙汰の限りだ。

市況

特産　買氣旺盛に高粱高騰

昨場より幾分鞕り商狀に推移せる氣先き、今朝銀の八十九圓臺割れを眺め各品共に概して鞕り商狀を辿り、殊に高粱先物は思惑筋の買氣旺盛に昂騰を呈した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	六六三〇	六六三〇	六六二〇	六六三〇
九月末	六六九〇	六六九〇	六六八〇	六六八〇
十月末	六七一〇	六七一〇	六七一〇	六七二〇
十一月末	六四四〇	六四五〇	六四四〇	六四四〇
十二月末	六三三〇	六三九〇	六三三〇	六三八〇

出來高 二百六車
▲普通大豆 出來不申

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月限	二三一〇	二三一五	二三一〇	二三一〇
九月限	二三一五	二三二〇	二三一五	二三二〇
十月限	二三〇〇	二三〇五	二三〇〇	二三〇五
十一月限	二三〇〇	二三〇五	二三〇〇	二三〇五
十二月限	二二九〇	二二九〇	二二八五	二二八五

出來高 三萬一千枚

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
八月限	一八五五	一八五五	一八五五	一八五五
九月限	一八七〇	一八七〇	一八七〇	一八七〇
十月限	一八六五	一八六五	一八六五	一八六五
十一月限	一八五〇	一八五〇	一八五〇	一八五〇

出來高 一萬六千五百箱

▲高粱（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	四四三〇	四四五〇	四四三〇	四四五〇
十月末	四一七〇	四二〇〇	四一七〇	四二〇〇
十一月末	三九五〇	三九八〇	三九五〇	三九七〇
十二月末	三八六〇	三八八〇	三八六〇	三八八〇

出來高 百六十五車
▲包米 出來不申

◇現物前場（銀建）

品名	寄付	大引
混保大豆（袋込）	六七九〇	六七八〇
大豆（裸物）	―	―

出來高 三十車
普通大豆 出來不申

品名	寄付	大引
豆粕	二三三五	二三三五
豆油	一八五〇	一八五〇
高粱	四四〇〇	四四〇〇
包米	四六八〇	四六八〇

出來高：豆粕 七千枚、豆油 二千箱、高粱 四車、包米 一車

雜穀出來値（五日）
▲包米（虎石臺）四、六〇〇

定期喰合高（五日限入）（前日對比較△印減）

品名	喰合高	前日比較
大豆	二八五〇車	九六車
高粱	一八〇四車	一車
豆粕	八六九千枚	二千枚
豆油	一九八〇百箱	△五〇百箱

錢鈔

前場（低落）今朝の海外材料としては倫敦銀塊休み紐育は五十二仙八分の五と（八分の一高）孟買は五十五留比四分の三と（十六分の一安）滙兌は九十兩六二五、滙申は七十二兩四二五、大洋は九十八圓八十錢、日米は四十六弗十六分の十一と（十六分の一安）米日は四十六弗十六分の十三と（八分の一安）英米クロスは八十五仙十六分の三と（三十二分の一安）米支は五十八弗丁度と（八分の一高）上海標金は三百九十六兩七と寄り九十八兩一と止め當市の銀價は低落を示した

◇定期取引（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
期近	八九三五	八九三五	八九〇〇	八八九五

出來高 期近 三百三萬圓

◇現物取引（單位錢）

時	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	八九三〇	[illegible]	[illegible]
十時	八九二〇	[illegible]	[illegible]
十一時	八九一〇	[illegible]	[illegible]
十二時	八九一〇	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金 二萬二千圓／銀對洋 一萬一千圓）

商品

前場　麻袋（鞕り）産地情報によれば爲替四分の一高なるも靑十六分の九高鐵二分の一高と反騰したるため氣配幾分好化の模樣なるも銀票依然軟弱に今一歩買氣添はず引際氣配現三十八錢五厘八月三十六錢先物三十四錢五厘見當であつた

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	延十二月末	三四三	三〇

出來高 三萬枚
綿糸（强保合）米棉三十錢高印

株式　内地變らず新甫ボンヤリ

今朝大新の短期二十錢高新東二十錢安と内地は相變らず保合を報じたので當市も人氣引立たず五品新豆も保合にて新甫も稍ハゲに生まれた錢鈔は二三十錢高現物の大新は四五十錢高新東は一二十錢高鐘新は七十錢高出來高定期二百枚現物七百枚

前場
◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	三四一	三三六	三三七
新豆	寄	―	―	三一〇
新鈔	寄	―	―	[illegible]
錢新	寄	―	―	[illegible]
新東	寄	―	―	一〇三八
五品	引	三二一	三三六	三三六

◇現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	三三四	三三五	三三三	三三四
商信	―	―	―	―
新豆	四四三	四四三	四四三	四四三
錢鈔	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇
氷新	一六一	一六一	一六一	一六一

◇現物（乙部）
大新 寄 四六七 引 四六五 新東 寄 一〇三一 引 一〇三〇

後場（保合）
◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	―	―	三二七
新豆	寄	―	―	[illegible]
新鈔	寄	三一〇	―	三一〇
錢新	寄	―	―	一〇三八
新東	寄	―	―	[illegible]
五品	引	三三五	―	三二六

◇現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	三三四	三三四	三三三	三三四
商信	―	―	―	―
新豆	四四三	四四三	四四三	四四三
錢鈔	―	―	―	―
氷新	―	―	―	―

◇現物（乙部）
大新 寄 四六七 引 四六七 新東 寄 一〇三一 引 一〇三〇
鐘新 引 二三〇

◇爲替及受渡日歩

銘柄	受渡	代渡	日歩
五品	三二五	三三〇	四
商信	一六〇	一四〇	三
新豆	四四〇	四〇〇	四
錢鈔	三一〇	三一〇	四
氷新	一六〇	渡	三

株式出來高（六日）
定期 五六〇枚
現物 二四〇〇枚
合計 一、八〇〇枚

市場電報（六日）

銀塊及爲替

種別	相場
倫敦銀塊	―
同先物	―
紐育銀塊	五二仙八分五
孟買銀塊	五五留比四分三
英米爲替	四八五弗八五仙十六分三
米日爲替	四六弗十六分十三
米支爲替	五八弗〇分〇

棉花

●米棉（換算三〇錢）高

限月	相場
現物	一八仙六〇
十月	一八仙八六
十二月	一八仙九三
一月	一九仙一〇
三月	一九仙二九
五月	一九仙四四

●印棉

品名	相場
ベンゴール	二六〇留比
ヴローチ	三四〇留比
オムラ	三二四留比

棉三四十錢高と大阪三品先限小鞕りながら先物は一圓六七十錢乃至三圓五十錢摑みの昂騰を來したため當市も氣配著しく硬化し定期には相當買氣誘發したるも銀票宰票鈍狀に延取引は冴へず强保合裡に散會した

◇定期

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十一月限	一三六八	一〇
同	十二月限	一三一〇	一〇〇
同	十二月限	一三一八	一〇〇

出來高 三十梱
麥粉（出來不申）

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株新	九九三〇	九九三〇
大紡新	二六六〇	二六六〇
鐘紡新	二四六〇	二四六〇
日館新	二四〇	二四〇
郵船	―	―
東新	一〇八〇	一〇八〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株新	一一二六〇	一一二六〇
東新	一〇一二〇	一〇一四〇
五品 當	一一三〇	一一三〇
五品 中	―	―
五品 先	―	―
新豆 當	―	―
新豆 中	―	―
新豆 先	一一九〇	―
同（短期）	新東	五品
寄値	一〇一九〇	一一三〇
引値	一〇一三〇	一一三〇
高値	一〇一三〇	一一三〇
安値	一〇一三〇	一一三〇

大阪期米

限月	前場寄	前場引
當限	二九二七	二九三〇
中限	二八六四	二八六六
先限	二七八八	二七九五

東京期米

限月	前場寄	前場引
當限	二九二〇	二九五〇
中限	二八三〇	二八三三
先限	二七〇四	二七〇一

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
八月	二三六〇〇	二三六二〇
九月	二三三一〇	―
十月	二三二六〇	二三三一〇
十一月	二三一九〇	二三二一〇
十二月	二三〇四〇	二三〇三〇
一月	二三〇〇〇	二三〇二〇
二月	二二八四〇	二二九〇〇

大阪棉花
寄付　大引

神戸豆粕

限月	前場一節
七月	四五九〇
八月	四五九〇
九月	―
十月	―
十一月	―
十二月	四二六〇

先物 當限 六六〇 六六〇

横濱生糸

限月	前一節	前二節
八月	一三〇〇	―
九月	一三六〇	―
十月	一三八〇	―
十一月	一三六〇	―
十二月	一三三〇	―
一月	一三六〇	―

印度麻袋

種別	相場
鐵筋直積	三六留比〇分
靑筋直積	四二留比六分三
爲替相場	一三〇留比四分三

奥地市況（六日前場）

特産
▲大豆　寄付　大引

地	限月	寄付	大引
哈爾賓	八月限	一六五	―
同	九月限	一六五	―
同	十月限	―	―
公主嶺	八月限	―	―
同	九月限	―	―
同	十月限	―	―

▲高粱

地	限月	寄付	大引
開原	八月限	―	―
同	九月限	―	―
同	十月限	―	―
長春	八月限	三一〇一	三一〇〇
同	九月限	三一三一〇	三一三一〇
同	十月限	三一〇五	三一〇五
公主嶺	八月限	―	―
同	九月限	―	―
同	十月限	―	―

▲小麥

地	限月	寄付	大引
哈爾賓	八月限	三〇三〇	―
同	九月限	―	―
同	十月限	―	―

錢鈔

地	種別	寄付	大引
奉天（奉票）	現物	六六七〇	六六七〇
同	先限	六六八〇	六六八〇
開原（奉票）	現物	六六〇〇	六六〇〇
同	先限	―	―
同（鈔票）	現物	―	―
安東（鎭平銀）	期近	一一三〇	―
同	遠期	一一三五	―
哈爾賓（大洋）	現物	六三、一五	―

株

今朝内地株は東西兩市場共相變らず不透明な商狀を報じたので當市も氣乘薄閑散な場面を呈し五品初め諸株共新甫は平凡に生まれた▲内地も對外爲替の連續高によつて金解禁期は愈接迫しつゝあるものとの觀測行はれ買氣は益々萎縮するといふ狀態である▲只相場も新東の如きは百圓臺に低迷してゐるのでこれから賣叩いても果して賣妙味があるかどうか流石軟派も氣迷ひの態であるから氣味の惡ひ割合に下溢りの商狀にある▲結局下値淋しいと言つても閑散が續けば又嫌氣投げを誘發するといふ工合で當分低迷を免れない相場であらう▲昨今五品株一二萬を買ひ込んで合併の裏切者の某君を擔ぎ理事者にしやうと策動してゐる者があると噂されてゐる▲定評のある利權屋や單なる投機者等に公設市場が利用されてたまつたものではない

豆

今朝銀の八十九圓臺割れを眺め各品共に概して鞕り商狀を呈し▲殊に高粱先物は思惑筋の買氣旺盛に五錢から七錢方の昂騰▲普通大豆はどうも思はしく行かないらしい▲それもそのはず自分の大豆を普通大豆として十五錢から十八錢も安く賣る心掛の良い人はこの節あるまい▲又十二月限しか上場されないので從つて出來難いのであらう▲大雨か旱魃でも續いた年は止むを得ず普通大豆に格を落す賣手も出來るだらうが……▲現物大豆は油坊十車、シベリー、丁新昌で二十車、豆油は三井のみで二千箱、豆粕は三菱、日清、共益社、丸一で合計七千枚の手合はせ▲今日の油坊牛産商は一萬三千六百枚、操業工場は八軒▲昨日取引人組合では定期總會が行はれ委員の改選があつた

銀

今朝の海外料材として紐育は八分の一高、孟買十六分の一安と區々を入れ一方爲替は日米十六分の一安、米日は八分の一安を報じたが▲地場鈔票は五錢安の八十九圓二十五錢と寄り遂に八十九圓臺を割り四十五錢安の八十八圓九十五錢と引けた▲この安値は昭和二年三月の八十六圓臺以來の新安値である▲右は休日明けの上海標金は三百九十六兩七と寄りグーンと上昂、九十八兩一と止めたのに原因してゐる▲又七月下旬の出超は二千萬圓で昨年の同時に比較すれば約五倍方の增加に爲替が次第に良好に傾いたにも依る▲爲替は先行高見越しにあり今朝の呼吸押を一服に再度の上伸を示すものと見られ從つて銀價も前途安見越し濃厚である

錢鈔

地	限月		
開原	八月限	一〇六、一〇	一〇六、一〇
同	九月限	一〇六、五〇	一〇六、四〇
同	十月限	―	―
長春	十一月限	―	―
同	十二月限	一〇七、二五	一〇七、二〇

上海爲替情報

【上海六日發電】材料安に安寄せるも裕豐永、志豐永よく買輸入ビルの出廻り旺盛に三井、正金八月八一兩八分の一を三菱、住友十月八一兩〇分の一とよく買ひヂリ高を辿るあと日米高を入れ大連筋の買進みに昂騰し高値信亭四千本大德成三千本利喰賣つた

手形交換高（六日）

	枚數	金額
金	二、三三三枚	二、九九九、八九〇圓
銀	一四八枚	八六、八六六圓

上海標金

寄値	三九六兩七
高値	三九八兩一
安値	三九六兩二
引値	三九七兩六

爲替相場（六日正午）

正金（銀勘定）

種別	相場
日本向參着賣（銀買）	八八圓〇〇
同十五日買（同）	八九圓〇〇
上海向參着賣（銀買）	七一兩六〇
倫敦向電信賣（銀一）	一志八片十六分九
同二ヶ月買（同）	一志九片十六分十一

正金（金勘定）

種別	相場
倫敦向電信賣（直）	一志十一片八分一
信用付二ヶ月買（同）	一志十一片八分五
米國向電信賣（百圓）	四六弗八分三
同九十日拂買（同）	四七弗八分七

鮮銀（金勘定）

種別	相場
倫敦向電信賣（百圓）	一志十一片十六分一
同二ヶ月買（同）	一志十一片三分一
紐育向電信賣（金買）	四六弗八分五
上海向電信賣（金買）	八六兩八分一
同（銀買）	八九圓〇〇
日本向電信賣（銀買）	八八圓〇〇
同十五日拂買（同）	八九圓七五

H300

平安異香（72）

葉多默太郎作　中一彌畫

戀情地獄（八）

「チエッ、大根まであたしを馬鹿にしやがる」

邪慳に、齒形の入つた大根を投げつけて、おつねは膝小僧を抱きこんだが、ふと、大根が人を馬鹿にする――と云つた自分の言葉にをかしくなつて、聲を立てゝ笑つたのだが、笑つてゐるおつねの目に、コロ／＼轉がつた大根が、紫色の星明りの中に、ふッと白く首のやうに見えて、ゾッとするやうな戰慄が背筋を冷たく走ッたのは不思議だつた。

もうおつねは笑へない。しんとしづまつたこの納屋が、俄に不氣味になつて思はず身の周圍を包んでゐる薄ら闇を見廻すのだつた。

かうなると、闇の闇の方がまだ救はれる。差すともなく差す窓からの夢のやうな薄ら明りに、ダラリと垂れた大根の葉が髮に見えたり、蠶の屍が死面に見えたりして跳びあがるほどびッくりさせられる。

「なんてことだらう。おつねともあらうものが――」

自分を叱つて、しやんと坐り直してみたが駄目。妖氣とでもいふのか妙に陰氣な、冥府からでも來るやうな冷氣が、水をぶつかけられたやうに、ゾッと襟から浸みこんで、どうにも、立つても坐つてもゐられなくなつた。

「いやな晩だね」

おつねは襟をかき合せて小さくなつた。

「どうしたのだらうね。今までにこんな事は一度もなかつたのに、眞夜中の墓場など平氣で歩いたあたしが」

今までに、ひよつとすると、何かへんなことがあるのではないかと――愚ぶ心へフウワリと浮んで來たのは師輔のことだ。

あの色慾鬼の猜疑深、どんな死にきれないやうなむごい事をして殺した女がないとも限らない――

「いやだね――」

呟いた時だつた。ふと、何か、微かな聲――。

ゾッとして、耳をすますと、手が欷を揺るやうな音に響つてゐる――いや、やつぱり聲だ。尾を引くやうな細い聲。

「なんだらうね、氣味の悪い」

ゾッと、鬢の毛の立つやうな悪ひをしたがやつぱりおつねには度膽があつた。土壇場になると捨身になる女だつた。

キッと、齒を嚙んだやうな笑ひが蒼白い頰に滲みこまれたと見ると、すつくとおつねは立上つたものだ。

そして、再び耳をすますと、斷末の聲とでもいふのか、斷々の引く息ばかりの聲のやうだつた。たしかこの納屋の隅のあたり――。で、足さぐりに、此方から進んで行くとプッツリ聲がきれてしまつたが、そこに身の丈ばかりの大甕があつた。

「こん中だね、たしか」

足下に豆袋か何かゞ轉がつてゐたのへ足をかけて覗きこむ。と、甕の中に口一杯の糠穀だ。が、その糠穀の表面に、窓からの薄明りをうけて、ボウッと白く浮いてゐるのが人間の顔だと知つた時は、流石、生首でも出るかと覺悟をしてゐたおつねだが、ブル／＼ッと足下が震へるのをどうすることも出來なかつた。

見きはめると、それは男の顔のやうだ。

おつねはそれへ手を伸ばした。かうなると、正體を見究めないでは、承知の出來ないおつねの性分も困つたものだが、その時、同時に、

「ウフ、、、」

と、泡をふくやうな聲を立てたのは甕の中で、それに續いて吐かれた首の言葉が、突然おつねを笑はせた。

「か、南無阿彌陀佛／＼」

「なんだねお前は――。意氣地のない生首だね」

笑ひながらおつねがいふと、生首はびつくりしたやゝに目を開けた。

「なんだ、お前は女の幽靈ぢやねエのか」

「あら、さういふ聲は六さんぢやない？」

「えッ、お前は――あゝおつうちやんだ、おつね坊だ――」

カサコソと、糠穀の中から這ひ出したのは、おつねに首つたけの彌陀六らしい。

發聲映畫 戻橋上映

近く演藝館で

マキノの發聲映畫「戻橋」は其後モーターの調節、發聲機の整調を行ひ愼重な態度を以て連日各種のテストをなしつゝあるが愈々來る八日初日で演藝館に於て封切上映の豫定である、同映畫は日本最初の國產トーキーで故マキノ省三氏原案マキノ正博氏監督三木稔氏撮影南光明マキノ智子主演で常磐津長唄和洋合奏の伴奏及び主演者の科白を以て全篇を發聲映畫としたものであるが、最初の日本物のトーキーであるといふのと南光明とマキノ智子の聲がスクリーンを通じて聞えるといふのでファンの異常な興味をそゝつてゐる

杵屋佐吉一行

來十一日來連

常地長唄同好者の招聘により來連することゝなつた杵屋佐吉師匠一行は愈々來る十一日着で陸路來連し十二、三日の二日間大連劇場に於て演奏會を催すことに決定し非常な期待を以て迎へられてゐる

大魔術歌劇團

八日から開演

大野芳子を座長とする大魔術歌劇團一行四十餘名は歸朝の途上海、天津を巡業中であつたが來る七日來連し八日初日で大連劇場に於て五日間開演することになつた、入場料は特等一圓五十錢、一等一圓二等五十錢であると

ロシア便衣隊のため 東部線の鐵橋爆破さる

支那側、全線國境守備軍に對し 戰鬪準備を命ず

【ハルビン特電六日發】四日ボグラニチナヤを距る南方十六里三岔溝で露支兵の小競合あり東部國境兩軍とも尠からず緊張の色を漂はしてゐる折柄六日午前六時東部線細鱗河東部の鐵橋が何者にか爆破されたが、現場に遺留してあつた用具からみて露國便衣隊の仕業らしいので支那側では鐵道守備を一層嚴重に行ふと共に、露軍が愈々積極的軍事行動に出たものと見做し馬橋河の司令部は俄かに色めき全線國境の守備軍に對し戰鬪準備を命じたと傳へられてゐる、なほ鐵橋修理の結果辛うじて運轉を繼續してゐる

露支兩國協定に基き 五分々々の權利を主張

「支那側の最後的態度決定す」

【ハルビン五日發電】支那側朱紹陽氏は東鐵事件の責任者たる東鐵督辦呂榮寰、行政長官張景惠氏等と重要會議を開いた結果最後的態度として

一、支那の要求は露支協定の範圍を一歩も出でず東鐵に對する五分々々の權利を主張する事をロシア側に徹底せしめること

二、對支赤化宣傳の嫌疑で追放された東鐵露人幹部は證據不充分につき復職せしむ

三、東鐵管理局長に范其光を任命した事は過渡辦法に過ぎざる事をロシア側に徹底せしむ

四、東鐵支那幹部を更迭せざること

として露支雙方の面目を立て可及的に紛爭解決を圖るに意見一致した

滿洲里着の朱全權 セ代表と會見期を打合す

―行詰りの交渉愈よ本舞臺へ

【滿洲里六日發電】交渉代表朱紹陽氏一行は六日午前六時滿洲里着、直に電話で[illegible]ホテルに滯在中のロシア代表メリニコフ氏と會見期を打合せ、この結果今明日中に行詰れる交渉打開の兩國代表第一回會見は朱氏の宿舍にて行はるべく露支交渉はいよいよ本舞臺に入る譯である

通商航海條約をも 締結せん肚

國交を一氣に回復したうへ 南京政府の對露方針

【ハルビン六日發電】[illegible]議される豫備交渉の局面を打開し協點發見に全力を注ぎ一氣に兩國間の紛爭を一掃し、更に或は國交の回復と通商航海條約締結にまで進まんとする南京政府の遠大な對露方針に據るものであると見られてゐる

深甚の注意を拂ひ 成行を靜觀

『わが國の態度決定す』

【東京六日發電】[illegible]

車中の蔡氏 ホテルに引移る

【ハルビン特電六日發】滿洲里に於ける蔡交渉員は露國側との交渉が[illegible]みつゝあるので朱紹陽氏の來滿を機として新局面を展開せしめんとしてゐるが、同地における交渉は協議その他兩國の取引などで相當長引くものとみられ車中にあつた蔡氏は五日ニチキスホテルに引移ると共に衣服其他の用度を途中から取寄せるなどこれに對する準備をしてゐると

東部國境の 輸送復活

烏鐵代表言明

【ハルビン六日發電】在ハルビンのウスリー鐵道代表は五日三四の有力なる輸出業者に對し「近々東部國境の連絡輸送が開始さるべきにつき、東行の準備をなして可なり」と云つたと傳へらる或は勞農側の讓歩により急に問題が解決するのではなからうかと觀測されてゐる

定例閣議

軍縮問題等討議

【東京六日發電】六日の定例閣議は午前十時より開會濱口首相以下各閣僚列席し先づ濱口首相より木下長官の辭表提出、後任者は前警視總監太田政弘氏を内奏するに決した旨を報告諒解を求め

一、第二豫備金支出の件(司法、遞信、海軍各省所管廳舍水害火災復舊費十四萬圓)

一、海軍給與令中改正の件

一、對獨賠償委員會委員に駐和公使廣田弘毅氏をも追加して全權たらしめること

其他人事を決定した後、幣原外相財部海相より海軍々縮に關する詳細報告あり帝國の執るべき態度につき意見の交換をなし、最後に九日午前九時より臨時閣議を開き四年度各特別會計實行豫算の件を附議決定することゝし零時半散會した

支那現在の財政にては 軍費の支出は困難

宋財政部長遂に辭任

【上海六日發電】財政部長宋子文氏は國民政府に正式辭表を提出し昨夜來滬した、氏の辭職理由は編遣會議が全國の兵數八十萬、一月の維持費千三百萬元と決定したるも全國の財政統一未だ行はれず中央が僅かに五、六省より國庫收入を得るに過ぎざる今日右支出の責に任じ難しと云ふにある

暗礁に乘上げた

「英米の軍縮豫備交渉」

【東京六日發電】六日其筋に達した情報によれば英、米の軍縮豫備交渉は暗礁に乘上げた模樣である即ち駐英ドーズ大使はマグドナルド首相の避暑旅行日程の變更を求め一日以來外交々渉を續けてゐたが、英國の現有勢力六十隻四十萬トンと米國の二十萬トン間の差二十萬トンを如何にして平均せしむるかにつき英國は艦艇破棄を欲せず、米國また新規建造に依る巡洋艦を欲しないため妥協點を發見し得ぬためと見らる

英首相渡米により 軍縮は具體化せん

技術的より政治的解決に進む 財部海相の軍縮意見

【東京六日發電】英米間の海軍々縮豫備交渉進展し早くも今秋日英米佛伊五海軍國の軍縮豫備會議開催が期待されるに至つた今日、財部海相は左の如く語る

軍縮問題に就ては英米は折角ロンドンに於て交渉中であるが未だ具體的には豫備會議開催の程度に至つてはゐない、目下英米間の交渉となつてゐるのは大型巡洋艦と輕巡洋艦との比率をどの程度に英米間に割當てるかに引かゝつてゐるらしい、初め此問題解決の爲め所謂尺度が米國から提唱されたが、最近尺度發見の不可能が認識されて技術的解決よりも政治的解決に向つて進展してゐる、又先頃主力艦々型は現在の三萬五千噸より三萬噸乃至二萬五千噸に低下し千九百三十一年より開始さるべき代艦建造を五ヶ年延期せんとの案に就て最初反對した本國も漸く之を諒解して來た、斯く軍縮問題は漸次好轉の傾向を採つてゐる、最近米國代表ギブソン氏がロンドンからベルギーに去り再びロンドンに舞ひ戻つたことは交渉の進展を促すものと期待されてゐる、マクドナルド首相が十月に渡米して愈々本問題は具體化するであらう

軍縮會議と わが態度

【東京六日發電】ロンドンにて軍縮に關する豫備會議開催の機運濃厚なるにつき六日の閣議にて幣原外相は英米交渉その後の進展を報告し松平駐英大使を通じて兩國と連絡を保ち我が意向を非公式に通ぜる旨を報告し、海相また技術的説明を試みこれに基き各閣僚間に意見の交換あり結局我が國としても英米間の交渉順調に進み五國豫備會議開催となれば欣然之に參加すべく、その機會近づくにつれて松平大使に訓電して準備交渉に當らしめそれ迄には積極的に働きかけることはなく事態を靜觀することに意見一致を見た

日本の主張

一萬噸巡洋艦 數隻出來る

【東京六日發電】財部海相は閣議終了後左の如く語る

今日の閣議では先月廿四日英米が海軍縮小の具體的聲明を發したにつき英米比率の變化及びこれに對する日本の現有勢力の割合を辯述し、日本の主張する比率保持のためには日本はなほ一萬噸巡洋艦數隻を建造する必要ある旨を述べたのである

今明日中に 官記を傳達

後任關東長官に對して

【東京六日發電】濱口首相は七日午後二時四十二分新橋驛發列車で葉山御用邸に伺候し天皇陛下に拜謁仰付られ木下長官の辭表を捧呈し、その後任として貴族院議員太田政弘氏を内奏御裁可を仰ぐはずであるが、御都合に依つて同日又は八日朝左記官記の傳達あるはずである

從三位勳二等 太田政弘
任關東長官

關東長官 木下謙次郎
依願免本官

ペルシヤ公使

笠間氏に決定

【東京六日發電】新設ペルシヤ公使館初代公使は既報の如く外務書記官笠間杲雄氏が特命全權公使に任ぜられて駐箚することゝなり六日定例閣議で之が決定を見た

堀一等書記官

【東京六日發電】支那公使館一等書記官堀義貴氏は、英國在勤大使館參事官に榮轉することゝなり六日の定例閣議で決定された

消費節約に因る 物價下落の傾向

通貨政策確立が必要

【東京六日發電】政府が金解禁斷行を聲明し國民に消費節約を要望し財界は甚だしく緊縮して各種の變動が起つてゐる、即ち七月の

物價下落 状況は金解禁政策の將來を卜する意味に於て重要視される譯であるが、五日發表された日銀の調査に依ると、七月中の卸賣物價指數は調査品目五十六品中、前月に比し騰貴十一品、低落二十八品、保合十七品、總平均指數は二百十九、五七で前月に比し九厘七毛即ち一分足らずの低下となつてゐる、然るに同月中の爲替相場は解禁氣構へに鼎騰に鼎騰を續け七月中の騰貴率は約六分に上り、之に比較する時は物價の下落率は著しく不足となつてゐる、一方小賣物價指數は商工會議所の調査では七月中に約三厘の下落で卸し賣物價に比しなほ下落歩調が鈍つてゐる、斯く物價下落率不足に際して最近一、二旬の

貿易好轉 は事實は貿易事情の好轉を示すものでなく單なる爲替の騰貴を見越した思惑の結果に過ぎず根本的性質を缺ぎ二、三月も經てば逆轉する虞が多分にあると觀測され、一方卸賣物價が小賣物價に先走つて下落する如き場合往々にして反騰を來す場合があり現に八月に入つてからは早くも物價の下り足は米、生糸をはじめ幾分鈍つた觀を見せてゐる、即ち此事實に依つて見るも

通貨政策 の根本に觸れずして單に消費節約を國民に懇願する程度では物價下落の健全なる過程は到底實現を期し得ないことが察知される譯で今後政府が通貨政策に對し如何なる政策を講ずるかは頗る注目されてゐる所ろである

惜別の松岡滿鐵副總裁(きのふ滿鐵本社玄關前で)

滿蒙の權益擁護と 國際的立場に留意せよ

離滿に際して同胞に對し二つの警告

松岡滿鐵副總裁談

七日離滿する松岡滿鐵副總裁は六日午後三時滿鐵記者團との最後の會見席上で左の如く語る

二箇年間の在職中はいろいろと諸君にお世話になつた、然し在滿八年三度滿洲に住み、而かもその三度とも住んだ兒玉町の同一家屋であつたことは何ともいへぬ懷かしみが込み上げて來る愈離滿することゝなつたがいざ第二の故郷とも云ふべき滿洲を去るとなると一種云ふべからざる淋しさを感ぜずにはゐられない、この馴染深い滿洲とも或は之が最後かも知れぬ、滿洲で八ケ年も仕事をしたから――次の總裁にか、その時はもうミイラになつてゐるであらう

僕はこの離滿に際して在滿同胞諸氏に二つの告別を殘したいと思ふからよろしく傳へて貰ひたい

吾々日本人が滿蒙に進出したことは偶然でもなければ自から好んでしたことでもない

日露戰爭 といふ大きな事件で十萬の尊い生靈を犧牲にした上巨額の國帑を費して得た當然の代價で此權益は當然擁護せねばならない義務である、世界も日本の滿蒙に於ける權益は充分に認めてゐるが、今日の滿蒙の地はコソコソと仕事をする事が出來なくなつた、從つて今後の在滿同胞はインターナショナル・マインを持つて貰ひたいのである、總ての事業が

國際化さ れることにならうから確固たる國際的見地から事に當るといふ決心を持つて貰ひたいものである、次にモ一ツは滿蒙の第一線に立つ大和民族は戰爭には強いが平時に於ても世界の凡ゆる民族に絕對に敗けないといふ信念の上に立つて働いて貰ひたい、即ちセルフ、コンフキデンスを持つて事に當り

國家の爲 開拓に努力して頂きたいと切に願つて置く

尚は副總裁は三時半より總裁應接室に於て參事以上の最後の挨拶を受け、六時半からは重役部長の湖月に於ける送別宴に出席した

松岡副總裁の 離滿挨拶

松岡滿鐵副總裁は愈々離滿するにつき林秘書係主任を代理として各方面に離滿挨拶する所あつた

外交協會幹部が 排日材料を討議

土地商租、榊原事件等

【奉天特電六日發】去る四日午後三時國民外交協會に於ては幹部連が多數集合し左の如き排日案件を討議をした

一、榊原の北寧鐵道支線破壞に關する件

二、日本側の遼寧省管内に於ける強制商租土地水田經營に際し勝手に架線工事を爲し支那省民の交通に不便を與へてゐる件

三、日本鐵道守備隊が屢々南滿、安奉沿線の農民を鐵道妨害犯として射殺した件

四、遼寧省輸入の日貨銷場税統一の件

邊業銀行 特產取扱

資本一千萬元で

【奉天特電六日發】奉天の邊業銀行では豫て附屬營業として特產物の取扱ひを計畫し張學良氏の承認を求めてゐたが、此程その同意を得たので各關係者を招集協議の結果、資本金現洋一千萬元を以て今秋より大規模の特產物取扱ひを開始することに決し既にその準備に着手したと

邦人使傭支人を 強制的に追出す

靑島市黨部の陰謀

【靑島五日發電】工人立退に方り支那人は各會社員使用のボーイに至るまで強制的に連れ出され、今朝日清紡の守衛二名、大日本紡社員宅のボーイ等高手小手に縛られ巡警に引渡され、市黨部の工人操縱は更に進み日本人使用の支那人追出しの強制手段に移りつゝあり邦人間に脅威を與へてゐる

米潜水隊は けふ來航

米國亞細亞艦隊の大連來航は既報の通りであるが、六日午前海軍々務局より旅順海軍無線電信所に宛たる通報に依れば米國軍艦十六潛水隊及びその母艦たるリーザアー號は八月七日より同九日の間に大連に入港と決定したと、尚通報に接した水上署よりは直に關係方面たる海務局民政署等に通知するところあつた

本年は河南からも 多數の移民が來滿

七月末までに二萬餘名に上り 黑龍江當局で保護す

從來滿洲移民と云へば殆んど山東直隸人に限られてゐたが、本年は新しく河南省から續々來滿してゐる、而してその大部分が黑龍江省に向ひつゝあるが、六月末までにチ、ハルに到着した數は二萬五百三十名に達した、黑龍江省民政廳では此等移民を訥河、泰來、布西、龍江、克山、拜泉、呼蘭、綏化、海倫、綏遠の各縣に配屬開墾に從事せしめる豫定で既に一萬五千三十名を各縣に送つた、從來の山東直隸等の難民は自から來り自から各縣に赴き官憲は之に對し殆ど何等の保護も與へてゐなかつたが、今回の河南民は萬事官憲に於て保護し旅費の如きも各縣から支出させ支給してゐると

海牙國際會議

委員一行到着

【オランダヘーグ五日發電】フランス國務總理兼外務長官ブリアン氏以下フランス委員一行は本日午後六時當地に到着した、六日開會の賠償金及びラインランド撤兵に關する國際會議代表は出揃つた

天津支那官憲が 邦人の信書檢閲

支那官憲は從來邦人の信書を時々開封し若し時々之を沒收して居つた形跡あり、其都度總領事館に抗出て居つたが最近邦人某要人の信書を開封したる事實あり、更に前日は開封の上「警備司令部檢閲濟」の捺印を爲して遞送し來たりたるため其の確證となり某氏は直に總領事館に對し嚴重なる抗議を依賴したので其筋は直に抗議を提出した

故後藤伯の銅像を中心に 附近の風致設備

五萬五千圓を投じて

滿鐵第一次總裁故後藤新平伯の銅像建設については既報の如くであるが、滿鐵では銅像建設敷地たる星ケ浦霧ケ岡に銅像を中心とした附近の風致施設を五萬五千圓の豫算で行ふことゝなつた、銅像建設の完成期は來年内となつてゐるが風致施設も出來るだけ

來年中 に竣工しようといふ意氣込み、銅像の臺石は淸冽な噴水池上に据えられ滿々とたゝえた水は丘上より自然流水で一千五百メートル餘を海岸寄の南方に落じ、同所の噴水池に溜つた水を更に五馬力の電氣モーターで銅像噴水池に逆送して循環せしめることゝなつてゐる、而して兩噴水池の周圍は芝生を植付け銅像からは散策に便するため

放射路 を造りまた電車路から公園に這入る道路(星の家入口)は自動車が待ち合せるため園內側にホールを造つて交通事故の防止に努めると

御挨拶

謹啓小生滿洲日報在社中は大方各位の御引立御援助を辱うし大過なく任務を果し得たる段難有御禮申上候今回都合に依り退社歸京する事と相成候に就ては一々拜趨御挨拶申上可き處行李匆々其意を果し得ず乍失禮紙上を以て右申上度如斯に御座候 敬白

昭和四年八月七日 尾間明

辱知各位

勞働總同盟分裂か

【東京六日發電】勞働總同盟では久しく右派の關東派と左派の關西派との間に確執が續けられてゐたが、來る二十五日松岡主事の歸朝と共に本部中央委員會を開き大阪の反幹部派一派を除名することゝなつた、此の結果大阪聯合會を脱退し第三次總同盟分裂となる模樣である

朝鮮夏秋蠶の 掃立成績

【京城特電五日發】七月二十日現在の夏秋蠶第一回掃立て豫想枚數は三二二、○三五枚にして、前年度掃立て實數二一七四、五○四枚に比し四七、五三一枚、一割四分の增加となり桑葉の繁茂良好、目下飼育中の蠶兒の經過も概して優良で相當優秀結果を期待されてゐる

鮮人學校壓迫

吉林省當局が

【吉林特電五日發】吉林教育廳長王華林氏は間島に於ける朝鮮人學校を壓迫する目的にて最近省政府に對し次の如き意見を具申したと傳へらる

一、延邊各縣に於ける墾民私立學校を詳細に調査し縣より法を設けて經費を補助し之を公立と改むること

二、延邊各縣墾民學校は一律に教育部新定の教科書を使用せしめ之に從はざるものは停辦を命ず

三、墾民子弟は須く公立學校に入學せしめ外人學校設立を制限すその制限辦法は教育廳より詳訂の上申請許可を得て施行す

四、延邊教育督察員を設置して教育の進行を督促すると共に墾民教育を監視せしむ

六、延邊墾民教育費として省より十二萬元を支出し以て日本文化侵略を牽制すること

尾間、米野兩氏 けふ便船で離滿

前本社取締役尾間明氏は七日出帆の香港丸で離連し東京に引上げることになつた尚米野前本社編輯局長も同船にて離滿の筈

水雷發射演習

第九驅逐隊では大連灣內東嘴子、三山島一帶において五日より三日間に亘り魚形水雷の發射演習を行つてゐるが横山司令より水上署[illegible]附近航行船舶に注意方を依賴するところあつた

春木家の喜び

大連檢察局春木檢察官事務取扱夫人は六日午前四時女兒分娩、母子とも壯健の由

人事

▲神田內務局長 金大間道路竣成祝賀會に參列のため金州へ

▲藤原旅順民政署長 同上

商況

錢鈔 定期綿場 現物綿場 商品 大阪株式 神戸特產物 東京株式 大阪米 東京米 神戸米 横濱生糸 大阪糸

[illegible]

滿洲日報　露支交渉の對奉影響

露支の交渉、決裂とも傳ふ。とにかく相當の停頓に陷つてゐることだけは肯づける。初め支那側はロシア與し易しと做し、例の對外慣用手段たる直接行動のクーデターに出で、文句をつけ來れば、後日の交渉において有耶無耶に糊塗し、事實上の效果を收めんとしたが、今度といふ今度は、全く手を燒き、策の施すべきなしといふ現局にある。座を蹴つて起たんとするメリニコフ氏に對し、蔡運升氏が袖を引き、長春において張作相氏と會見せしめたところに支那側の脚下が見すかされたのであつた。而して蔡交渉員は國境まで引きずられ、徒らにロシア側の强硬ぶりを見せつけられて交渉を決裂にまで導いた。

◇

かくて交渉は如何になるか、暗雲低迷といふところであるが、支那側から朱紹陽氏が急ぎ滿洲里に赴いたのに徵すると、支那側は少しく狼狽氣味とも察せられる。勿論、ロシア側にも相當弱點はあり支那側の脚並みが揃はぬと同樣の缺陷も認められる。列國の同情を集むることに成功した赤露が、餘りに圖に乘り、これを機會に例の赤化宣傳などを敢てすと、却つて今までの同情はどこへやら、有利と觀た東支鐵道問題を逆勢に轉ずることなしとも限らぬ。八月一日の赤色デーに方り、支那の共產黨員を唆のかし、赤色ビラを撒布せしめた形跡のあるなどは、ロシア側としては大に愼まねばならぬところではあるまいか。理想、否、空想の世界は現實の世界を築き上げることは出來ぬ。

◇

支那とロシアの兩國國境における交渉、虛々實々、宣傳また逆宣傳、而して支那側は朱紹陽といふ最後の切り札を出した次第であるロシア側が、セレブリヤコフ氏を相手に出すや否や。恐らくロシア側は、支那側の申込みを相當の程度まで關知せざるが如き態度に出で、結局は交渉再開といふ幕に入るであらうが、それにしても支那側は、ますます失敗の深みに陷ることを思はしめられる。朱氏を出すといふことは、最後の切り札を出すのであり、それに支那側としては第三國の居中調停を最初から喜ばざるの色を見せた。そこに却つて動きのとれぬところがある。然るにロシア側は、未だ最後の切り札を出したといふでなく、また第三國の取りなし苦しからずといふ、多少餘裕のある態度を示してゐるたから行き詰らぬ。

◇

支那側は重ね重ねの失敗、全く東支鐵道問題を行き詰らして了つた。それに孫科氏などが、わざわざ奉天まで出かけ來り、持ち合はせぬ對策を授くるなど、周章狼狽さの限りともいふべく、また今日の場合、東北の鐵道を中央に歸屬せしむるなどの聲明も、決して策の得たものとは思はれない。國家が完全に統一されれば、邊境の鐵道といへども、これを中央に歸屬せしむることは當然の事理である。併しながら、鐵道、すくなくとも鐵道收入の中央歸屬は張學良、張作相氏らの喜ばざるところなるべく、殊に問題の眞最中なる東支鐵道に關し、支那側は、ロシア側に對し、一種の隙を與へるの結果とはならぬであらうか。すなはちロシア側の乘ずべき機會を與へることになるのではないか。朱紹陽と蔡運升との間は、呂榮寰、張景惠らなどの關係以上に不調和の結果を招かぬであらうか。國民政權を代表した朱氏、奉天政權の利害を何割まで代表してゐるであらうか。

◇

かく考へて來ると、奉天政權の出先官憲によつて行はれた對露クーデター、ある意味にては對奉クーデターを結果するともいへる。東北邊境の國際問題、支那の內政すくなくとも奉天政權の基調に、重大なる搖ぎの來るべきことを思はしめられる。朱氏の西行により、あるひは露支交渉の撚りを戻し、當面を糊塗し得るかも知れぬが、奉天政權の國內的變動は、相當に甚大なるものあるを、奉天側としては覺悟し置かねばなるまい。

懸賞論文　滿蒙の地より　母國の友へ送るの書（六）

當選作　金丸精哉

第二信（一）

今日は三月の十日。旗日と日曜と一緒にやつて來たのだが、此の二三日來靜穩だつた天候も、三寒四溫の大陸的氣候の例に洩れず、朝つぱらから物凄い風が名物の紅塵を誘つて、いはゆる紅塵萬丈天日爲に冥々たりといふ有樣だ。これでは折角の日曜も外に出られず机の前に坐り込むより他に仕方はなくなつた。ところで、此の前の續きでも書くことにするか。

◇

僕は此の前、日本の將來と滿蒙の使命に就いて僭越にも地理的說明を加へて置いたが、今度は滿蒙に犇めき合つてゐる諸民族の消長と、その現狀を書きならべて見やうと思ふ。勿論貧弱な智識で恐れ入るが、わりあい責任は持てるつもりでゐるんだ。

◇

明治三十八年の今月今日、日本はロシアの極東併呑の野望を決定的に粉碎して了つた。以來二十有餘年、滿蒙の天地は、日本の保障下に自由と平和の光に溢れ、文化に產業に見違へるほど裝ひを變へた。然し、一度その底を流れる暗流に瞯目する時、僕たちは今更のやうに慄然たらざるを得ないのだ。

◇

なるほど鐵血の戰爭はもはや滿蒙の地を拂つたかも知れない。しかし、其處には、もつと深刻な民族的爭鬪と、切實な經濟戰線が布かれてゐるのを誰か見逃し得やう。慘たらしい生存のストラッグルは今や滿蒙の野に展開されてゐる。

◇

滿蒙が東洋のバルカンと稱せられ、世界外交の低氣壓中心地として列國環視の中に置かれたのは極最近の事實で、滿蒙民族興亡隆替の歷史は過去三千年の久しきに亙つて幾多の變遷を滿蒙の地に刻して來た。

滿蒙に占據した民族を代表するものは、先づ蒙古族と滿洲族で、遊牧を生業とする所謂行國の民であるが、朔漠たる滿蒙の大自然に育まれた彼等は、海上人のやうに大膽な掠奪を神聖視する漠北の野人であつた。そしてひと度長城の上に立つて、足下に裾野の如くひろがる漢族の燦然たる文化を俯瞰する時、沈勇赫焉の彼等の胸には炎々たる野望が燃え上らずにはゐられなかつた。

◇

實に滿蒙の歷史は、支那の北狄侵入の歷史となつた。

一一六二年、興安嶺の麓ハイラルの野に興つた曠古の英雄成吉思汗は、慓悍な奇蹟的武器を以て滅國四十に達し、覇業は遠くロシアドイツに迄及ぶに至つた、ついで忽比烈の世となつては彼等の夢寢にも忘るゝことの出來なかつた中原統一は成就され國號を元として支那の天下に君臨し、なほ餘威を驅つて二度までも我國を襲つたが事は敢なく失敗に終つた。

百年の後、この元も支那の運命的な易姓革命の週期に遇つて亡び漢族の明朝がこれに代つた。

こゝに天下は漢民族の世となつた。そして蒙古人は鄕土に追ひやられて靜かに敗殘の身を横たへた。

然し、二百七十年の後再び滿蒙族勃興の時が到來した。

◇

秀吉の朝鮮征伐の前後長白山中に鬱勃の氣を漲らしてゐた清朝の祖愛親覺羅の山嶺を傳ふてなだれ落ちる軍勢は脚下に朝鮮を懾服し數十年間滿蒙の野に戰ひ暮したが太祖大宗は今の奉天城に據つて後金國皇帝と自稱し、遼西の野に胡馬を喰ひ、兵を練り乍ら、他日中原進出の機を窺つてゐたのである順治元年八月、太宗の子、世祖（當時六歲）は滿洲八旗二十三萬の精銳を双翼として北京に攻め上り時の明國皇帝毅宗を自ら縊らしめ、悠々と國都を平定し、滿蒙民族は清朝として二百六十三年の間四億に餘る漢民族の上に睥睨した

ラヂオ英語講座

大連放送局八月七日午後七時三十分
講師大連彌生高等女學校茶谷茂

第十九回（第十九週第十三課）

IN THE CLASS-ROOM.

1. (Pupil) Sir, may I ask a question?
2. (Teacher) Yes, you may. What is it?
3. How do you pronounce this word?
4. Which word do you mean?
5. It is in the last line but one.
6. Ah, we pronounce it "cinematogragh", the accent comes on the third syllable.
7. Please tell me the definition of the noun.
8. A noun is the name of anything.
   Have you prepared to-day's lesson?
9. Yes, sir, I have those poems at my finger's ends.
10. Then, please recite them.
    Oh, you have done very well. Do you understand what is meant by this?
11. No, I don't quite understand it. Please explain it once more.
12. All right.—Now do you understand?
13. Yes, sir, I understand very well.
14. Where shall we begin to-day?
15. From the third line on page 65.
16. Yes, Mr. Tanaka, you may read. You read a little too fast.
    Please read more slowly.
17. Sir, time is up. The bell is ringing.
18. Then so much for to-day.

高粱が繁って馬賊の天下來る　惱まされる良民たち

身代金二十萬圓を要求

【撫順】高粱が繁茂したので各地の馬賊は活動を開始し到るところに出沒してゐるが、今年は例年に比して被害多く人質を拉去して莫大な金品を要求するものが多い去る二日には朝鮮石山西方四十支里鐵嶺縣伺水窩子部落農劉某方に兇器持ちの匪賊二名押入り主人を人質として奉票二十萬元を要求立去りたるを屆出により同地公安分所では四日朝討伐隊を派遣大捜査の結果、縣下武家溝の山中で發見交戰數刻の後人質を奪回し彼我共に死傷は無かつたと

昌圖馬賊猖獗

【鐵嶺】昌圖縣下では馬賊の跳梁甚だしく各村落住民は何れも彼等の來襲を恐れ家族を纏めて安住の地を求め昌圖城內を目ざして避難殺倒し、二日までに五十家族百八十名に達したるが、これが爲め城內の空屋全部塞がり利に敏い家主は家賃の値上げをしてゐる程であり避難者續々來る模樣である

八面城市街戰

【鐵嶺】八面城では去る一日午後十一時頃市街警備の爲め公安局巡警二十名が連行商務會裏を巡邏中突如三十餘名の賊團を發見し軍隊の應援を得てこれを包圍猛烈なる市街戰を演じたるが、賊團も頑强に應戰して退かず市內各戶の砲臺は一齊に威嚇的發砲を開始し物凄い光景を呈したが、交戰約四十分討伐隊の應援續々到着せる爲め賊團は一方の血路を開き屍體一個を棄てゝ逃走した

賊團白晝橫行

【鐵嶺】西豐縣下では大肚川を中心に四五十名一團の馬賊橫行し大膽にも白晝に兇行をするもの少からず地方民を苦めてゐるが、今年は例年に比して被害頗る多く賊勢は縣下に三百名位ひ潛伏してゐる模樣あり、官憲も討伐に苦心してゐると

自警團を組織

【吉林】吉林省政府の膝元である吉林近鄕に於ては本年入夏以來小馬賊團の出沒頻繁であるが、官憲の討伐は一向其實を擧げ得ないので各鄕村に於て自警團を組織して馬賊に對抗して居る、數日前本縣內第四區火石嶺子に十名內外の匪賊現はれ同地居住の熊玉彬なるものを人質として拉去した上に、財物は殆ど掠奪されて尙多額の身代金を要求され家族は全く途方に暮れて居る

討伐隊の苦戰

【公主嶺】伊通縣駐屯陸軍第十四團馬賊討伐隊百餘名は同縣赫爾蘇の南方放馬溝蔡家を距る五十支里の地點に於て去月末五十餘名の馬賊の一團を發見、之れを追擊懷德縣河東大榆樹東窪子に至るや賊團の逆襲をうけ戰死四名と負傷三名を出した、討伐隊は死者の銃器を賊に奪はれたほどの苦戰をしたのであるが、賊を逸したので伊通縣二十家子遼河の渡船場を嚴重に警戒してゐる

銃器を强奪

【公主嶺】公主嶺の西方三十支里懷德縣大和店居住李向波方に先月二十八日の午後七時軍服着用の十數名の馬賊襲擊しモーゼル拳銃三挺、支那式長銃二挺を奪ひ主人を人質として拉致行方を晦ましたと

黑色火藥原料の新製法發見さる　從前の半價で生產さる

硝安工場に代つて供給

【撫順】硝安火藥工場の爆發後新工場設置までは敷地の選定諸機械の購入等で相當の時日を要するものゝ如くであるが、その應急策として古城子黑色火藥製造工場等から補給される筈であるが、採炭上最も多量に要するのは黑色火藥であるが從來その原料は比較的高價であつた爲、撫順炭礦研究所に於ては黑色火藥の原料をより安價に製造する事につき專心研究中の處この程漸く完成從來に比し約二分の一の安價で製造される事に成功した、年々炭礦で消費される黑色火藥の量は極めて尨大なものであるが前記の發見は火藥製造費を半減すると共に製造の簡易化が行はれその利益は大なるものである

松岡副總裁の吉敦線視察（三）

切出される無盡藏の吉林材

河川に代りて鐵道の活躍

◇……南里特派員

吉敦線の通過する吉林縣の東部は老爺嶺及海青嶺山脈が蜿蜒して森林地帶をなし南部は趙大鷄山、平嶺等の小山脈によつて形成せられた高崗が起伏し西部は稍丘陵地なれど地味農耕に適し古い開拓の歷史を有し殆ど犂鍬を入れぬ所はなく、殊に南方より北方に貫流する松花江及その各支流の沿岸には良田沃野が少くない。

◇

河流の主なるものとしては大富太河、小富太河、柳樹河、海青河、蟒牛河、四家子河、溫德河、隆河渡通河等で威虎嶺の分水嶺以西は何れも松花江に分流し蛟河からは伐採された木材を筏に組んで吉林へ盛んに流すが、豐尙は暗き大樹林の下を或は岩をはむ瀨を或は矢のように早い急流を下るので吉林まで三百五十支里餘（河流の距離）を僅に二日で到着するのだといふ。

◇

吉敦沿線の林業を見るに吉林們江からの松花江と敦化縣からの牡丹江との各上流は全くの原始林で吉敦鐵道を南北に横斷する老爺嶺、張廣方嶺の二大山脈は殆ど人跡を見ない太古その儘の蓊鬱たるものである、而してその兩山脈を中心に各支脈を加へて包容してゐる樹木中針葉樹は一億六千五百萬石、濶葉樹一億八千五百萬石餘で今日知られてゐる主要樹木は唐白松、唐松、針樅、朝鮮松、赤松、一位（赤柏松）春楡、楡、椴、鹽屯、白楊、唐槭、唐楓、白丁香、黃檗胡桃、斧折、三手楓、鹿梨等とされてゐる。

◇

鐵道の開通前から極めて小規模とはいへ林業が行はれてゐたのは吉林縣の東境蟒岔河を中心とする多出し濶葉材と額穆縣蛟河鎭を中心とする夏出し（增水の關係で）針葉、濶葉兩林の伐採搬出で、他には殆ど絕無といつていゝ位であつた、殊に蛟河がその主搬出地で三乃至十分の四を占めてゐたことから見ても如何に水運が利用されてゐたかを窺知される。

◇

然るに鐵道開通後の林業を見ると運輸にの確實性、運送日數の短縮、金融の便利等から豫想以上の出材を示し從來中繼集散市場となつてゐた蟒岔河、蛟河への出材が減少して各驛より隨意に搬出されるに至つた、殊に敦化の如きは無盡藏とさへ稱せられてゐる長廣方嶺、威虎嶺支脈牡丹嶺等を控へてゐるにも拘らず交通の便が全くなかつたゝめ全然伐採を見なかつたが、鐵道開通後日支の材木商が先陣を爭ひ本年も一千五百車餘の出材を見るに至つた。

◇

斯くの如く死藏されてゐた林業が創始されたことは全く鐵道敷設に因ることでこれは云ふまでもなく松岡副總裁の賜ものであらねばならぬ（寫眞は松花江を下りて吉林に着いた木材の筏）

滿日地方版

奉天

市場改善に 支那人側が反對 背後に商務會あるか 近く組合の態度決定

[illegible]

利益の減少 反對の理由

されてゐる

仲買組合の決議を無視して勝手な陳情書を直接會社側に提出し又は奉天署までも願書を出せる支那側仲買人は、羅市によれば利益が少くなるとか、なくなるとか等を理由としてゐるやうであるがその主謀者と思はれるもの四軒あり、その他は殆ど雷動したものであるらしい、尙會社側が野菜商の裏口を釘付けにしたといふ件は彼等野菜商が從來生產者から直接取引のため設置してゐた口を閉ぢたまでゞ裏口には立派な出入口あり塵埃取除等には何等差支へないとのことである、右に關し片山保安主任は

まだ支那人に就て實際に取調べて居ないから其の間の眞情を知らぬが何れにも理由はある樣である、然し會社側としては多數の意見によりこれを可として實施して居るのだから一部の反對により直ちに怎うすると云ふ事は出來まい、羅市にかけると多少羅上げ幾分高くなるといふ嫌はないでもないが市價の公正を作る關係上已むを得ない更に角兩者間の意見を十二分に究めた上解決したいと思ふ云々

ゐる、四日組合側から會社側の意嚮を訊して來たが聞くまでも及ばないと引返へさしめ一方組合側の態度を速かに決定するやう督促する處あつた、多分五日迄には組合側出樣如何によつて處置することゝなつてゐる

八十餘萬圓で 醫大醫院を改築 第三小學新築も決定

[illegible]とゝなり五日起工したが本年十一月までには竣工の豫定である

目的貫徹 萬難を排し 會社側の決意

既報奉天市場內の魚業仲買人の引荷問題は未だ仲買組合側の態度決定せぬため會社側處置もそのまゝとなつてゐるが、會社側では萬難を排して會社及び市場としての目的を貫徹する決意で陳情支那仲買人に對しては强硬な態度を示して

露支問題と 寧古塔情況

寧古塔にて　横地信果

▲流言蜚語 [illegible]

5、日本軍はすでに安奉線にまで進出し居れり

6、國境ポクラニチチヤ及び三〇〇の日本人は多數ロシヤ人に殺されたり

7、七在留民保護の名の下に哈爾賓に出兵の準備を整へ居れり

▲人心の動搖　軍隊の頻繁なる移動流言蜚語、續々たる避難民の入市、多額の食糧の運搬、馬賊蜂起等四圍不穩の狀況に市民は恟々として中には氣早に南滿に引揚げたるもの又は故鄕の關裡に引揚準備をなすものさへあり

▲邦人に信賴　中流以上の支那人萬一開戰せば日本軍來る可く、其際には宜敷保護をと依賴し來るもの、又貴重品商品の保管方を豫約し來るものがある、知己支那人にて邦字新聞によりて戰情を知る爲に新聞の借覽を乞ひ、又狀況の問合せに來訪するものが多い

▲經濟上の影響　1、例年當地より輸出さるゝ沿線行きの野菜印等主として食料品は時機に際して事件突發せる爲全く輸出中止　2、雜貨業、料理店、妓樓等例年にあつても夏枯れ時に際しての事變とて殆ど營業休止の有樣である　3、小麥粉、白米等の强制徵收あり支商は極端に苦しんで居る

邦人の狀況

在留邦人は既往に日支交涉、奉吉事件、盧永貴事件、沿線日本兵撤退時、張作霖事變等非常時に際會せる事屢次なる故に割合狼狽することなく今回も靜かに時局の推移を知るに勉め居れるが、所管先の領事館より時局に關する何等の情報もなく在留民逼迫時に執る可き方針の指示もなく心細き爲

一、一面坡、海林、牡丹江等附近各地の居留民會を聯絡し情報及意見の交換をなして居る

二、ハルビン及沿線主要地の知人に情況の推移に從ひ通信方を依賴して居る

奉天醫院改稱

滿洲醫科大學附屬奉天醫院は八月一日から滿洲醫科大學醫院に名稱が改正された

滿鐵の 秋季運動會 九月十五日に

既報の如く滿鐵の秋季運動會に關し協議の結果左の如く決定した

一、日時　九月十五日午前八時から開催

二、場所　舊グラウンド

三、競技種目　從來と同樣

四、その他　今年は優勝旗の外にペナントを授與しその年優勝した組の永久所持となす但し優勝旗は從來通り持廻りとする事

奉天特務機關の新築工事 請負諒解成る

奉天特務機關の新築工事請負人推薦方を陸軍側から直接大連の滿洲土木建築協會本部に依賴し來たので、同本部では沿線は勿論奉天支部にも相談なく理事會を開いたのみで三田芳之助氏を推薦したといふので、奉天支部は憤慨の餘り五名の委員を擧げ直接交涉をなすため二日赴連し打合せを了して五日朝歸奉したが、その一員は語る

本部では直接陸軍側から單獨入札によつて建築したい希望を具陳して來たので多くある請負人から三田芳之助氏を推薦したのみで、何も奉天支部に惡意があつてした事ではないから兩者間に諒解成立し今後又陸軍側から申込みがあつた場合には極力奉天支部にも運動することゝして圓滿に解決して歸つて來た

公費納入成績

本年度第一期間中の公費納入狀態は

賦課額　三二、九二五圓
納入額　二五、六四二
滯納額　七、二八二
（即ち二割强）

內 日本人
賦課額　二三、六二九
納入額　一八、四六二

支那人
賦課額　七、三一九
納入額　五、五四七

外人
賦課額　二、〇七七
納入額　一、六三三

畑軍司令官

畑關東軍司令官は五日朝九時發安奉線にて安東に向つたが、驛には各軍隊關係その他官民多數の見送りがあつた、尙司令官は六日一旦歸奉し一泊の上七日十一時四十五分發列車にて鐵嶺に向ふ筈である

岸本氏歡迎句會

柳壇の耆宿岸本水府氏の來奉を機會に奉天川柳會では左の規定で歡迎句會を催す由

宿題汽車　水府氏選、高粱　互選、句數三句まで、締切八月十日、宛先奉天竹園町三田中連樂苑、歡迎會期日八月十二日頃、會場金城館、會費五圓當日持參のことなほ席上水府氏の揮毫を乞ふことゝなつてゐる

人事

▲秦少將　五日安東へ
▲水町少將　七日十三時四十分の急行にて過奉大連經由歸國の筈
▲瀨口大每京城支局長　四日長春より過奉京城へ
▲植田大石橋署長　四日歸任
▲朱紹陽氏（國民政府代表）　四日急行にて哈爾賓へ

京城

朝博工事進む

朝鮮博覽會の工事は目下進捗中で直營館は全部着手、主要館も大部分竣工の域に近づき、特設館も逐日進工中であるたゞこの特設館中には未着手のものがあるので一部には八月卅一日の期日に一齊竣工をきづかつてゐる向があるのに對し事務局では左の如く語つてゐる

直營館の主要なものは最後の裝飾を取付け得るので審勢館の如き既に內部裝飾に着手してゐる新設館も同樣で未着手なのは臺灣、北海道、大阪、廣島、三重、滋賀等と極く小規模の民間特設館だが、これ等も請負者も決定して兩三日中に一齊着工の運になつてゐる、開會期日が切迫して急に竣工するのは何處の博覽會でも有勝で、外部からはこれで間に合ふかしらと心配されるのが例なのだ、決して後れはしないから安心してもらひたい

京城にて 新聞協會大會 九月二十日開催

日本新聞協會では朝鮮博覽會開催を機として來る九月廿日京城に於て第十七回大會開催に決した、出席會員は內地朝鮮、滿洲及び臺灣の新聞通信社幹部百數十名、會長淸浦奎吾伯も出席の豫定で一行の日程は左の如く決定した、朝博事務局及び京城協贊會では接待方法につき目下協議中である

九月十八日　（甲班）午前十時半下關發、午後六時半釜山着（一泊）（乙班）午後十時半下關發
十九日　午前八時釜山着　釜山發京城着
二十日　於朝鮮ホテル大會に官民招待晩餐會
廿一日　朝鮮博覽會觀察
廿二日　京城府內及近郊觀察
廿三日　解散

探勝希望者にて左記日程により金剛山探勝

廿三日夜京城發廿四日廿五日廿六日金剛山探勝廿七日京城歸着

安東

最後迄打まくられ 實業軍慘敗す 八對二のスコアにて 全鮮野球平北豫選

京城日報社及び京城每日申報主催の全鮮野球優勝大會平北豫選は八月四日午後四時より新義州體育協會グラウンドに於て平北道廳軍と新義州實業軍の兩チームに依つて開催された、當日は朝來雨降れるも正午過より快晴正四時に手塚球審、瀨龜兩氏審判、平北道廳伊達內務部長の始球式に依つて試合は開始されたが、試合に先だち昨年度の優勝チーム道廳軍より優勝旗の返還あり道廳此の日の出來榮素晴らしく實業の正投手山本を三回目には完全にノックアウトし、小口投手プレートに立つに及んでこれ亦盛んに打まくり續々と得點をなすに反し實業軍は一昨年龍山鐵道の投手として全國都市對抗戰に出場强敵大連滿倶を惱ましたる藤田投手の爲めに打擊を封ぜられ、第四回に僅かに二點を回復したのみにて最後迄壓迫され八對二のスコアーを以て實業軍昨年の恨ならず遂に再度道廳軍をして名をなさしめた、時に午後六時十五分兩軍のメンバー及び得點左の通り

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九
先攻 道廳	1	0	3	1	1	0	0	0	2
實業	0	0	0	2	0	0	0	0	0

實業　木川　田　田家崎田
曾中東藤金曾久禰高
4 6 5 1 7 9 2 3 8

道廳　西水井口本野好尾
今清酒小山小三角長
8 4 3 9 1 6 2 7 5
2 1 3 9

平北の出品 朝鮮博覽會に

朝鮮博に平北道よりの出品は總數一千百十六點の多數に上り協贊會では三日夫々之が發送の手續きを終つたが、王子製紙並に日鐵公司では特に科學工業館にも一部出品の筈で、又特設館には高さ七十尺の宣傳塔を建設擴聲器を設置して道勢宣傳歌其他を大いに宣傳する

[illegible]募集中の同博團體觀覽者は四日まで二百三十餘團體九千餘名に達してゐると

安東の出品物

朝鮮博に安東縣よりの出品は各種鴨綠江材マッチ軸木、豆粕、大豆小豆、粟、紙類、煙草、柞蠶絲糸其他十數目で近日發送の筈である

安東簡閲點呼

安東縣在鄕軍人分會の本年度簡閲點呼は十六日點呼官山口金吾中佐臨席午前八時から大和小學校々庭に於て執行の筈であるが本年は被點呼者百五十六人であると

安東現在人口

關東廳文書課の發表に依る本年六月末現在の安東附屬地內人口及戸數は左記の通り內、鮮、支、外人合はせて人口六萬千五百四十六人戸數一萬三千三百二十二戸

	戸數	人口
內地人	二、六九八	一一、四六三
朝鮮人	一、七一七	八、一〇三
支那人	八、九〇一	四一、九六八
外國人	六	一二

となりうち支那人は內鮮人數の二倍以上を數へてゐるが尙漸增傾行にあると

自動車と衝突 鮮童生命危篤

新義州府內眞砂町四番地運送業東興商會給仕張成谷（一〇）は四日午前九時頃公會堂橫を自轉車に乘り通行中前方より疾走し來れる多田商會の自動車と衝突し、約二間ばかりも跳飛ばされその場に昏倒したので早速最寄の德山病院に收容應急手當中であるが、頭部を激打された腦出血を起し居る模樣なので生命を氣づかはれてゐる

兩博士講演會

安東地方事務所主催駒井矢野兩博士の學術講演會は十三日夜安東倶樂部で開催の筈であるが、駒井氏は人類學、矢野博士は滿洲に於ける支那研究に關し夫々蘊蓄を傾ける由

標本採集に

安東中學校水野教諭は同校生徒十二名並に名古屋醫大生二名と共に四日朝海事局汽船で鴨江下流の海產物、植物採集に出發したが、多獅島、大和島等を中心に約一週間の豫定であると

白米代金橫領

新義州府內若竹町當時安東縣市場通八丁目趙文根（四二）は一昨年七月來榮町二丁目田龍淸氏出資の上共同で白米商を營んでゐたが、趙は本年六月以來賣上金六百餘圓を橫領したる由で新義州署で嚴重[illegible]

[illegible]なる取調べを受けてゐたが、四日檢事局送りとなつた

博物館資金募集

安東井上地方事務所長、尾崎警察署長、高橋商工會頭は今般帝室博物館復興翼贊會の參與員に選定されたが、三日三氏は安東署會議室に於て醵金募集に關し協議を遂げた、尙井上氏は支部長兼任である

店飾陳列競技會

安東時事新報にては本月十二日より十六日迄の五日間同新報社主催の下に當地商店協會加盟店の店飾陳列競技會を開催する事となつた

觀世流素謠會

觀世流謠曲界の東都重鎭藤波、淺見兩師は十四日來安山內滿銀支店長外在安同好者の勸めにより同日午後三時半よりすみれに於て左記の通り素謠會を催す由

△弱法師（德富卯之助、工一菊松）△松風（奏野富藏、淺見重壽、藤波順三郎）△藤戸（淺見、藤波、工一）

安輸組合陳列棚備付

安東輸入組合では最近事務所內に日本陳列棚を設け諸雜貨見本を陳列してゐるが輸入商取引上非常便利であると

人事

▲東京府主催教育視察團一行二十名は九日來安一泊の上南行の筈
▲鳥取高等農林學校滿蒙見學團一行十名は十日來安同上
▲大津商業學校生徒十二日同上
▲滿鮮行脚中の日本棋院四段國崎師氏は目下京城に滯在中であるが十日頃來安の由

國境一閃

滿鐵總裁の更迭と共に本社地方部を通じて相當の人事の異動を見るべきは必然の事であらう▲安東地方事務所地方係長大岩銀象氏の奉天轉任もその一つである▲だが土着の者としては單なる人事の異動として之を看過するわけには行かぬ▲即ち地方事務所長なり地方係長の如きは市民の生活上密接なる關係を有するからだ▲漸く土地の事情に慣れさて愈々これからその抱負を具現せんとするに當りて直ちに轉任を見ることは內地の地方行政に於てもその例少しとせぬ▲知事公選說の如きもこの弊を救はんとする現れである▲從つて吾等としては地方係長乃至は事務所長の如きは市民から推薦する位に迄進むのが本當であらう▲殊に大岩君の如き市民側との理解あり極力福利のために盡力した君の轉任は惜みても餘りあるものといへよう▲井上所長など片腕をもがれたも同然だと口惜しがるのも無理からぬことだ

金州

自動車激增に鑑み 道路を改修せよ 事故防止策講考の緊要

近來自動車營業者がとみに增加し車輛數も著るしく增加した爲、道幅狹き金州では危險此の上もなく都合事故勘しと雖も此の際これを未然に防ぐべく道路の完全を期する事が急務であらう、殊に金大間道路は完成し新市街驛方面との通絡容易となり、既に滿電バスの開通を見て目下此の方面に對する道路改造は差當り必要なきも、當然起るべき問題としては金州城內對外部との連絡關係であらう、人口一萬餘を擁して處狹き迄に建られたる家、狹き道路、而も暢氣に通行する支那士民、これだけで今後交通事故を頻發することは必然である、而して此れが防止策としては屈曲多き城門入口の改造及城內中央關帝廟前の道路擴張であらう尤も現在の城門入口を取潰す如き事は古蹟保存上不可能の事實なるも、見透しの利く線城壁を穿ちて道路を付替ふる事が適宜の處置ではあるまいか、要は交通事故を未然に防ぎ以て在住一萬餘の安寧を計るにある

鞍山

滿洲探檢の 盲人一行來る 八日演藝會開催

母紙既報盲人探檢隊の一行藤澤蓑雄、筑波一海、福岡豐の三氏は四日奉天から來鞍したので新聞協會及滿鐵社會係の後援で來る八日午後七時半より實業會堂に於て同一行の後援演藝會を開催する由で一般多數の來會を望むと

撫順

潛航艇式運動始まる 地方委員改選期近づき

現在の撫順地方委員も九月一杯で愈々任期滿了十月一日總改選になるので表面は兎も角潛航艇式の運動が既に火蓋をきられた、市中側は結束をかため共倒に陷らぬやう各町內會で理想的公認候補を內定して戰ひにのぞむべく現委員中再出馬するものが多い、炭礦側方面は從來の如く各課所を地盤として應戰するものゝ如く相當新顏が出るらしい、今年は撫順の地方的重大問題がいろ〳〵あるので少くとも撫順百年の爲相當經綸を有する人物本位の理想選擧が行はれ市政の刷新が計られる傾向である

鐵嶺

水泳大會 來る十日に

鐵嶺水泳部主催の下に來る十日午後一時よりプールに於て全鐵の水泳大會を擧行する由なるが、今回の大會は頗る盛大に催される模樣で委員長濱寄所長以下三十餘名の委員を以て諸準備を進め賞品も多數ありと、水泳部員として出場希望者は八日までに申込まれたしと

水泳認定試驗

當地水泳プールでは四日午後一時より山內倉田山田の三氏委員となり兒童の水泳段級認定試驗を行ひたるが、一級合格者（三百米突以上）九名二級合格者（百米突以上）十六名三級合格者（廿五米突以上）男兒七名女兒七名であつたと

對抗競技の 選手決定 連日猛練習

鐵開四公對抗陸上競技に備ふる爲め鐵嶺軍選手は連日の炎熱に屈せず猛練習を續けてゐるが、五日午前十一時より運動協會幹部協議の結果全鐵嶺陸上競技部選手を左の如く決定した

▲八百米　磯西、東海林、崔
▲百米　池田、水口、平橋
▲走巾跳　馬、崔、池田
▲圓盤投　室、古賀、篠原
▲千五百米　磯西、田ノ上
▲走高跳　馬、崔、池田
▲砲丸投　山內、古賀、篠原
▲四百米　磯西、崔、田ノ上
▲三段跳　馬、崔、水口
▲二百米　池田、平橋、東海林
▲槍投　室、古賀、篠原
▲八百米リレー　池田、崔、磯西、東海林

庭球選手決定

近く奉天に開催される州內外對抗庭球大會選手として鐵嶺から內倉矢野兩君が選拔された

奉中陸上選手來鐵

奉天中學陸上競技部選手は來る十一日第四回の奉鐵對抗競技に遠征し來る由、鐵嶺軍も陣容成り四地對抗競技を目前に控へてゐる事とて其豫備戰にこれを快諾對抗する事になつたが、前年までの記錄は鐵嶺軍二勝一敗である

岩永氏赴任

長春に榮轉せる岩永機關區長は官民多數の見送りを受けて五日赴任したるが、鐵嶺義勇消防團では氏在任中少なからぬ援助を得たので謝意を表する爲め純銀カップ一對と感謝狀を贈つた

滿鐵社員轉任

鐵嶺機關區勤務機關士竹本喜太郎、丹羽一北喜市の三氏は長春機關區に、宗村淸次、西澤光輝の二氏は四平街機關區に何れも轉任の旨發表された

長春

健兒が西公園で 天幕生活を始む 鐵嶺健兒も近く來る

長春健兒團中南滿でのキャムプ生活に選にもれた三十二名の健兒が長春西公園で天幕生活を始めた、長春では始めてのことなので父兄達も非常に喜こんで愈々

見物に　行くものが多い、近く大連及び鐵嶺の健兒も來て合宿することゝなつてゐるから賑やかなキャムプ村が出現するだらう場所は云ひ乍ら市中の喧噪を完全に避け人のあまり立入らぬ草原である竹下、牧等の指導員が何くれと世話をやいてゐるがその日その日の日課は

午前五時半起床、六時半巡閲國旗揭揚、七時朝食、八時作業十一時まで學習、十一時半晝食、一時から三時まで午睡、五時まで學習及訓練、六時夕食、八時會議八時半就寢

と云ふ順序であるが、仲々規律正しい、一番樂しいのは食事と就寢だそうである、每日

作文を　作らしてゐるが仲々詩人もゐる、なかにも面白いのは何處で覺えたか「つばめ」題の神本君が俳句の一節

うれしやな
　毛布の上にあばれたり

最初は臆者病揃で便所にも行けぬ子供が多かつたが、二日目からは皆勇氣を出して獨りでゆくと竹下指導員の話、軍隊側でも兒童に萬一のことがあつてはいかぬと夜は二名の兵士を巡回させてゐる

畑軍司令官

新任畑關東軍司令官は九日午前十時一時長春到着初度巡視を爲す筈で當日は守備隊兵員が儀仗兵となり第二聯隊、在鄕軍人等警察署前まで整列せる中を乘馬にて檢閲し、同所より滿洲旅館に到り一泊十日午前八時半發歸旅すると

物乞の日本人

去る四日午後零時頃市內羽衣町二丁目居住滿鐵社員近藤正吉方勝手口に見すぼらしい內地人が來て物乞を爲し擧動が不審なので、同家妻女が直ちに泉町派出所に屆出で係官出張取押へんとした所既に姿を晦ました後なので、八方探查中の所又復數島寮炊事場に現はれたとの知せに直ちに引捕へ取調べたるに、原籍北海道小樽市住江町前平定雄（二〇）と云ひ本年二月雄圖を抱いて哈爾賓に赴いたが、事志しと違ひ材木商成田六三郎氏方に世話になつてゐたが關節炎を病み行動自由ならず同家をも放逐されて徒步にて來長したものだと申立てた

開原

聖代の池 涼客で賑ふ

開原驛構內の聖代の池は過般來舊天島の修築を終り夏季の舟遊びに好適地として舟を浮べて銷夏する人々にて昨今賑はつてゐる、過般豪雨出水の際開原河より逆流し來りたる由にて以來魚族も殖え鯉鮒の尺以上のものが銀鱗を夕日に[illegible]

小學校同窓會

[illegible]躍らせて居ると

開原小學校同窓會は既報の通り四日午前十時小學校講堂に於て開催されたが幹事開會の辭を述べ永野會長の挨拶あり懇村幹事會務を報告し各會員の自己紹介あり次で會長指名にて幹事男子部懇村、高橋、倉岡、俵坂、女子部毛利、千々和、國弘、羽原、山口諸君に決定し記念撮影をなし午後各會員の餘興民謠ハーモニカ獨唱、ダンス舞蹈、舞踊等に一同歡を盡して午後三時村田幹事閉會の辭を述べ和氣靄々裡に散會

穗積中尉轉任

開原守備隊附穗積中尉は八月一日付靑森聯隊に轉任を命ぜられ近日中出發赴任の由

遼陽

野球リーグ戰 十八日第一回戰

吾社遼陽支局主催の遼陽以南の野球リーグ戰は四日主將會議の結果十八日第一回戰を翌十九日優勝戰開催のことに決定した

中間驛を慰問

遼陽滿鐵社會係では中間驛在勤社員家族慰問の爲め活動寫眞を映寫觀覽せしめつゝあり其の日割は一日煙臺、二日張臺子、三日十里河四日沙河、五日首山の順で十、十一の兩夜は遼陽滿鐵テニスコートで在遼社員及び家族の爲公開すと

水泳大會延期

全遼陽の水泳大會は十一日開催の豫定であつたが、當日奉天に於ても大會開催に付選手中見學に赴く者もあるので十八日に延期することになつた

土曜會の例會

遼陽土曜會では五日午後七時から滿洲ホテルに於て今回の陸軍定期異動で離遼する鈴木軍醫正、高田大佐、古岳少佐其他の爲め送別を兼ねた例會を催したが出席者多く盛會であつた

秋季大祭準備協議

遼陽神社の秋季大祭執行には準備協議會を六日午後一時から遼陽社員クラブ樓上に於て開催した

懇親撞球會

遼陽公會堂の撞球部では四日會員の懇親撞球會を催したが、其の結果一等松尾二等渡邊（陽）三等山崎の順で會員一同會食の上入賞者に賞品を贈呈した

郵便局の成績

遼陽郵便局に於ける七月中の成績左の通り

▲普通郵便の引受十三萬九千七百五十二件配達十萬六千二百六十一件▲書留通常引受千四百五十三配達千六百三十三▲價格表記引受六十五配達百九十四▲書留小包引受四百四十四配達千四百廿▲代金引換小包引受五配達三百五十三▲爲替貯金振出四千六百六十一件金額九萬一千七百五十圓四十八錢拂渡千三十件金額三萬九千九百八十六圓十九錢▲簡易保險新規申込五十七件金額七千四百十圓九十錢累計四千九百四十三件金額八十七萬二百六十二圓六十錢

公主嶺

夏季は窃盜月 十年間の統計

公主嶺警察署で調べた十年間に於ける統計によれば强窃盜の取わけ多い月は六月より九月に至る四ヶ月である、それは暑氣のため窓其他戸締の不完全又は忘れてせぬ向きもあり或はほしものを干場に忘れたりするためで、又支那行商人の徘徊等夏季に多いのも原因、左に十年間の强窃盜の增減を示せば

大正八年窃盜一七七件、强盜六件、同九年窃二〇八件、强七件同十年窃一五八件、强八件、同十一年窃一七一件、强六件、同十二年窃二〇〇件、强一〇件、同十三年窃二二九件、强一七件同十四年窃三四六件、强一一件同十五年窃二〇一件、强一〇件昭和二年窃一九三件、强一七件同三年窃一七八件、强一九件の合計窃盜一千九百五十七件、强盜百十一件であると

蓄音機を盜む

市內市場町三丁目理髮業王芝方に三十日の午前四時頃家人の熟睡中を奇貨とし表入口の扉を破壞侵入した窃盜は店に備へ付けの上海製蓄音機價格金四十五圓、レコード二十九枚及自轉車一臺合計金百十圓の物品を窃取逃走した

貔子窩

赤痢患者續出

貔子窩巡查は赤痢に罹り當地病院に加療中であつたが、其後新患者續出し既に邦人八名の患者を出して居る、警務課は之が豫防として當務員は勿論當番員迄召集して各戸に涉り檢病的戸口調查を行つて居るが支那人間には未だそれらしき患者を發見して居らない、時節柄凡ての物が腐敗し易く果物等も出盛る時期であれば各自衞生健康に注意して欲しいものであると

瓦房店

野犬撲殺 狂犬病豫防の爲

當警察署にては目下狂犬病豫防のため野犬撲殺を行つて居るが每日相當の頭數に上つて居ると

安藤氏榮轉

當地醫院事務長安藤榮治郎氏は今回遼陽醫院事務長に榮轉し、後任として撫順醫院より赤川章一氏が來任する事となつた

旅順

神職會の 巡回講演

滿洲神職會では活動寫眞巡回慰安を行ふ豫定の處、これを變更し巡回講演會を開催し講師として大連琴平神社平田勝重氏は「神社と大和民族としての實際生活」沙河口神社河野濱氏は「建國の由來と國民性」との演題のもとに左の日時各地を巡演することに決定し州外は近く確定する由

八月廿二日貔子窩、廿三日普蘭店、廿四日金州、廿五日柳樹屯でいづれも午後七時からである

旅順驛勢

七月中に於ける旅順驛勢を見るに乘車客一等二十六名、二等五百三十名、三等一萬一千三百七名、合計一萬一千八百六十三名に對し降車客一等三十四名、二等五百二十一名、三等一萬一千三百二十一名合計一萬一千八百七十六名を算した、又手荷物發着に於ては發送に於て無賃扱一千百五十六個（前年度一千百四十四個）有賃扱二百九個、五千百十斤にて到着にては無賃扱六百五十三個（前年度六百四十三個）有賃扱二百二十一個（前年度二百四十八個）斤量五千七百六十四斤にて前年度は七千八百八十一斤に比し多少の減少を示してゐる、更らに亦生果野菜鮮魚等の通常小荷物發送は合計六百三十六個斤量に於て三萬八千八百五十二斤金銀扱ひに係る特殊發送物に對しては百四個に對し一千八百七十一斤を示し到着に於ては通常一千六十四個斤量に於て一萬二千六百七十四斤特殊は四十九個に對し三千四十九斤を示した、また收入方面における一時保管料金は十三圓五十錢、保管料金としては九圓四十錢を現し發着貨物に於ては社線にて發送小口扱二十五噸二四、一車扱七百八十九噸、聯絡にては小口扱二十六噸九四、一車扱七百八十九噸、到着社線小口扱八百五噸二一車扱千九百十噸五、連絡小口扱六十九噸一、一車扱三百四十一噸八を示した

簡易保險業績

旅順郵便局の七月末現在に於ける簡易保險の業績は、受持金口數三千八百十三件で金額にして七十八萬六千四百九十八圓四十錢で、七月中に新規增加したのは口數にして五十四口、此の金額一萬六十三圓で、六月中の申込は局員總動員で各家庭の戸別訪問を爲し口數にして百五十六件、金額にして三萬二千二百五十四圓餘の新規加入を見たこれを前年度七月に比較すると口數四十七件に增加の好成績だとの事で、一方郵便貯金は七月中四千三百四十八件で此の受領金額四萬三千八百四十七圓餘の數字を表はし、拂出口數は五百二口で此金額一萬八千七百九十八圓强に上り差引二萬五千四十九圓の預金高を示してゐる、六月はボーナス月と云ふので郵便貯金の宣傳には大童になつて務めたのだが、何分官廳勤めの多い旅順の事で、他の都市の樣に會社員が多からず、反つて秋口の衣更準備の爲めに貯金の引き出しが多かつたのだらうと、其れでも年々預金が多くなるのは矢張り月給生活者の都市であるからであらう

敗退將棋 其六　滿日名家

【飯塚氏二勝三回目】

左香落　六段　△飯塚勘一郎
四段　▲齋藤銀次郎

持駒　齋藤氏　飛桂歩歩

【局面は前號指了迄の圖】

持駒　飯塚氏　飛角歩歩

【盤面以下指方】△七二飛▲六三銀△七四歩▲七二歩△九一飛▲八八馬△五五歩▲七八飛△二六香▲五一桂△八四角▲四一金△四五銀▲五五馬

【對局者の感想】齋藤四段曰く敵の二六香は嚴しい手です止むを得ず五一桂と受けたが攻めに使ふ武器だけに隨分嫌であつた。飯塚六段曰く八四角の手で四五角と打つて七九飛成三四角と攻める手もあつたが三三金と强く凌がれると却つて不利の樣な氣がした。

【大崎八段講評】上手輕く二六香と攻めて敵の最も大切な桂を防禦に費させしは種々の味合あり輕く危險を免れてよろし下手敵が四五龍と上るを五五馬と引きしは輕く凌ぎつゝ逆に銀を攻めんとする含みありて面白し。

フォードトラック

積載量一噸半乃至二噸

信頼すべき最も經濟的なる輸送

四十馬力
發動機

複式變速器
前進四段　後退二段
牽引力三分の一增大
特價　百六十五圓

十六葉式後部スプリングの構造圖及
ブレーキの位置及新式鋼鐵圓盤車輪

重力供給式燃料槽・容量十ガロン

カーブレツターはホツトスポツトの
吸入管の特製のものである

$\frac{3}{4}$不能逆轉式操從裝置

乾燥單板式運軸機

變速器は選擇滑走齒輪式
標準のもので前進三段後退一段のものである

冷却は遠心力式循環ポンプ

電池卷線輪及配電器を有するフォード式の簡單な發火裝置

特別堅牢なる五個の補助フレームを持つ車臺構造

十二葉前部スプリング

前部避震機

後車軸は$\frac{3}{4}$浮動式

フォード式鋼鐵圓盤式車輪

前部スプリングの水壓式震動抹殺機二個

フォードAA式車臺
積載量一噸半……二噸

十六葉カンテイレバー式發條

注油裝置は故障無く壓力式飛散式
及動力並用にして容量五クオート

六個の制動機

足動制動機四個獨立手動制動機二個何れも內部膨張式にて塵埃及水を防止する完全なるカバー附

フォード式總鋼製AAトラック箱型運轉臺

標準AA式フォード荷物車臺　鋼板製配給フォード車臺

フォード製總鋼鐵AA貨車々臺及總鋼運轉臺

乘合自動車用支那製車臺各種　各フォード代理店にて販賣

機構簡單

フォード車の機械の構造は極めて簡單であつて他の自動車に比較して運動個所は半分減であります、故に之を修繕するにも極めて簡單で摩減した爲めに取換るべき部分品の數も減じられます、此の事實は他の自動車部分品取換費用がフォードより五割乃至二倍を要すると云ふ事に思ひ當つた時に自動車使用上重大な問題であります。

輕量にして堅牢

比較的輕量にも拘わらず新式フォードトラツクが驚異的車體强力なる所以は九十パーセント以上は鋼鐵製であつて而も三百九十ケ所の電氣熔接及三百ケ所の鋲熔接とによつて車臺の重さを增す事なく强さを增す事が出來るからであります。

最大能力

發動機は少しの回轉で四十馬力を發生致します全車臺の重要なる部分には二十五個の摩擦防止のボール及ローラーベアリングの裝置があり自動車の力を增大すると同時に車の生命を長からしめます、且つ一噸半乃至二噸の荷物を積載して時速四十マイル乃至五十マイルを疾速する事が出來ます。

トラック

については最寄りの販賣店で御問合せ下さるならば繪畵入りの說明書を差上げます、尙ほフォードトラックの車臺を各種取揃へてありますから實物について御覽下さい。

大連特約販賣店
大連モーターセールス商會　山縣通百十四番地
電話八五四六・七六九六番

上海フォード自動車株式會社

コドモページ

連山關の林間聚落へ (一)
汽車の窓にうつる安奉線の美しいながめ
青山生

安奉線の連山關に林間聚落がはじめられるやうになつてから今年がちやうど六年目、私はぜひ一度いつて見たいと思ひながらいそがしいのと何分にも遠いのとで未だに行かれないでゐたが、二三日まへやうやくすこしばかりひまをこしらへたので、思ひきつて、でかけることにした。

◇

私ののつた二十二時大連驛發の夜行列車は、そのあくる日の朝奉天に到着、こゝで安奉線にのりかへる。

◇

安奉線は、けしきのよいので有名だ。

◇

蘇家屯から小さい驛を四つか五つ過ぎると今までかうりやん畑ばかり見えてゐた兩がはのまどには低い山が見えて來る。そして、汽車が進むにしたがつて、その山はだん／＼高くなり、兩側からまどに近づいて來る。

◇

汽車のまどからはさら／＼と美しい水のながれてゐる小川がしきりに見えそして、その川には支那のこどもがパチヤ／＼およいでゐたりした。

◇

山には、木が次第に多くなる。

火連寨といふ驛のあたりからはいよ／＼山が汽車の線路の兩がはにせまり、汽車は時々ものすごい音をたてゝトンネルの中に入る。あたりはすつかり山國の感じだ。

◇

鷄冠頭驛あたりからは山も川もうんと大きくなり、トンネルも多くなる。汽車がトンネルを出ると必ず川が見え、川があると必ず水車場が見える。あとで聞いて知つたのだが、それは、みんなせんこうのこなをこしらへる水車場なのださうだ。

◇

汽車が連山關に近づいた頃今まで晴れわたつてゐた青空はにはかにまつくらになつて瀧のやうな雨が列車のまどガラスを洗ふやうにながれる。

「こりやたいへんなことになつたぞ」とうらめしさうに空をながめてゐたが、わづか十分間ばかりでカラリとはれ、汽車が連山關についたころは、そらはすつかりあかるくなつて雲のあひだからお日さまがさつとさしてきた。

◇

カバンをかゝへて驛におりると林間聚落主事の久世先生がわざわざでむかへにきてくれてゐた。

「ようこそ、さあごあんないいたしませう」でつぷりふとつた久世先生が先に立つてさつさとあるく。

◇

驛前のすばらしくりつぱなポプラの並木道をよこぎつて、ゆるい坂みちを少しばかりのぼるとそこはもう學校だ、そして此の學校が聚落場になつてゐる。

◇

學校の前に立つてあたりを見まわすと、どこを見ても青々とした山ばかりだ。はだにさわる空氣が何となくひえ／＼とする。(寫眞は連山關驛前のポプラのなみ木)

童謠
矢車草
大連 武藤カズエ

矢車ぐる／＼
矢車草は
夏のお庭の
垣の中
ゆうらり ゆらりと
ゆれて咲く

七色きれいな
矢車草は
ぐる／＼虹の
花のやう
さらさらさらりと
吹かれてる

夏の科學
蟬の話 (二)
はるみち

一郎。お父さん、蟬は何からできるのですか。

父。蟬のたまごからうまれるのさ。

一郎。蟬も卵をうむの？

父。さうとも、虫はみんなたまごをうむよ。

一郎。たまごをどこにうむのでせうね？

父。木のみきにうみつけるのだ、蟬のめすをつかまへて見るとよくわかるが、めすのしつぽにはのこぎりのやうな形のたまごをうむくだがある。そのくだを木の皮の中につゝこんで白くて少しほそ長いたまごを二れつにうみつける。

一郎。そのたまごがすぐに蟬になるのですか。

父。いや、どうして、そのたまごが蟬になるまでには少くとも十二三年はかゝる。長いのになると十七八年もかゝるさうだ。

一郎。ずゐぶん長くかゝるのですね。そんな長いあひだ木の中にゐるのですか。

父。さうぢやない、うみつけられたたまごは十四五日で幼蟲になる。そして、その幼蟲は木のみきをつたつてぢめんに下り、地中にふかく入つて木の根からしるをすふのだ。この幼虫の生活がまことに長い。しかしいよ蟬になつてからのいのちはたいへんみじかくて、三四日ぐらゐしか生きてゐない。

一郎。ずいぶんみじかいいのちですねえ。

父。それにくらべると五十年も六十年も、或は七十年も八十年も生きられる人間は心からかみさまにおれいを言はなければならないわけだ。

ニドメノ 大チヤンノタンケン (83)
ハルミチ作 ジラウ畫

大チヤンハ オヂサンノ オハナシヲ キイテ オヂサンノ オハコノシマニ キタ ワケガ ヨクワカリ マシタ。

コンドハ 大チヤンノ オハナシヲスル バンデス。

大チヤンハ クロンボヲ タイジシタ ハナシヤ シマノ ムスメタチヲ タスケタ ハナシヤ モリノ マワウヲ シマナガシニシタ ハナシヲ オヂサンニ キカセマシタ。

オヂサンハ 大チヤンノ ハナシヲ オモシロサウニ キイテヰマシタガ センスイテイガ マダ コノシマニ ツナイデアルトイフコトヲキクト キウニ ヒザヲ ノリダシマシタ。

兒童作品
水泳大會
鄭家屯小學校五年 塚本志津子

今日は私たちが七日間きたへた水泳の大會がありました。五級の私は浮身競爭をやりました。いよ／＼私等の番が來た時「さあゆきなさい」といふ號令がでた時胸はおどりました。波のしぶきは一滴毎に寒さを覺えましたが、さきを爭つて入りました乳のせい位來た時號令がかゝりました。私達は皆一せいに浮きました少しするとはりきれそうないきに「ぶくぶく／＼」と口から出て來ましたもうたまりません。顏を上げて見たら私一人でした。これはしまつたと思つたがもうおひつかなかつた

足
嶺前小學校三年 渡邊マス代

「ますちやんの足はでぶね」と、いふのは内のねえさんです。私はしやくにさはつてたまりません。私の足はでぶに見えるのかいつもこんなことをいふのです。

私の足はよく虫にくはれるので、はれたやうになります。へつこんだり、ふくれてゐたりして、私の足はへんなかたちをしてゐます。お母様がよく

「ますちやんの足はきたないね」とおつしやいます。時々私も「どうして」ときくこともあります。

右の足は内中で「おかしい」と笑はれる足なのです。足のかたちが「おかしい」といふのは内中の人です。毎日ほうたいばかりしてゐる。あるきかたもへんなのでせう。内の人は私のあるくたんび、へんなかほをしてゐます。私は「どうしたのか」と思つてゐることもあります「そんなにおかしい」といつもいつてゐます。

とくべつ私の右の足は「けがをする足だ」と思ひます。此の間もせんしゆにでゝ、こけた足は右です。私はふしぎに思つてゐます。右の足をけがしたのは、とてもいたいです。又左をけがしても、ちよつともいたくないことがあります「それはどうしてゞせう」と、私は思ふこともあります。右の足はいつもほうたいをまかなきやいけないけがをする足です。

ドイツデハ リツパナコクミンヲ ツクルノニハ マヅコドモノ カラダヲ ジヨウブニ シナケレバナラナイト イフノデ チカゴロ ヨワイコドモヲ ツヨクスルオウチヲ コシラヘマシタ。コノオウチニハ オホキナオヘヤガ アツテソノ オヘヤノマワリニハ クオーツランプト イフ オホキナ デンキノ ランプガ ナラベテアリマス。ソシテカラダノ ヨワイ コドモタチハ マツパダカニ ナリ クロイ メガネヲ カケテ ランプノ ヒカリヲ アビマス。コウシテ マイニチ クオーツランプノ ヒカリヲ アビテヰルト ヨワイ コドモモ ダンダン ツヨクナルノデス。

8—4

滿倶軍悠々捷つ 全京城の奮鬪も空し

連日の疲れを見せず濱崎好投 都市對抗准決勝戰

【東京特電六日發】全國都市對抗野球大會准決勝戰全京城對滿洲倶樂部野球戰は六日午後三時より明治神宮球場にて桐原(球)池田、淺沼(壘)三氏審判のもとに滿倶先攻にて開始、滿倶軍終始優勢を示し遂に八對四にて快勝した、京城は第一投手渡邊をプレートに送つたがノックアウトされ五回早くも久禮に位置を讓り滿倶先づ兒玉を陣頭に立て後山口と更代したが思はしからず遂に三度第一投手濱崎をプレートに送り無事京城軍の鐵棒を喰止む、閉戰同五時三十五分、試合經過次の如し

滿倶得點	3	0	0	3	0	0	1	1	0	8
回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
京城得點	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4

△第一回 滿倶吉野先づ四球を利し疋田三側にバンド安打し捕手之を一壘に惡投する間に吉野三進(この時疋田負傷し綠川代走)長澤の遊ゴロに生還、疋田一擧三進片岡三振後濱崎四球(代走綠川宗正と代る)直に二盗綠川の遊ゴロ失に疋田生還、濱崎三進綠川二盗走者二三壘に據る、宗正の遊ゴロ野手またトンネルして濱崎も還り兒玉は三振に終つたが荒れ加減である▲京城坂井投ゴロ滿倶先づ三點を占める京城渡邊本四球に二死滿壘となつたが西村二飛後久禮中堅安打に出で渡邊また遊越直球安打に續き松岩田の二ゴロ永澤轉びながら捕へて二壘にタッチして松本を封殺危機を切り拔く(滿三、京零)

△第二回 滿倶永澤二ゴロ吉野三ゴロ疋田右飛▲京城長曾我部二直、鈴木二飛立石遊ゴロ(兩軍零)

△第三回 滿倶長澤左飛片岡三振濱崎三ゴロ渡邊の肩漸く定まる▲京城坂井三ゴロ後西村右前に安打し久禮の遊ゴロに封殺渡邊三遊間に二度目の安打を放つて久禮一擧三進、渡邊二盜を試む時捕手片岡球を二壘に投ずると見せて巧みに三壘に投じた球に三壘を離れた久禮を刺され京城再び好機を逸す(兩軍零)

▽第四回 滿倶綠川四球宗正二ゴロ間を拔き綠川三進、兒玉スクイズを試み捕前にバントし捕手の投球を野手落球して兒玉も生き綠川生還、宗正三進兒玉は二盜に倒れて一死となつたが、永澤左翼安打して宗正を迎え吉野は三越テキサスに續き疋田も中前安打に滿壘(代走綠川)長澤二壘に小直球を送つて一壘に死ぬ間に永澤生還し走者進壘、片岡の遊ゴロに漸く止む、滿倶益々優勢▲京城(兒玉退き山口立つ)松本の大飛球を濱崎落球して松本三壘に達し岩田の中犧飛に最初の一點を收め長曾我部遊擊左に猛直球を呈したが、長澤逆モーションを双手で見事に捕へて二死鈴木右前安打立石坂井共に三遊間安打に滿壘(此の時滿倶山口退き濱崎投手綠川左翼木原右翼となる)西村直線的四球に鈴木押出しで一點を得たるも久禮三振に終る(滿三京二)

▲第五回 滿倶(京城久禮投手渡邊右翼となる)濱崎遊ゴロ綠川三振宗正遊ゴロ△京城渡邊中堅安打松本中堅左に二壘打して渡邊生還、岩田二飛長曾我部四球鈴木一飛に二死となつたが、立石中前テキサス安打して松本を迎へ長曾我部三進し立石二盜に刺さる(滿零京二)

▲第六回 滿倶木原二ゴロ永澤遊擊を拔いて出たが吉野の三ゴロに封殺疋田左飛△京城坂井死球西村一前バンド内野安打となり久禮の犧打に走者進壘し京城絶好の好機を迎へたが、當日の當り屋渡邊も濱崎の怪腕に敵なく三振松本は遊ゴロして遂に空し(兩軍零)

▲第七回 滿倶長澤二壘右安打片岡の二ゴロに進壘、濱崎左翼に二壘打して長澤生還、綠川四球宗正中飛木原三振△京城岩田中右間三壘打を放ち長曾我部の左飛に本壘に走つたが、野手の好投に寸前に刺され立石遊飛に終る(滿一京零)

▲第八回 滿倶(京城吉富左翼に入る)永澤遊ゴロ吉野左翼三壘打し疋田の中犧飛に還り長澤右中間三壘打したるも片岡三振△京城坂井遊ゴロ西村二直久禮三遊間安打、渡邊三振(滿一京零)

▲第九回 (京城角谷投手、久禮左翼となり吉富退く)滿倶濱崎四球綠川のゴロ走者に當つて濱崎アウト、宗正左飛木原四球永澤中飛△京城松本遊ゴロ、岩田の中堅大飛を宗正後走よく捕へ長曾我部遊擊安打したが角谷三振し萬事休す(兩軍零)

(滿倶)

	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	過失	刺殺	補殺
19 濱崎	3	1	1	0	1	0	2	1	0	0
79 綠川	3	1	1	1	2	1	2	0	1	0
8 宗正	5	1	1	0	1	0	0	0	2	0
1 兒玉	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
1 山口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 木原	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
4 永澤	5	1	2	0	0	0	0	0	8	0
計	37	8	11	2	4	5	6	1	27	11

(全京城)

	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	過失	刺殺	補殺
4 坂井	4	0	1	0	0	0	1	0	2	3
5 西村	4	0	2	0	0	0	1	0	0	4
719 久禮	4	0	2	1	0	1	0	0	2	0
91 渡邊	5	1	3	0	0	2	0	0	0	0
8 松本	4	2	1	0	0	0	1	0	3	0
2 岩田	4	0	1	1	0	0	0	0	6	2
3 長曾我部	4	0	1	0	0	0	1	1	12	0
9 鈴木	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0
PH 佐武	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 吉富	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 角谷	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
6 立石	4	0	0	0	0	0	0	2	1	5
計	38	4	13	2	1	3	4	3	27	14

三壘打 長澤、岩田、吉野

二壘打 松本、濱崎

バットの響

要するにチームワークの取れたチームとそうでないチーム、責任感の強弱といふものが今日のゲームの結果に影響をしたといへやうか▲京城のエラーが全部得點に關係するタイムリーのものであり滿倶は反對に危機に際し固く守り、また全體の安打數に於て京城に劣り乍ら常に打つ可き時に打つてチャンスを無駄にしなかつたのは多分にこの間の事情を物語つてゐるのではあるまいか▲濱崎が連日の好投は確に功一級に價する、滿倶が本日までのあの好守と當りとを持續すれば決勝戰での多少の投手の疲れは決して心配するには當らない。

決勝戰 午後三時から

【東京六日發電】全國都市對抗野球決勝戰大連代表滿洲倶樂部對名古屋代表名鐵戰は七日午後三時より開始されることゝなつた

非衛生を物語る この夥しい數字

傳染病豫防デーの收穫

大連署では既報の通り五日傳染病豫防デーを施行し當非番外勤員を以て管内一齊に取締を勵行したがその成績は左の通りで相當効果あつた模樣である

▲塵芥箱の新設を命じたもの五十九件▲塵芥箱の改修を命じたもの三百七十六件▲便所の新設を命じたもの五件▲便所の改修を命じたもの七十件▲料理店、飲食店、宿屋、下宿屋等の厨房の不完全または不潔にして改修または掃除を命じたもの五十六件▲同上防蠅設備を命じまたは驅蠅方法を指示したもの三十五件▲下水溝、便所其他不潔ヶ所及び汚物、汚水等の掃除整理を命じたもの七十四件▲痰壺の設置または掃除を命じたもの三件▲飲食器具にして有害と認め收去したもの一件▲飲食物にして不良品として任意廢棄したもの サッポロ麥酒三十四本、キリン麥酒四本、マスノシトロン三十本、ライオンシトロン十五本、一支那清酒五升、ウイスキー四合入一本、村上ラムネ三十本、鮭鑵詰十二本 バナヽ、苹果、桃等約二貫匁、牛肉約二百匁、日本酒の富久娘一升、金滿壽一升

支那茶支那菓に打寛いだ歡迎會

一周旅行内地參加者を招て 本社、觀光局の催し

六日來連したジャパン、ツーリストビユーロー主催の日本一周旅行團一行中内地よりの參加團員百八十餘名を本社並にツーリスト、ビユーローに於ては午後二時半より滿鐵社員倶樂部大食堂に招待歡迎茶話會を催した市中巡覽を終へて會場に到着した一行は打寛いで支那茶支那菓子の珍しい味を賞しながら歡談、太原本社支配人の歡迎の挨拶に次ぎ講演會に移り高柳本社長より滿蒙事情について簡單なる講演を試み更に平野ビユーロー總主事より一周旅行の目的につき説明を述べ、滿鐵情報課特選にかゝる活動寫眞を太原支配人の説明により一時間に亙つて觀覽、滿蒙の一般事情を講演と映畫によつて知り得たのを歡びつゝ右終るや大山團長より鄭重なる謝辭あり萬歳を三唱して散會したのは午後五時であつた(寫眞は會場)

總ては運命

決して張宗昌氏は弟に害を加へるひとでない

別府着の憲開氏聲明を發す

【別府六日發電】憲立氏は六日午後零時五十分別府着出迎への人々と日名子旅館に入り憲開氏の横死につき事情を聽取した後左のステートメントを發した、なほ張宗昌氏は午後三時半憲立氏を訪ひ一時間半に亘り會談し遺憾の意を表した、告別式を七日午後三時から當地でなし遺骨は憲立氏が携へ歸連のはずである

弟の死は骨肉を分けた兄弟として又蕭王府の一家として悲しんでも餘りある、併し總ては天命とあきらめ

女々しき 事や愚痴はいはない、張宗昌氏の現在の心境は同氏の性格に推して想像出來る氏は決して弟に害を加へる人でない、當地に來て村井、岩田、大谷の諸氏から説明を聞き之を知つた、これ以上張氏に心配をかけ度くない、人間は貧富貴賤を問はず人類として共通的に考へる必要がある、これに依つて人類の平和が得られる、なほ王府一家に日本の人々に對し甚大の御同情を感謝する

岸本水府氏 歡迎句會開催

大連各川柳會主催の岸本水府氏歡迎句會は同氏七日來連につき午後四時より中央公園内南華園に於て旅大川柳家相集つて左の順序によつて開催するが多數川柳家の來會を希望すと

▲開會の挨拶立川四馬翁▲席題の締切(午後五時迄)題「撒水」「ひねる」▲記念の撮影▲選句の披講「汗」來會者互選「撒水」大島濤明氏「ひねる」小林茗八氏「傘」岸本水府氏▲賞品の授與▲閉會の挨拶高橋月南氏

尚我社よりは宿題三光入選者に對し優賞メダルを贈呈するが閉會後直に電氣遊園登瀛閣に於て歡迎宴を開催する

とであらう、殊に吾等在滿邦人は滿洲に於ける邦人の運命を展開してゆくことに對して今後の氏に期待する大きなものを持つてゐる

ひと入の感慨を秘して滿洲を去り行く松岡さん

倦むことなき能辯潤達な氏にも母堂を敬愛する子としての半面

滿鐵副總裁松岡洋右氏はいよいよ今日の船で想ひ出深い滿洲を離れるのだ、きのふは「いよいよ滿洲も最後かな」と云ふので午前中はお別れの旅順の關東廳、軍部方面にお別れの挨拶を交し、午後二時頃滿鐵本社へ姿を見せて

最後の

お別れをして星ヶ浦の別莊へ引揚げた、大連での獨り者の松岡さんの離滿も形の上だけでは簡單であるが、しかし馴染み深い滿洲を去ることは一入の感慨が湧くことであらう、殊に豐かな愛情を湛えて來た人だけあつて滿鐵三萬の社員は氏の離任を心から惜んでゐる、松岡さんは一まづ故郷山口縣の三田尻に歸つて母堂に心から孝養をつくすことであらう、松岡氏の母堂に對する

敬愛は

全く美しいもので、武士の娘として維新の變革時に女となつたこの母堂を通して婦人を敬愛することを知つたと思はれる松岡氏である、又外へ出ることを餘り欲しない舊式な夫人―氏は却つてこうした婦人を愛してゐた――に對する思ひ遣り、倦むことを知らぬ能辯、そして意圖の闊達な氏にこの優しい半面を見るのである、又

事業家

としては巨人であるが、精神内容の點で時にお留守になり勝ちな總裁山本條太郎氏を外間に大きく美しく宣傳した氏の男らしい愛情も知られ過ぎてゐるたとへ山本氏を庇ふ言葉に附加的調子があつたにしてもこれは咎むべきではない、松岡氏の滿鐵を離れての甦生の明日は?「政界入り」と傳へられてゐる

いづれ

は滿鐵總裁として或は外相としての氏を、見出すことであらう

通信妨害のため電線を切斷

五日夜大官屯附近で 十三時間通信杜絶す

【撫順特電六日發】近來通信機關の被害頻發してゐるが、五日午後十時二十分大官屯驛を距る六キロの地點飄爾屯信號所附近の大連、撫順間及び奉撫間の電信電話線を通信妨害の目的で切斷した五名組の匪賊があつた、その爲め大連、奉天と撫順間との十三時間通信杜絶した、撫順局では六日午前七時黒顧技手外八名現場に急行應急修理の結果六日午前十時十五分漸く復舊した

九對三のスコアで 門鐵軍敗北す

對名古屋鐵道軍戰

【東京特電六日發】全國都市對抗野球大會の准決勝戰たる門鐵軍對名鐵軍の試合は六日午後零時半より名古屋の先攻で開始されたが、門司第一、二回に一點づゝを入れ二點を先取して氣勢をあげたが名古屋は第三回に奮起して一擧四點を奪ひ二點をリードし更に第四回三點を入れて優勢を持し七回再び二點を加へて九點を得たるに對し門司は第八回僅に一點を恢復したのみで遂に及ばず九對三で名鐵軍快勝す

門鐵	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
先攻名鐵	0	0	4	3	0	0	2	0	0	9

プロ作家の葉山嘉樹氏來る

日本一周旅行團に參加して 「無思考時代」を語る

過去數年來例の「淫賣婦」や「海に生くる人々」等の傑作を通じて現下日本の無産派文壇に斷然代表的作家としての地位を築きつゝあり前日本大衆黨中央委員のいかめしい肩書を有つ文藝戰線派のプロ文士葉山嘉樹氏は六日朝日本一周旅行團のあめりか丸で來連したが卅六よりは若く見へる日に燒けた黒い元氣な顏で率直に内地に於ける濱口内閣の人氣や大連の第一印象に就いて左の如く語る

滿洲は初めてです、大連は暢んびりした好い所ですね、晝食を喰つたヤマトホテルなんか帝國ホテル見たいに贅澤ですね、一體に餘裕がある土地にも人にも……之が第一印象「改造」や其他の新聞雜誌の依頼で材料の蒐集に來たのですが内地の無産政黨の連中なんか今迄餘り滿蒙問題に對して冷淡でしたね、抽象的な理論よりも先づもつとよく滿蒙を研究する必要を痛感しました、内地は今や「無思考時代」といふことが出來ます、富める者は富めるなりに無産者は無産者として一體に生活指導精神といふものが失はれ生活態度がニヒリスティックとなり生活に追はれ嘆ぎ「明日」の生活を深く見極めることをしないのです、深く考へることが苦痛な時代なのです、殊にプチブルジョアーや智識階級にこの傾向が著しいですね、ジャズ文化、銀座の裏表通りに二百軒から在るカフエーの繁昌、就職難、自殺者の激增等は彼等が明日を考へないで現實を誤魔化しそれから逃避しつゝある傾向の具體的な現れです、暗い絶望的な明日を考へないで眩るしいテンポの狂噪的なジャズ音樂、ダンスで刹那的に日を送る……世紀末的現象ですね、濱口内閣の緊縮政策で不景氣と失業問題は益々increase大するでせう日本大衆黨では失業反對同盟で之に向つて準備してゐます、現在支離滅裂に混亂せる無産派の政治戰線は多少の曲折あるとするも近く先づ左翼から統一され漸次左右二翼に確然と整理されるでせう【寫眞は滿蒙物產館を出る葉山氏】

水のタベ

大連運動場プールで

苦熱に喘ぐ夏の夜の巷を逃れ、清爽の水邊に涼を趁ふ人のために本年初めての試みとして左の方法により「水のゆうべ」を開き星ヶ浦から吹きあげてくる晩涼の風を滿喫しながら、スポーツに關する映畫を觀賞することゝした

時……八月九日午後六時より十時
所……大連運動場プール
會費……大小人學生を通じ全部十錢
映畫……一、國際水泳競技大會實寫二卷 一、漫畫一卷 一、其他體育映畫
競技一、男女一般模範水泳競技 一、ウオーター、ポロー(大連商業學校水友會)

主催 滿洲日報社
後援 滿鐵運動會

大連二中大勝

對住中籠球戰

大阪住吉中學對大連二中バスケットボール戰は八月六日午後三時より二中コートにて擧行、六十七對三にて二中大勝す、レフエリー奧田、黒澤、閉戰四時十五分、兩軍メムバー次の如し

(吉住) RF村原 RF宮木 C井永 LG部服 LF木鈴
(二中) RF田田 RF森謙 LF井阪 CR藤佐 LG顯岩 中森田安

	前半	後半
中吉	1	2
二住	30	37

けふのラヂオ

昭和四年八月七日(水曜日)

自午前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)

自午後〇時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニユース

自午後三時三十分 相場(錢鈔、株式、各地相場)

自午後七時三十分
一、ニユース
二、英語講座 第十三課教室にて 大連彌生高等女學校茶谷茂
三、ギター獨奏 (イ)アンダンテ、ソナチネよりジュリアーニ作品七一ノ一 (ロ)落葉の精武井守成作品二十七 滿鐵音樂會荒井善次
四、萬歳 稲葉キートン、立花家秀丸
五、尺八 本曲二重奏 噴水塔 一部濱島主悰 二部草崎主山
六、支那唱 石邦人招親 唱李依寶、師付王振泉
七、料理獻立
八、天氣豫報

愛慾の窓（62）

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

金（三）

「……不良少年か、さうか、仲々面白い子供ぢやの、何といふ？龍吉と云つたかの？」

と、英太氏は眼を細くして――しかし細めた眼瞼の蔭では、鋭く眼を光らして、ぢろぢろと龍吉の顔を眺めて云つた。

「いくら欲しいのぢやな、小僧さん」

「……二百圓さ！」

と、龍吉は吐き出すやうに答へた。

「よろしい、たつたそれだけなら現金で手許にある。今、持つて來て上げよう、はゝ、面白い奴だ」

と、英太氏はのつそり椅子から腰を擡げ、スリッパで床の絨氈を踏み占めながら、扉の外へ出て行つた。

「……親父さんはやつぱり親父さんだけのことはあるね、おぢさんは駄目だな、そんなケチ臭い根性ぢや、小森の屋臺骨は背負つてけねえぞ！はツはゝゝゝ」

龍吉は、煙草の煙を吹かしながら、英輔を揶揄つた。

そこへ小間使らしい綺麗な身じまひの婢が、銀盆に紅茶のセットを支へてはひつて來て、龍吉の前と英輔の前に茶碗を置くと、紅茶を淹れ、ミルクを滴して、もの靜かな會釋で去つてゆく。

龍吉は、肱掛椅子にひよいと移つて腰を据えると、無遠慮に茶碗を取つて一口二口飲んでから、英輔の顔を見た。

「……これからも時々來るぜ、をぢさん――うるさいかも知れないが小森商事で御厄介になつてゐる仁科實知子の弟だ、仲好くしようね」

英輔は、苦虫を嚙み潰したやうな顔付で、横を向いてゐる。扉を引開けて、英太氏が引返して來た。

「……さ、二百圓上げる、持つて行け」

差出す紙幣を、龍吉はひよいと鷲づかみに取つてちらと眺めてから、素早く内ポケットへ押し込んだ。

「有り難う！では引上げるとするか、だが、やけな吹き降りでゐやあがらあ！」

「……送らせようかの？」

と、英太はきらり眼を光らした。

「……何處へ？」

と、龍吉もきつとなつた。

「……警察へぢや！」

「……ウヌ！そんなことだらうと思つたよ！二百圓ぽッちの端た金だが、捕るだけは捕つても、出すことは舌せへ出したがらねえッて評判の小森が、馬鹿にアッサリ出しやあがつたと思つたら！」

龍吉はせゝら笑つた。

もうその瞬間には、ドアを押し明けて、多分この邸の護衛巡査であらう、警官が先に、その後には書生が二人、どかどかと應接間へ闖入して來てゐた。

「……その小僧ですか？」

「さうぢや、面倒でも送つてやつてくれ！僕には恐喝の二百圓がはいつてゐる」

「……畜生！折角久振りで拜んだ紙幣だ、二度と再び吐き出す龍吉ぢやあねえや！いづれ御禮はするぜ、あばよ！」

ひらりと身も輕々と、長椅子を躍り越えて、龍吉は窓際へ馳け寄つたが、素早くカーテンを引くと同時に、からからと窓の扉を明け放つた。いざといふ場合の用心にかねて錠は外して置いたものと見える。どつと吹き込む突風に、室内の調度が何か床へ落ちた。ぴかぴかッと眼も眩むやうな電光、間もおかず百雷一時にくずれ落ちるかのやうな雷鳴……。はつとなつて、彼等がたぢろぐ刹那をもう龍吉は窓の縁に踞つて

「……はつはゝゝゝ！此度はお天氣のいゝ晩に來よう！」

さう云ひ殘したかと思ふと、忽ち闇黑と暴風雨の荒狂ふ闇のなかへ消え去つた。

新刊紹介

▲文藝（八月號）東京市牛込區新小川町二丁目文藝社（定價二十五錢）
▲東亞（八月號）東京市京橋區南紺屋町四番地文録社（定價二十錢）
▲滿洲通信協會雜誌（七月號）大連滿洲通信協會（定價五十錢）
▲大乘（八月號）京都府紀伊郡堀内村印刷部内五一の一大乘社（定價四十五錢）
▲農業世界（八月號）東京日本橋區本石町三丁目博文館（定價四十錢）
▲海友（八月號）大連市寺内通三番地大連海務協會（定價三十五錢）
▲滿鮮情報　京城府旭町一丁目二十七番地滿鮮情報社（定價二十錢）
▲印刷雜誌（七月號）東京牛込區矢來町三十一印刷雜誌社（定價七十錢）
△工事畫報（七月號）東京仲通り四號工事畫報社（定價七十錢）
▲畜産雜誌（八月號）北海道廳内北海畜産協會（定價二十錢）
▲支那問題（七月號）北京東城豆腐巷十七號支那問題社（定價五十錢）
▲社會研究（八月號）大連松山臺五滿洲社會事業研究會（定價六十錢）
▲實業界（八月號）東京市麴町區平河町實業界社發行（定價五十錢）
▲農民（八月號）東京府北多摩郡千歲村八幡山八全國農民藝術聯盟（定價十錢）
▲滿洲經濟時報（七月號）大連加賀町六番地同時報社（定價五十錢）
▲海外（八月號）東京市外落合町文化村海外社（定價四十錢）

水府先生歡迎句會

一、會場　市内中央公園南華園内
一、日時　八月七日午後四時より
一、會費　金壹圓（先生短册贈呈）
一、賞品　宿題三光五客
一、宴會　當日午後七時發滿閣にて（會費金貳圓當日持參）

主催　大連各川柳會
後援　滿洲日報社

愈よ朱紹陽全權ら滿洲里へ乘出す

メ總領事との會見で纒らねばモスコーで交涉手筈

【ハルビン特電五日發】朱紹陽氏一行五名は既電の如く五日十八時三十分發列車で滿洲里へ出發したが、一行中の鐘毓吉林交涉員は自分の赴滿はたゞ單なる國境視察に過ぎぬと云つてゐたが、哈市に於ける動靜から見れば氏の使命は行き惱みつゝある露支正式會議を開催して局面を打開する爲めで、滿洲里又はチタでメリニコフ氏と會見するものと見られるが、若しこれが纒まらねばモスコーに至り同地に於て交涉する手筈と云はれてゐる

范其光氏の赴哈

各國の諒解を求むる爲か

露支交涉行惱みの折柄注目さる

【ハルビン特電五日發】東支鐵道理事范其光氏は五日來哈、各國領事及び滿鐵を歷訪し同鐵道管理局長臨時事務取扱就任の挨拶をしたが、滿洲里に於ける對露交涉行惱みの今回の訪問は時局に關し各國の了解を求むるものと大いに注目されてゐる

今後の交涉には朱全權が當る

【蔡交涉員は近く歸哈】

【ハルビン六日發電】露支交涉支那代表朱紹陽氏は鐘毓、韓述增、蔡運升氏等を帶同五日十八時半發列車でハルビン發滿洲里へ向つたが勞農側とは七日會見の筈で、今後の交涉は朱紹陽氏一行が行ひ、蔡運升氏は歸哈すること〻なつてゐる

琿春縣方面の露支兩軍の形勢

ロシヤ側相變らず飛行機で支那側を脅やかす

【間島特電五日發】既報露支兩軍の對峙する琿春縣方面の形勢はその後變化無く、ロシア側はバラバシに約一千ラズドリノエフ縣の鉛鑛嶺よりスラウヤンカに到る間に一千六百名の步騎聯合軍を配置したと云ふ情報あり、又ボグラニチナヤ方面から最近某機關に達した情報によれば同地では今日まで一回の衝突も無く支那側の第一線に在つた部隊も大平嶺の西方に後退し戰意全くなしと見られ、一方露國側は毎日飛行機八九臺を飛ばして支那側を脅かしてゐる

東部國境の輸送復活

烏鐵代表言明

【ハルビン六日發電】在ハルビンのウスリー鐵道代表は五日三四の有力なる輸出業者に對し「近々東部國境の連絡輸送が開始さるべきにつき、東行の準備をなして可なり」と云つたと傳へらる或は勞農側の讓步により急に問題が解決するのではなからうかと觀測されてゐる

消費節約に因る物價下落の傾向

通貨政策確立が必要

【東京六日發電】政府が金解禁即行を聲明し國民に消費節約を要望し財界は甚だしく沈滯して各種の變動が起つてゐる、即ち七月の

物價下落 狀況は金解禁政策の將來を卜する意味に於て重要視される譯であるが、五日發表された日銀の調查に依ると、七月中の卸賣物價指數は調查品目五十六品中、前月に比し騰貴十一品、低落二十八品、保合十七品、總平均指數は二百十九、五七で前月に比し九厘七毛即ち一分足らずの低下となつてゐる、然るに同月中の爲替相場は解禁氣構へに昂騰に昂騰を續け七月中の騰貴率は約六分に上り、之に比較する時は物價の下落率は著しく不足となつてゐる、一方小賣物價指數は商工會議所の調查では七月中に約三厘の下落で、卸し賣物價に比しなほ下落步調が鈍つてゐる、斯く物價下落率不足に際して最近一、二旬の

貿易好轉 は事實は貿易事情の好轉を示すものでなく單なる爲替の騰貴を見越した思惑の結果に過ぎず根本的性質を缺ぎ二、三月も經てば逆轉する虞が多分に在ると觀測され、一方卸賣物價が小賣物價に先走つて下落する如き場合往々にして反騰を來す場合があり現に八月に入つてからは早くも物價の下り足は米、生糸をはじめ幾分鈍つた觀を見せてゐる、即ち此事實に依つて見るも

通貨政策 の根本に觸れずして單に消費節約を國民に懇願する程度では物價下落の健全なる過程は到底實現を期し得ないことが察知される譯で今後政府が通貨政策に對し如何なる政策を講ずるかは頗る注目されてゐるところである

海軍々縮會議に日本は欣然參加

財部海相態度を瞭にす

【東京五日發電】財部海相は五日地方長官會議で海軍々縮に關する英米間の交涉を報告したのち左の如く我政府の態度を瞭かにした

海軍々備縮小會議に我國が反對するかの如き說を傳へるものもあるが、日本の海軍としては勿論これに贊成で欣然參加するつもりである、而して同會議に於いて日本は補助艦勢力につき十十、七の提議をなすべしとの說も行はれて居るがこの七分說は充分根據ある計算である

日支經濟關係の密接のため努力

幣原外相對支關係を述ぶ

また幣原外相は同席上日支關係につき左の如く述べた

關稅會議以來我國で支那に與へた友交的協力は今後新支那建設に當り愈よ其の必要を認む、支那に於いては一兩年排日排貨運動熾烈となり日支兩國の爲め頗る遺憾を感じたが、最近同運動は著しく緩和されたるは喜ぶべきである、同運動により傷つけらるゝは獨り日本商品のみならず廉價な外國品の輸入杜絕して支那の大衆が苦痛を感ずるものである、然し支那に排日貨を運動して利を得んとする團體もあると言ふから今後とも安心は出來ぬ、日支兩國政府間の誠意ある意見交換により兩國の經濟關係を益々密接ならしめる事に努力しつゝある

我經濟界の安定と國利增進に努めよ

五日地方長官會議における松田拓務大臣の訓示

【東京五日發電】松田拓相は五日午後六時より工業俱樂部に開かれた地方長官會議に於いて左の訓示をなし移植民事業の振興發展策につき懇談した

我國現下の財界及び事業界は連年輸出貿易の不振から失業就職難等悲むべき聲が各所に起る、一方國內人口は毎年百萬近くの增加を見て居るので多數國民の生活は非常な不安脅威に襲はれて居る、この結果海外に渡航して新運命を開拓せむとするものが漸增し最近五ヶ年に八萬餘に上り昨年中丈けでも二萬を突破せんとし本年は更に夫れ以上に達する見込である、我海外拓殖事業に就いては差當り現國際貸借改善の一助として金融機關の設置と言ふが如き有力な經濟機關の進出を必要とし更に國際上其の機能圓滿な行政機關の設置を要す、即ち拓務省の使命の一は茲に存す更に移植民並に海外拓殖事業等よりする效果を二三例示せば

一、本邦商品の販路擴張と貿易の促進
二、海外に於ける我工業原料の生產と貿易に及ぼす影響
三、海外企業の及ぼす國內產業の發展
四、商船の航路開拓と國際運輸事業の促進
五、在外邦人の本國送金化

以上の如く拓務省の使命は今後益す重要さを加へ直接間接失業救濟の作用をなす、各位中には海外移住組合又は海外協會等に關係さるゝ向にあり、また拓務省全般の事務に直接關係を以て居られるから今後充分の協力を得て我國民經濟の安全繁榮と社會不安の除去國利の增進に努められたい

支那現在の財政にては軍費の支出は困難

宋財政部長遂に辭任

【上海六日發電】財政部長宋子文氏は國民政府に正式辭表を提出し昨夜來滬した、氏の辭職理由は編遣會議が全國の兵數八十萬、一月の維持費千三百萬元と決定したるも全國の財政統一未だ行はれず中央が僅かに五、六省より國庫收入を得るに過ぎざる今日右支出の責に任じ難しと云ふにある

英首相渡米により軍縮は具體化せん

技術的より政治的解決に進む　財部海相の軍縮意見

【東京六日發電】英米間の海軍々縮豫備交涉進展し早くも今秋日英米佛伊五海軍國の軍縮豫備會議開催が期待されるに至つた今日、財部海相は左の如く語る

軍縮問題に就ては英米は折角ロンドンに於て交涉中であるが未だ具體的には豫備會議開催の程度に至つてはゐない、目下英米間の交涉となつてゐるのは大型巡洋艦と輕巡洋艦との比率を如何の程度に英米間に割當るかに引かゝつてゐるらしい、初め此問題解決の爲め所謂尺度が米國から提唱されたが、最近尺度發見の不可能が認識されて技術的解決よりも政治的解決に向つて進展してゐる、又先頃主力艦々型は現在の三萬五千噸より三萬噸乃至二萬五千噸に低下し千九百三十一年より開始さるべき代艦建造を五ヶ年延期せんとの案に就て最初反對した本國も漸く之を諒解して來た、斯く軍縮問題は漸次好轉の傾向を採つてゐる、最近米國代表ギブソン氏がロンドンからベルギーに去り再びロンドンに舞ひ戻つたことは交涉の進展を促すものと期待されてゐる、マクドナルド首相が十月に渡米して愈々本問題は具體化するであらう

定例閣議

軍縮問題等討議

【東京六日發電】六日の定例閣議は午前十時より開會濱口首相以下各閣僚列席し先づ濱口首相より木下長官の辭表提出、後任者は前警視總監太田政弘氏を內奏するに決した旨を報告諒解を求め

一、第二豫備金支出の件（司法、遞信、海軍各省所管廳舍水害火災復舊費十四萬圓）
一、海軍給與令中改正の件
一、對獨賠償委員會委員に駐和公使廣田弘毅氏をも追加して全權たらしめること

其他人事を決定した後、幣原外相財部海相より海軍々縮に關する詳細報告あり帝國の執るべき態度につき意見の交換をなし、最後に九日午前九時より臨時閣議を開き四年度各時別會計實行豫算の件を附議決定すること〻し零時半散會した

ペルシヤ公使

笠間氏に決定

【東京六日發電】新設ペルシヤ公使館初代公使は既報の如く外務書記官笠間杲雄氏が特命全權公使に任ぜられて駐箚すること〻なり六日定例閣議で之が決定を見た

堀一等書記官

參事官に榮轉す

【東京六日發電】支那公使館一等書記官堀義貴氏は英國在勤大使館參事官に榮轉すること〻なり六日の定例閣議で決定された

實行豫算查定六日終る

【東京五日發電】各時別會計本年度實行豫算查定につき大藏省は五日省議を開き各地殖民地の復活要求再查定を行つたが鐵道豫算を除き明六日查定終了の筈である

地方自治研究會

【東京五日發電】現政府成立後馘首された、地方官中の長岡前警視總監、澤田北海道長官以下は毎月曜に地方自治其の他の研究を行ふため集會する事となり、五日日比谷公園近くの大阪ビル內に初午餐會を開いたが會する者五十名大氣焰を擧げた

滿蒙の權益擁護と國際的立場に留意せよ

離滿に際して同胞に對し二つの警告　松岡滿鐵副總裁談

七日離滿する松岡滿鐵副總裁は六日午後三時滿鐵記者團との最後の會見席上で左の如く語る

二箇年間の在職中はいろ〳〵と諸君にお世話にたつた、然し在滿八年三度滿洲に住み、而かもその三度とも住んだ見玉町の同一家屋であつたことは何ともいへぬ懷しみが込み上げて來る、いざ愈離滿すること〻なつて第二の故鄉とも云ふべき滿洲を去るとなると一種云ふべからざる淋しさを感ぜずにはゐられない、この馴染深い滿洲も之が最後かも知れぬ、滿洲で八ケ年も仕事をしたから——次の總裁にか、その時はもうミイラになつてゐるであらう

僕はこの離滿に際して在滿同胞諸氏に二つの告別を殘したいと思ふからよろしく傳へて貰ひたい

吾々日本人が滿蒙に進出したことは偶然でもなければ自から好んでしたことでもない

日露戰爭 といふ大きな事件で十萬の尊い生靈を犧牲にした上巨額の國帑を費して得た當然の代償で此權益は當然擁護せねばならない義務である、世界も日本の滿蒙に於ける權益は充分に認めてゐるが、今日の滿蒙の地はコソ〳〵と仕事をする事が出來なくなつた、從つて今後の在滿同胞はインターナショナル・マインを持つて貰ひたいものである、總ての事業が

國際化さ れることにならうから確固たる國際的見地から事に當るといふ決心を持つて貰ひたいものである、次にモ一ツは滿蒙の第一線に立つ大和民族は戰爭には強いが平時に於ても世界の凡ゆる民族に絕對に敗けないといふ信念の上に立つて働いて貰ひたい、即ちセルフ、コンフヰデンスを持つて事に當り

國家の爲 開拓に努力して頂きたいと切に願つて置く

松岡副總裁の離滿挨拶

松岡滿鐵副總裁は愈々離滿するにつき林秘書係主任を代理として各方面に離滿挨拶する所あつた

尚ほ副總裁は三時半より總裁應接室に於て參事以上の最後の挨拶を受け、六時半からは重役部長の湖月に於ける送別宴に出席した

惜別の松岡滿鐵副總裁（きのふ滿鐵本社玄關前で）

本年は河南からも多數の移民が來滿

七月末までに二萬餘名に上り黑龍江當局で保護す

從來滿洲移民と云へば殆んど山東直隷人に限られてゐたが、本年は新しく河南省から續々來滿してゐる、而してその大部分が黑龍江省に向ひつゝあるが、六月末までにチ・ハルに到着した數は二萬五百三十名に達した、黑龍江省民政廳では此等移民を訥河、泰來、布西、龍江、克山、拜泉、呼蘭、綏化、海倫、綏遠の各縣に配屬開墾に從事せしめる豫定で既に一萬五千三十名を各縣に送つた、從來の山東直隷等の難民は自から來り自から各縣に赴き官憲は之に對し殆ど何等の保護も與へてゐなかつたが、今回の河南民は萬事官憲に於て保護し旅費の如きも各縣から支出させ支給してゐると

邦人使傭支人を強制的に追出す

青島市黨部の陰謀

【青島五日發電】工人立退に方り支那人は各會社員使用のボーイに至るまで強制的に連れ出され、今朝日清紡の守衞二名、大日本紡社員宅のボーイ等高手小手に縛られ巡警に引渡され、市黨部の工人操縱は更に進み日本人使用の支那人追出しの強制手段に移りつゝあり邦人間に脅威を與へてゐる

外交協會幹部が排日材料を討議

土地商租、榊原事件等

【奉天特電六日發】去る四日午後三時國民外交協會に於ては幹部連が多數集合し左の如き排日案件を討議をした

一、榊原の北寧鐵道支線破壞に關する件
二、日本側の遼寧省管內に於ける強制商租土地水田經營に際し勝手に架線工事を爲し支那省民の交通に不便を與へてゐる件
三、日本鐵道守備隊が屢々南滿、安奉沿線の農民を鐵道妨害犯として射殺した件
四、遼寧省輸入の日貨銷場稅統一の件

海牙國際會議

委員一行到着

【オランダヘーグ五日發電】フランス國務總理兼外務長官ブリアン氏以下フランス委員一行は本日午後六時當地に到着した、六日開會の賠償金及びラインランド撤兵に關する國際會議代表は出揃つた

天津支那官憲が邦人の信書檢閱

支那官憲は從來邦人の信書を時々開封し查閱し時々之を浚敉して居つた形跡あり、其都度總領事館に屆出て居つたが最近邦人某要人の信書を開封したる事實あり、更に前日は開封の上「警備司令部檢閱濟」の捺印を爲して遞送し來たりたるため其の確證となり某氏は直に總領事館に對し嚴重なる抗議を依賴したので其筋は直に抗議を提出した

米潜水隊はけふ來航

米國亞細亞艦隊の大連來航は既報の通りであるが、六日午前海軍々務局より旅順海事無線電信所に宛たる通報に依れば米國軍艦十六潜水隊及びその母艦たるリーザアー號は八月七日より同九日の間に大連に入港と決定したと、尚通報に接した水上署よりは直に關係方面たる海務局民政署等に通知するところあつた

森岡領事來連

芝罘領事森岡正平氏は奉天領事に榮轉、五日入港香港丸で來連した同氏は便船次第で一應芝罘に歸り引揚準備をと〻のへ不日奉天に向ふ豫定だと

邊業銀行特產取扱

資本一千萬元で

【奉天特電六日發】奉天の邊業銀行では擴て附屬營業として特產物の取扱ひを計畫し張學良氏の承認を求めてゐたが、此程その同意を得たので各關係者を招集協議の結果、資本金現洋一千萬元を以て今秋より大規模の特產物取扱ひを開始することに決し既にその準備に着手したと

全滿中等學校水泳選手權大會

出場校、競技種目決る

來る八月十一日午後一時より大連運動場プールに於て擧行される全滿中等學校水泳選手權大會出場校および競技種目は左の如く決定した

出場校　旅順一中、大連一中、大連二中、大商商業、育成學校

種目　四百メドレーリレー決勝▲五十米自由型豫選▲四百米自由型豫選▲二百米平泳豫選▲百米自由型豫選▲千五百米自由型豫選▲二百米自由型豫選▲百米背泳豫選▲五十米自由型決勝▲四百米自由型決勝▲二百米平泳決勝▲百米自由型決勝▲千五百米自由型決勝▲二百米自由型決勝▲百米背泳決勝▲八百米リレー決勝▲豫選は各二等まで入賞とす

尾間、米野兩氏けふ便船で離滿

前本社取締役尾間明氏は七日出帆の香港丸で離連し東京に引上げることになつた尚米野前本社編輯局長も同船にて離滿の筈

水雷發射演習

第九驅逐隊では大連灣內東嘴子、三山島一帶において五日より三日間に亘り魚形水雷の發射演習を行つてゐるが橫山司令より水上署宛附近航行船舶に注意方を依賴する

御挨拶

謹啓　小生滿洲日報在社中は大方各位の御引立御援助を辱うし大過なく任務を果し得たる段難有御禮申上候今回都合に依り退社歸京する事と相成候に就ては一々拜趨御挨拶申上可き處行李匆々其意を果し得ず乍失禮紙上を以て右申上度如斯に御座候　敬白

昭和四年八月七日

尾間明

辱知各位

滿洲里から

三浦生

呑む、食ふ、打つ、此三拍子揃つた支那人。明日のパン處か、嫁を質に置いてさへ呑みたい、踊りたいロシヤ人。生れ落ちると馬、牛の群の中に育ち人間生活の樣式など、一向に頓着ない蒙古人。ザット斯う云ふ連中が相集つて出來た滿洲里村は誠に國際都市であり、此處嘗て一時の妙味がある今は戰禍に見舞はれて市民の大部分は西に走り、東に避難して慘めな町の姿は墓場の樣にサビシイ。然し平常の滿洲里村は混血人種の別社會、別天地の觀がある。

極東に於ける國際眼光は露支國境に集中せられ、時局の進展如何は第二歐洲戰爭の導火線となりはせぬかと懸念しアセツて居る第三國もある樣だが、本然樣の相手同志ロシアと支那は一向油がのらない支那軍の云ひ分は『露軍が積極的に出れば戰はずして退却する』と云ふに在る。露軍側では『一兵たり共支那領に入れぬ』といふ。何れにしても戰ふ意志はないのである、御互が戰ひたくない、鐵砲玉の怖い同志が何年間對陣しても、チヤンバラの始まる心配はないのである。只御互同志黑い腹の探り合、第三國の顏色、目色を氣にして居るに過ぎない。

滿洲里村の特殊性は異分子と異分子の寄合世帶である、手と手を組んで散歩するロシヤの顏色、目玉——等々が一樣でない、中には露支のチヤンポンが多い樣である最近日露のチヤンポンも少くない樣であるが、平和裡に異民族を征服する手段としては洵に好都合なる便法である、各異分子の特殊性なりは非常時に於いて初めてより好く知る事が出來る、此の度の樣に露支關係急を告げ、危險迫りロシヤ人はロシヤへ、支那人は支那に父と母が東西に避難せんとするときチヤンポンで出來た子供こそ問題である。斯かる場合日本人ならば例へチヤンポンの子供であるにしても血を分けた親子の關係に變りのあらう筈はない自己を犧牲にしても子供は求る氣分になれないであらうが、彼等の民族性はさうでない、血を分けた親子よりも自分の身が可愛いいのである愈々身邊に危險が迫り火急の際になれば親や子供等は問題にしてない樣である。

安樂椅子

勞農共產黨は、東支鐵道問題紛糾の折とて、去る八月一日の赤色デーには、支那各地に黨員を潛入させ、支那共產黨員と呼應して暴動を起して國民政府當局に一ト泡吹かせやうと目論んだが▲何分支那官憲は水も漏らさぬ嚴重な警戒をやつたので、流石の共產黨員も計畫に頓挫を來し事無きを得た▲就中天津市內には約四百名の共產黨員が潛入し、暴動費三十萬元を準備してゐたさうで▲それを後で聞いた支那官憲、まア無事でよかつたと安堵の胸を撫下したさうな

故後藤伯の銅像を中心に附近の風致設備

五萬五千圓を投して

滿鐵第一次總裁故後藤新平伯の銅像建設については既報の如くであるが、滿鐵では銅像建設敷地たる星ヶ浦霧ヶ岡に銅像を中心とした附近の風致施設を五萬五千圓の豫算で行ふこと〻なつた、銅像建設の完成期は來年內となつてゐるが風致施設も出來るだけ

來年中 に竣工しようといふ意氣込み、銅像の臺石は淸冽な噴水池上に据えられ滿々とたたへた水は丘上より自然流水で一千五百メートル餘を海岸寄の南方に落し、同所の噴水池に溜つた水を更に五馬力の電氣モーターで銅像附近の噴水池に逆送して循環せしめること〻なつてゐる、而して兩噴水池の周圍は芝生を植付け銅像からは散策に便するため

放射路 を造りまた電車路から公園に這入る道路（星の家入口）は自動車が待ち合せるため園內側にホールを造つて交通事故の防止に努めると

滿洲日報

露支交渉の對奉影響

露支の交渉、決裂とも傳ふ。とにかく相當の停頓に陥つてゐることだけは肯づける。初め支那側はロシア與し易しと做し、例の對外慣用手段たる直接行動のクーデターに出で、文句をつけ來れば、後日の交渉において有耶無耶に糊塗し、事實上の效果を收めんとしたが、今度といふ今度は、全く手を燒き、策の施すべきなしといふ現局にある。座を蹴つて起たんとするメリニコフ氏に對し、長春において張作相氏が袖を引き、蔡運升氏と會見せしめたところに支那側の脚下が見すかされたのであつた。而して蔡交渉員は國境まで引きずられ、徒らにロシア側の强硬ぶりを見せつけられて交渉を決裂にまで導いた。

◇

かくて交渉は如何になるか、暗雲低迷といふところであるが、支那側から朱紹陽氏が急ぎ滿洲里に赴いたのに徴すると、支那側は少しく狼狽氣味とも察せられる。勿論、ロシア側にも相當弱點はあり支那側の脚並みが揃はぬと同樣の缺陷も認められる。列國の同情を集むることに成功した赤露が、餘りに圖に乗り、これを機會に例の赤化宣傳などを敢てすと、却つて今までの同情はどこへやら、有利と觀た東支鐵道問題を逆勢に轉ずることなしとも限らぬ。八月一日の赤色デーに方り、支那の共產黨員を唆かし、赤色ビラを撒布せしめた形跡のあるなどは、ロシア側としては大に慎まねばならぬところではあるまいか。理想、否、空想の世界は現實の世界を築き上げることは出來ぬ。

◇

支那とロシアの兩國國境における交渉、虚々實々、宣傳また逆宣傳、而して支那側は朱紹陽といふ最後の切り札を出した次第であるロシア側が、セレブリヤコフ氏を相手に出すや否や。恐らくロシア側は、支那側の申込みを相當の程度まで關知せざるが如き態度に出で、結局は交渉再開といふ幕に入るであらうが、それにしても支那側は、ます／＼失敗の深みに陥ることを思はしめられる。朱氏を出すといふことは、最後の切り札を出すのであり、それに支那側としては第三國の居中調停を最初から喜ばざるの色を見せた。そこに却つて動きのとれぬところがある。然るにロシア側は、未だ最後の切り札を出したといふでなく、また第三國の取りなし苦しからずといふ、多少餘裕のある態度を示してゐたから行き詰らぬ。

◇

支那側は重ね／＼の失敗、全く東支鐵道問題を行き詰らして了つた。それに孫科氏などが、わざわざ奉天まで出かけ來り、持ち合はぬ對策を授くるなど、周章狼狽さの限りともいふべく、また今日の場合、東北の鐵道を中央に歸屬せしむるなどの聲明も、決して策の得たものとは思はれない。國家が完全に統一されれば、邊境の鐵道といへども、これを中央に歸屬せしむることは當然の事理である。併しながら、鐵道、すくなくとも鐵道收入の中央歸屬は張學良、張作相氏らの喜ばざるところなるべく、殊に問題の眞最中なる東支鐵道に關し、支那側は、ロシア側に對し、一種の隙を與へるの結果とはならぬであらうか。すなはちロシア側の乘ずべき機會を與へることになるのではないか。朱紹陽と蔡運升との間は、呂榮寰、張景惠らなどの關係以上に不調和の結果を招かぬであらうか。國民政府を代表した朱氏、奉天政權の利害を何割まで代表してゐるであらうか。

◇

かく考へて來ると、奉天政權の出先官憲によつて行はれた對露クーデター、ある意味にては對奉クーデター結果するともいへる。東北滿境の國際問題、支那の內政すくなくとも奉天政權の基調に、重大なる揺ぎの來るべきことを思はしめられる。朱氏の西行により、あるひは露支交渉の撚りを戻し、當面を糊塗し得るかも知れぬが、奉天政權の國內的變動は、相當に甚大なるものあるを、奉天側としては覺悟し置かねばなるまい。

懸賞論文

滿蒙の地より 母國の友へ送るの書

（六）　當選作　金丸精哉

第二信（一）

今日は三月の十日。旗日と日曜と一緒にやつて來たのだが、此の二三日來譯譯だつた天候も、三寒四温の大陸的氣候の例に洩れず、朝つぱらから物凄い風が名物の紅塵を誘つて、いはゆる紅塵萬丈天日爲に冥々たりといふ有樣だ。これでは折角の日曜も外に出られず机の前に坐り込むより他に仕方はなくなつた。ところで、此の前の續きでも書くことにするか。

◇

僕は此の前、日本の將來と滿蒙の使命に就いて僭越にも地理的說明を加へて置いたが、今度は滿蒙に犇めき合つてゐる諸民族の消長と、その現狀を書きならべて見やうと思ふ。勿論貧弱な智識で恐れ入るが、わりあい責任は持てるつもりでゐるんだ。

◇

明治三十八年の今月今日、日本はロシアの極東併呑の野望を決定的に粉砕して了つた。以來二十有餘年、滿蒙の天地は、日本の保障下に自由と平和の光に溢れ、文化に產業に見違へるほど裝ひを變へた。然し、一度その底を流れる暗流に瞳目する時、僕たちは今更らのやうに慄然たらざるを得ないのだ。

なるほど鐵血の戰爭はもはや滿蒙の地を掃つたかも知れない。しかし、其處には、もつと深刻な民族的爭鬪と、切實な經濟戰線が布かれてゐるのを誰か見逃し得やう。慘たらしい生存のストラッグルは今や滿蒙の野に展開されてゐる

◇

滿蒙が東洋のバルカンと稱せられ、世界外交の低氣壓中心地として列國環視の中に置かれたのは極最近の事實で、滿蒙民族興亡盛衰の歴史は過去三千年の久しきに亙つて幾多の變遷を滿蒙の地に繰返して來た。

滿蒙に占據した民族を代表するものは、先づ蒙古族と滿洲族で、游牧を生業とする所謂行國の民であるが、朔漠たる滿蒙の大自然に育まれた彼等は、海上人のやうに大膽な掠奪を神聖視する漠北の野人であつた。そしてひと度長城の上に立つて、足下に裾野の如くひろがる漢族の燦然たる文化を俯瞰する時、沈勇剽悍の彼等の胸には炎々たる野望が燃え上らずにはゐられなかつた。

◇

實に滿蒙の歴史は、支那の北狄侵入の歴史となつた。

一一六二年、興安嶺の麓ハイラルの野に興つた蒙古の英雄成吉思汗は、慓悍な奇蹟的武器を以て滅國四十に達し、覇業は遠くロシアドイツに迄及ぶに至つた、ついで忽必烈の世となつては彼等の夢想にも忘るゝことの出來なかつた中原統一は成就され國號を元として支那の天下に君臨し、なほ餘威を驅つて二度までも我國を襲つたが事は敢なく失敗に終つた。

百年の後、この元も支那の運命的な易姓革命の潮期に遇つて亡び漢族の明朝がこれに代つた。

こゝに天下は漢民族の世となつた。そして蒙古人は郷土に追ひやられて靜かに眈践の身を横たへた。

然し、二百七十年の後再び滿蒙族勃興の時が到來した。

◇

秀吉の朝鮮征伐の前後長白山中に鬱勃の氣を漲らしてゐた清朝の祖愛親覺羅の山嶺を傳ふてなだれ落ちる軍勢は脚下に朝鮮を驅服し數十年間滿蒙の野に戰ひ暮したが太祖大宗は今の奉天城に據つて後金國皇帝と自稱し、遼西の野に胡馬を喰ひ、兵を練り乍ら、他日中原進出の機を窺つてゐたのである。順治元年八月、太宗の子、世祖（當時六歳）は滿洲八旗二十三萬の精鋭を双翼として北京に攻め上り時の明國皇帝毅宗を自ら縊らしめ、悠々と國都を平定し、滿蒙民族は清朝として二百六十三年の間四億に餘る漢民族の上に睥睨した

ラヂオ英語講座

大連放送局八月七日午後七時三十分

講師大連彌生高等女學校茂谷

第十九回（第十九週第十三課）

IN THE CLASS-ROOM.

1. (Pupil) Sir, may I ask a question?
2. (Teacher) Yes, you may. What is it?
3. How do you pronounce this word?
4. Which word do you mean?
5. It is in the last line but one.
6. Ah, we pronounce it "cinematograph", the accent comes on the third syllable.
7. Please tell me the definition of the noun.
8. A noun is the name of anything.
   Have you prepared to-day's lesson?
9. Yes, sir, I have those poems at my finger's ends.
10. Then, please recite them.
    Oh, you have done very well. Do you understand what is meant by this?
11. No, I don't quite understand it. Please explain it once more.
12. All right.—Now do you understand?
13. Yes, sir, I understand very well.
14. Where shall we begin to-day?
15. From the third line on page 65.
16. Yes, Mr. Tanaka, you may read. You read a little too fast.
    Please read more slowly.
17. Sir, time is up. The bell is ringing.
18. Then so much for to-day.

黒色火藥原料の新製法發見さる

從前の半價で生產さる　硝安工場に代つて供給

【撫順】硝安火藥工場の爆發後新工場設置までは敷地の選定諸機械の購入等で相當の時日を要するものゝ如くであるが、その應急策として古城子黒色火藥製造工場等から補給される筈であるが、採炭上最も多量に要するのは黒色火藥であるが從來その原料は比較的高價であつた爲、撫順炭礦研究所に於ては黒色火藥の原料をより安價に製造する事につき專心研究中の處この程漸く完成從來に比し約二分の一の安價で製造される事に成功した、年々炭礦で消費される黒色火藥の量は極めて莫大なものであるが前記の發見は火藥製造費を半減すると共に製造の簡易化が行はれその利益は大なるものである

高粱が繁つて馬賊の天下來る

惱まされる良民たち

身代金二十萬圓を要求

【新嶺】高粱が繁茂したので各地の馬賊は活動を開始し到るところに出沒してゐるが、今年は例年に比して被害多く人質を拉去して莫大な金品を要求するものが多い去る二日には朝陽石山西方四十支里鐵嶺縣甸水窩子部落農劉某方に兇器持ちの匪賊二名押入り主人を人質として奉票二十萬元を要求立去りたるを屆出により同地公安分所では四日朝討伐隊を派遣大捜査の結果、縣下武家溝の山中で發見交戰數刻の後人質を奪回し彼我共に死傷は無かつたと

昌圖馬賊猖獗

【鐵嶺】昌圖縣下では馬賊の跳梁甚だしく各村落住民は何れも彼等の來襲を恐れ家族を纏めて安住の地を求め昌圖城内を目ざして避難殺到し、二日までに五十家族百八十名に達したるが、これが爲め城内の空屋全部塞がり利に敏い家主は家賃の値上げをしてゐる程であり避難者續々來る模樣である

八面城市街戰

【鐵嶺】八面城では去る一日午後十一時頃市街警備の爲め公安局巡警二十名が連行商務會裏を巡邏中突如三十餘名の賊團を發見し軍隊の應援を得てこれを包圍猛烈なる市街戰を演じたるが、賊團も頑强に應戰して退かず市内各戸の砲臺は一齊に威嚇的發砲を開始し物凄い光景を呈したが、交戰約四十分討伐隊の應援續々到着せる爲め賊團は一方の血路を開き屍體一個を棄てゝ逃走した

賊團白晝横行

【鐵嶺】西豐縣下では大肚川を中心に四五十名一團の馬賊横行し大膽にも白晝に兇行をするもの少からず地方民を苦めてゐるが、今年は例年に比して被害頗る多く賊勢は縣下に三百名位ひ潜伏してゐる模樣あり、官憲も討伐に苦心してゐると

自警團を組織

【吉林】吉林省政府の膝元である吉林近郷に於ては本年入夏以來小馬賊團の出沒頻繁であるが、官憲の討伐は一向其實を擧げ得ないので各郷村に於て自警團を組織して馬賊に對抗して居る、數日前本縣内第四區火石嶺子に十名内外の匪賊現はれ同地居住の熊玉彬なるものを人質として拉去した上に、財物は殆ど掠奪されて尚多額の身代金を要求され家族は全く途方に暮れて居る

討伐隊の苦戰

【公主嶺】伊通縣駐屯陸軍第十四團馬賊討伐隊百餘名は同縣蘇爾蘇の南方放馬溝蔡家を距る五十支里の地點に於て去月末五十餘名の馬賊の一團を發見、之れを追擊懷德縣河東大楡樹東窪子に至るや賊團の逆襲をうけ戰死四名と負傷三名を出した、討伐隊は死者の銃器を賊に奪はれたほどの苦戰をしたのであるが、賊を逸したので伊通縣二十家子遼河の渡船場を嚴重に警戒してゐる

銃器を强奪

【公主嶺】公主嶺の西方三十支里懷德縣大和店居住李向波方に先月二十八日の午後七時軍服着用の十數名の馬賊襲擊しモーゼル拳銃三挺、支那式長銃二挺を奪ひ主人を人質として拉致行方を晦ましたと

松岡副總裁の吉敦線視察（三）

切出される無盡藏の吉林材

河川に代りて鐵道の活躍

◇……南里特派員

吉敦線の通過する吉林縣の東部は老爺嶺及海青嶺山脈が蜿蜒して森林地帶をなし南部は趙大鷄山、平嶺等の小山脈によつて形成せられた高崗が起伏し西部は稍丘陵地なれど地味農耕に適し古い開拓の歴史を有し殆ど鍬を入れぬ所はなく、殊に南方より北方に貫流する松花江及その各支流の沿岸には良田沃野が少くない。

◇

河流の主なるものとしては大富太河、小富太河、樺樹河、海青河、蟒牛河、四家子河、溫德河、鷹河渡通河等で威虎嶺の分水嶺以西は何れも松花江に分流し蛟河からは伐採された木材を筏に組んで吉林へ盛んに流すが、其筏は暗き大樹林の下を或は岩をはむ瀨を或は矢のように早い急流を下るので吉林まで三百五十支里餘（河流の距離）を僅に二日で到着するのだといふ。

◇

吉敦沿線の林業を見るに吉林附近からの松花江と敦化附近からの牡丹江との各上流は全くの原始林で吉敦鐵道を南北に横斷する老爺嶺、張廣方嶺の二大山脈は殆ど人跡を見ない太古その儘の蓊鬱たるものである、而してその兩山脈を中心に各支脈を加へて包容してゐる樹木中針葉樹は一億六千五百萬石、闊葉樹一億八千五百萬石餘で今日知られてゐる主要樹木は唐白松、唐松、針樅、朝鮮松、赤松、一位（赤柏松）春楡、樅、樺、興屯、白楊、唐楓、白丁香、黄檗、胡桃、斧折、三手楓、鹿梨等とされてゐる。

◇

鐵道の開通前から極めて小規模とはいへ林業が行はれてゐたのは吉林縣の東境蟒牛河を中心とする冬出し闊葉材と額穆縣蛟河鎮を中心とする夏出し（齊水の關係で）針葉、闊葉兩林の伐採搬出で、他には殆ど絶無といつてい位であつた、殊に蛟河がその主搬出地で鐵道開通前までの吉林出材十分の三乃至十分の四を占めてゐたことから見ても如何に水運が利用されてゐたかを窺知される。

◇

然るに鐵道開通後の林業を見るに運輸の確實性、運送日數の短縮金融の便利等から豫想以上の出林を示し從來中央集散市場となつてゐた蟒牛河、蛟河への出林が減少して各驛より随意に搬出されるに至つた、殊に敦化の如きは無盡藏とさへ稱せられてゐる長廣方嶺、威虎嶺支脈牡丹嶺等を控へてゐるにも拘らず交通の便が全くなかつたゝめ全然伐採を見なかつたが、鐵道開通後日支の林木商が先陣を爭ひ本年も一千五百車餘の出材を見るに至つた。

◇

斯くの如く死藏されてゐた林業が創始されたことは全く鐵道敷設に因ることでこれは云ふまでもなく松岡副總裁の賜ものであらねばならぬ（寫眞は松花江を下りて吉林に着いた木材の筏）

滿日地方版

奉天

市場改善に支那人側が反對 背後に商務會あるか 近く組合の態度決定

利益の減少 反對の理由

…價組合の決議を無視して勝手な嘆願書を直接會社側に提出し又は領事館までも願書を出せる支那側仲買人は、糶市によれば利益が少くなるとか、なくなるとか等を理由としてゐるやうであるがその主なる者と思はれるもの四軒あり、その他は殆ど雷同したものであらう、然し會社側が野菜商の裏口を締付けにしたといふ件は彼等野菜商が從來生産者から直接取引のため設置してゐた口を閉ぢたまでゞ…等には何等差支へないとのことである、右に關し片山保安主任は語る まだ支那人に就て實際に取調べて居ないから其の間の眞情を知らぬが何れにも理由はある樣である、然し會社側としては多數の意見によりこれを可として實施して居るのだから一部の反對により直ちに怎うすると云ふ事は出來まい、糶市にかけると多少糶上げ幾分高くなるといふ嫌ひはないでもないが市價の公正を作る關係上已むを得ない兎に角兩者間の意見を十二分に究めた上解決したいと思ふ云々

…るゝ、四日組合側から會社側の意嚮を訊して來たが聞くまでも及ばないと引返へさしめ一方組合側の態度を速かに決定するやう督促する處あつた、多分五日迄には組合側出樣如何によつて處置することゝなつてゐる

八十餘萬圓で醫大醫院を改築 第三小學新築も決定

…となり五日起工したが本年十一月までには竣工の豫定である

萬難を排し目的貫徹 會社側の決意

…報奉天市場內の魚業仲買人の引揚問題は未だ仲買組合側の態度決せぬため會社側處置もそのまゝになつてゐるが、會社側では萬難を排して會社及び市場としての目的を貫徹する決意で陳情支那仲買に對しては强硬な態度を示して…

露支問題と寧古塔情況 (二)

寧古塔にて 橫地信果

▲人心の動搖 …

▲…七、在留民保護の名の下に哈爾賓に出兵の準備を整へ居れり ▲日本軍はすでに安奉線にまで運出し居れり ▲國境ポクラニチヤ及び三〇口の日本人は多數ロシヤ人に殺されたり

…揚げたるもの又は故鄕の關裡に引揚準備をなすものさへあり

▲邦人に信賴 中流以上の支那人萬一開戰せば日本軍來る可く、其際には官憲保護をと依賴し來るもの、又貴重品商品の保管方を豫約し來るものがある、知己支那人にて邦字新聞により戰情を知る爲に新聞の借覽を乞ひ、又狀況の問合せに來訪するものが多い

▲經濟上の影響 1、例年當地より輸出さるゝ沿線行きの野菜印等主として食料品は時機に際して事件突發せる爲全く輸出中止 2、雜貨業、料理店、妓樓等例年にあつても夏枯れ時に際しての事變とて殆ど營業休止の有樣である 3、小麥粉、白米等の强制徵收あり支商は極端に苦しんで居る

邦人の狀況

在留邦人は既往に日支交涉、奉吉事件、臨江領事件、沿線日本兵撤退時、張作霖事變等非常時に際會せる事態大なる故に概して狼狽する事なく今回も靜かに時局の推移を知るに努め居れるが、所管先の領事館より時局に關する何等の情報も指示もなく心細き爲
一、一面坡、海林、牡丹江等附近各地の居留民會を聯絡し情報及意見の交換をなして居る
二、ハルビン及沿線主要地の知人に情況の推移に從ひ通信方を依賴して居る

奉天醫院改稱

滿洲醫科大學附屬奉天醫院は八月一日から滿洲醫科大學醫院に名稱が改正された

滿鐵の秋季運動會 九月十五日に

既報の如く滿鐵の秋季運動會に關し協議の結果左の如く決定した
一、日時 九月十五日午前八時から開催
二、場所 舊グラウンド
三、競技種目 從來と同樣
四、その他 今年は優勝旗の外にペナントを授與しその年優勝した組の永久所持となす但し優勝旗は從來通り持廻りとする事

奉天特務機關の新築工事 請負諒解成る

奉天特務機關の新築工事請負人推薦方を陸軍側から直接大連の滿洲土木建築協會本部に依賴し來たので、同本部では沿線は勿論奉天支部にも相談なく理事會を開いたのみで三田芳之助氏を推薦したといふので、奉天支部は憤慨の餘り五名の委員を擧げ直接交涉をなすため二日赴連し打合せを了して五日朝歸奉したが、その一員は語る 本部では直接陸軍側から單獨入札によつて建築したい希望を具陳して來たので多くある請負人から三田芳之助氏を推薦したのみで、何も奉天支部に惡意があつてした事ではないから兩者間に諒解成立し今後又陸軍側から申込みがあつた場合には極力奉天支部にも運動することゝして圓滿に解決して歸つて來た

公費納入成績

本年度第一期間中の公費納入狀態は

賦課額	三三、九二五圓
納入額	二五、六四二
滯納額	七、二八二
(即ち二割強)	
內 日本人	
賦課額	二三、六二九
納入額	一八、四六二
支那人	
賦課額	七、三一九
納入額	五、五四七
外人	
賦課額	二、〇七七
納入額	一、六三三

畑軍司令官

關東軍司令官は五日朝九時發安奉線にて安東に向つたが、驛には各軍隊關係その他官民多數の見送りがあつた、尙司令官は六日一旦歸奉し一泊の上七日十一時四十五分發列車にて鐵嶺に向ふ筈である

岸本氏歡迎句會

柳壇の耆宿岸本水府氏の來奉を機會に奉天川柳會では左の規定で歡迎句會を催す由 宿題 汽車 水府氏選、高粱 五選、句數三句まで、締切八月十日、宛先奉天竹園町三田中運染苑、歡迎會期日八月十三日頃、會場金城館、會費五圓當日持參のことなほ席上水府氏の揮毫を乞ふことゝなつてゐる

人事

▲秦少將 五日安東へ ▲水町少將 七日十三時四十分の急行にて滿奉大連經由歸國の筈 ▲瀨口大每京城支局長 四日長春より過奉京城へ ▲植田大石橋署長 四日歸任 ▲朱紹陽氏(國民政府代表) 四日急行にて哈爾賓へ

京城

朝博工事進む

朝鮮博覽會の工事は目下進捗中で直營館は全部着手、主要館も大部分竣工の域に近づき、特設館も逐日進工中であるたゞこの特設館中には未着手のものがあるので一部には八月卅一日の期日に一齊竣工をきづかつてゐる向があるのに對し事務局では左の如く語つてゐる 直營館の主要なものは最後の裝飾を取付け得るので諸勢館の如き既に內部裝飾に着手してゐる新設館も同樣で未着手なのは臺…興、北海道、大阪、廣島、三重、滋賀等と極く小規模の民間特設館だが、これ等も請負者も決定して兩三日中に一齊着工の運になつてゐる、開會期日が切迫して急に竣工するのは何處の博覽會でも有勝で、外部からはこれで間に合ふかしらと心配されるのが例なのだ、決して後れはしないから安心してもらひたい

京城にて新聞協會大會 九月二十日開催

日本新聞協會では朝鮮博覽會開催を機として來る九月廿日京城に於て第十七回大會開催に決した、出席會員は內地朝鮮、滿洲及び臺灣の新聞通信社幹部百數十名、會長淸浦奎吾伯も出席の豫定で一行の日程は左の如く決定した、朝博事務局及び京城協贊會では接待方法につき目下協議中である
九月十八日 (甲班)午前十時半下關發、午後六時半釜山着(一泊)(乙班)午後十時半下關發十九日午前八時釜山着
十九日 釜山發京城着
二十日 於朝鮮ホテル大會に官民招待晩餐會
廿一日 朝鮮博覽會視察
廿二日 京城府內及近郊視察
廿三日 解散
希望者にて左記日程により金剛山探勝
廿三日夜京城發廿四日廿五日廿六日金剛山探勝廿七日京城歸着

安東

最後迄打まくられ實業軍慘敗す 八對二のスコアにて 全鮮野球平北豫選

京城日報社及び京城每日申報主催の全鮮野球優勝大會平北豫選は六月四日午後四時より新義州體育協會グラウンドに於て平北道廳軍と新義州實業軍の兩チームに依つて開催された、當日は朝來雨降れるも正午過より快晴正四時に手塚球審瀨嶋兩氏審判、平北道廳伊達內務部長の始球式に依つて試合は開始されたが、試合に先だち昨年度の優勝チーム道廳軍より優勝旗の返還あり道廳此の日の出來榮素晴らしく實業の正投手山本を二回目には完全にノックアウトし、小口投手プレートに立つに及んでこれ亦盛んに打まくり續々と得點をなすに反し實業軍は一昨年龍山鐵道の投手として全國都市對抗戰に出場強敵大連滿倶を惱ましたる藤田投手の爲めに打擊を封ぜられ、第四回に僅かに二點を回復したのみにて最後迄壓迫され八對二のスコアーを以て實業軍昨年の恨ならず遂に再度道廳軍をして名をなさしめた、時に午後六時十五分兩軍のメンバー及び得點左の通り

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九
先攻 道廳	1	0	3	1	1	0	0	0	2
實業	0	0	0	2	0	0	0	0	0

平北の出品 朝鮮博覽會に

朝鮮博に平北道よりの出品は總數一千百十六點の多數に上り協贊會では三日夫々之が發送の手續きを終つたが、王子製紙並に日曜公司では特に科學工藝館にも一部出品の筈で、又特設館には高さ七十尺の宣傳塔を建設擴聲器を設置して道勢宣傳隊其他を大いに宣傳する

安東の出品物

朝鮮博に安東縣よりの出品は各種鴨綠江材マッチ軸木、豆粕、大豆小豆、粟、紙類、煙草、柞蠶絹糸其他十數目で近日發送の筈であると
尙目下募集中の同博團體觀覽者は四日まで二百三十餘團體九千餘名に達してゐる

安東簡閱點呼

安東縣在鄕軍人分會の本年度簡閱點呼は十六日點呼官山口金吾中佐臨席午前八時から大和小學校々庭に於て執行の筈であるが本年は被點呼者百五十六人であると

安東現在人口

關東廳文書課の發表に依る本年六月末現在の安東附屬地內人口及戶數は左記の通り內、鮮、支、外人合はせて人口六萬千五百四十六人戶數一萬三千三百二十二戶

	戶數	人口
內地人	二、六九八	一一、四六三
朝鮮人	一、七一七	八、一〇三
支那人	八、九〇一	四一、九六八
外國人	六	一二

となりうち支那人は內鮮人數の二倍以上を數へてゐるが尙漸增傾向にあると

自動車と衝突 鮮童生命危篤

新義州府內眞砂町四番地運送業東興商會給仕張成谷(一〇)は四日午前九時頃公會堂橫を自轉車に乘り通行中前方より疾走し來れる多田商會の自動車と衝突し、約二間ばかりも刎飛ばされその場に昏倒したので早速最寄の德山病院に收容應急手當中であるが、頭部を激打さた爲腦出血を起し居る模樣なので生命を氣づかはれてゐる

兩博士講演會

安東地方事務所主催駒井矢野兩博士の學術講演會は十三日夜安東倶樂部で開催の筈であるが、駒井氏は人類學、矢野博士は滿洲に於ける支那研究に關し夫々蘊蓄を傾ける由

標本採集に

安東中學校水野敎諭は同校生徒十二名並に名古屋醫大生二名と共に四日朝海事局汽船で鴨江下流の海產物、植物採集に出發したが、多獅島、大和島等を中心に約一週間の豫定であると

白米代金橫領

新義州府內若竹町當時安東縣市場通八丁目趙文根(二二)は一昨年七月來榮町二丁目田能滿氏出資の上共同で白米商を營んでゐたが、趙は本年六月以來賣上金六百餘圓を橫領したる由で新義州署で取調…なる取調べを受けてゐたが、四日檢事局送りとなつた

博物館資金募集

安東井上地方事務所長、尾崎警察署長、高橋商工會頭は今般帝室博物館復興翼贊會の參與員に選定されたが、三日三氏は安東署會議室に於て醵金募集に關し協議を遂げた、尙井上氏は支部長兼任である

店飾陳列競技會

安東時事新報にては本月十二日より十六日迄の五日間同新報社主催の下に當地商店協會加盟店の店飾陳列競技會を開催する事となつた

觀世流素謠會

觀世流謠曲界の東都重鎭藤波、淺見兩師は十四日來安山內滿銀支店長外在安同好者の勸めにより同日午後三時半よりすみれに於て左記の通り素謠會を催す由 △弱法師(德富卯之助、工一菊松) △松風(奧野富藏、淺見重壽、藤波順三郎) △藤戶(淺見、藤波、工二)

・・・・・・

安輸組合陳列棚備付 安東輸入組合では最近事務所內に日本陳列棚を設け諸雜貨見本を陳列してゐるが輸入商取引上非常便利であると

人事

▲東京府主催敎育視察團一行二十名は九日來安一泊の上南行の筈 ▲鳥取高等農林學校滿蒙見學團一行十名は十日來安同上 ▲大津商業學校生徒十二日同上 ▲滿鮮行脚中の日本棋院四段國崎節氏は目下京城に滯在中であるが十日頃來安の由

國境一閃

滿鐵總裁の更迭と共に本社地方を通じて相當の人事の異動を見るべきは必然の事であらう▲安東地方事務所地方係長大岩銀象氏の奉天轉任もその一つである▲だが土着の者としては單なる人事の異動として之を看過するわけには行かぬ▲即ち地方事務所長なり地方係長の如きは市民の生活上密接なる關係を有するからだ▲漸く土地の事情に慣れさて態々これからその抱負を具現せんとするに當りて直ちに轉任を見ることは內地の地方行政に於てもその例少しとせぬ▲知事公選說の如きもこの弊を救はんとする現れである▲從つて吾等としては地方係長乃至は事務所長の如きは市民側から推薦する位に迄進むのが本當であらう▲殊に大岩君の如き市民側との理解あり極力福利のために盡力した君の轉任は惜みても餘りあるものといへよう▲井上所長など片腕をもがれたも同然だと口惜しがるのも無理からぬことだ

金州

自動車激增に鑑み道路を改修せよ 事故防止策講考の緊要

近來自動車營業者がとみに增加し車輛數も著るしく增加した爲、道幅狹き金州では危險此の上もなく衝突事故踵を接し雖も此の際これを未然に防ぐべく道路の完全を期する事が急務であらう、道路は完成し新市街との連絡容易となり、既に滿電バスの開通を見て目下此の方面に對する道路改造は差當り必要なきも、當然起るべき問題としては金州城內對外部との連絡關係であらう、人口一萬餘を擁して處狹き迄に建てられたる家、狹き道路、而も暢氣に通行する支那土民、これだけで今後交通事故を頻發することは必然である、而して此れが防止策としては屈曲多き城門入口の改造及城內中央關帝廟橫の道路擴張であらう尤も現在の城門入口を取潰す如き事は古蹟保存上不可能の事實なるも、見透しの利く樣城壁を穿ちて道路を付替ふる事が適宜の處置であるまいか、要は交通事故を未然に防ぎ以て在住一萬餘の安寧を圖るにある

鐵嶺

水泳大會 來る十日に

鐵嶺水泳部主催の下に來る十日午後一時よりプールに於て全鐵の水泳大會を擧行する由なるが、今回の大會は頗る盛大に催される模樣で委員長鑛寄所長以下三十餘名の委員を以て諸準備を進め賞品も多數ありと、水泳部員として出場希望者は八日までに申込まれたしと

水泳認定試驗

當地水泳プールでは四日午後一時より山內倉田山田の三氏委員となり兒童の水泳段級認定試驗を行ひたるが、一級合格者(三百米突以上)九名二級合格者(百米突以上)十六名三級合格者(廿五米突以上)男兒七名女兒七名であつたと

對抗競技の選手決定 連日猛練習

鐵嶺四公對抗陸上競技に備ふる爲め鐵嶺軍選手は連日の炎熱に屈せず猛練習を續けてゐるが、五日午前十一時より運動協會幹部協議の結果全鐵嶺陸上競技部選手を左の如く決定した
▲八百米 磯西、東海林、崔
▲百米 池田、水口、平橋
▲走巾跳 馬、崔、池田
▲圓盤投 室、古賀、篠原
▲千五百米 磯西、田ノ上
▲走高跳 馬、崔、池田
▲砲丸投 山內、古賀、篠原
▲四百米 磯西、崔、田ノ上
▲二百米 池田、平橋、東海林
▲三段跳 馬、崔、水口
▲槍投 室、古賀、篠原
▲八百米リレー 池田、崔、磯西、東海林

庭球選手決定

近く奉天に開催される州內外對抗庭球大會選手として鐵嶺から內倉矢野兩君が選拔された

奉中陸上選手來鐵

奉天中學陸上競技部選手は來る十一日第四回の奉鐵對抗競技に遠征し來る由、鐵嶺軍も陣容成り四地對抗競技を目前に控へてゐる事とて其豫備戰にこれを快諾對抗する事になつたが、前年までの記錄は鐵嶺軍二勝一敗である

岩永氏赴任

長春に榮轉せる岩永機關區長は官民多數の見送りを受けて五日赴任したるが、鐵嶺義勇消防團では氏在任中少なからぬ援助を得たので謝意を表する爲め純銀カップ一對と感謝狀を贈つた

滿鐵社員轉任

鐵嶺機關區勤務機關士竹本喜太郎、丹福一北喜市の三氏は長春機關區に、宗村淸次、西澤光輝の二氏は四平街機關區に何れも轉任の旨發表された

鞍山

滿洲探檢の盲人一行來る 八日演藝會開催

既報盲人探檢隊の一行藤澤襄二、筑波一演、福岡豐の三氏は四日奉天から來鞍したので新聞協會及滿鐵社會係の後援で來る八日午後七時半より實業會堂に於て同一行の後援演藝會を開催する由で一般多數の來會を望むと

撫順

潜航艇式運動始まる 地方委員改選期近づき

現在の撫順地方委員も九月一杯で愈々任期滿了十月一日總改選になるので表面は兎も角潜航艇式の運動が既に火蓋をきられた、市中側は結束をかため共食に陷らぬやう各町內會で理想的公認候補を內定して戰ひにのぞむべく現委員中再出馬するものが多い、又滿鐵側方面は從來の如く各課所を地盤として應戰するものゝ如く相當新顏が出るらしい、今年は撫順の地方的重大問題がいろ〳〵あるので少くとも撫順百年の爲相當經綸を有する人物本位の理想選擧が行はれ市政の刷新が計られる傾向である

長春

健兒が西公園で天幕生活を始む 鐵嶺健兒も近く來る

長春健兒團中南滿でのキャムプ生活に選にもれた三十二名の健兒が長春西公園で天幕生活を始めた、長春では始めてのことなので父兄達も非常に喜こんで態々見物に行くものが多い、近く大連及び鐵嶺の健兒も來て合宿することゝなつてゐるから賑やかなキャムプ村が出現するだらう場所は公園內潭月池の畔で公園とは云ひ乍ら市中の雜音を完全に避け人のあまり立入らぬ草原である竹下、牧等の指導員が何くれと世話をやいてゐるがその日その日の日課は
午前五時半起床、六時半巡閱國旗揭揚、七時朝食、八時作業十一時まで學習、十一時半晝食、一時から三時まで午睡、五時まで學習及訓練、六時夕食、八時會議八時半就寢
と云ふ順序であるが、仲々規律正しい、一番樂しいのは食事と就寢だそうである、毎日作文を作らしてゐるが仲々詩人もある、なかにも面白いのは何處で覺えたか「つばめ」氏の神本君が俳句の一節
うれしやな毛布の上にあばれたり
最初は聽者病舖で便所にも行けぬ子供が多かつたが、二日目からは皆勇氣を出して獨りでゆくと竹下指導員の話、軍隊側でも兒童に萬一のことがあつてはいかぬと夜は二名の兵士を巡回させてゐる

畑軍司令官

新任畑關東軍司令官は九日午前十一時長春到着初度巡視を爲す筈で當日は守備隊兵員が儀仗兵となり第二聯隊、在鄕軍人等警察署前まで整列せる中を乘馬にて檢閱し、同所より滿洲旅館に到り一泊十日午前八時半發歸旅すると

物乞の日本人

去る四日午後零時頃市內羽衣町二丁目居住滿鐵社員近藤正吉方勝手口に見すぼらしい內地人が來て物乞を爲し擧動が不審なので、同家妻女が直ちに泉町派出所に屆出で係官出張取押へんとした所既に姿を晦ました後なので、八方探査中の所又復敷島寮炊事場に現はれたとの知せに直ちに引捕へ取調べたるに、原籍北海道小樽市住江町前平定雄(二一)と云ひ本年二月雄圖を抱いて哈爾賓に赴いたが、事志しと違ひ材木商成田六三郎氏方に世話になつてゐたが關節炎を病み行動自由ならず同家をも放逐されて徒步にて來長したものだと申立てた

開原

聖代の池 凉客で賑ふ

開原驛構內の聖代の池は過般來辨天島の修築を終り夏季の舟遊びに好適地として舟を浮べて銷夏する人々にて昨今賑はつてゐる、過日豪雨出水の際開原河より逆流し來りたる由にて以來魚族も殖え鯉や鮒の尺以上のものが銀鱗を躍らせて居ると

小學校同窓會

開原小學校同窓會は既報の通り四日午前十時小學校講堂に於て開催されたが幹事開會の辭を述べ永野會長の挨拶あり豐村幹事會務を報告し各會員の自己紹介あり次で會長指名にて幹事男子部豐村、高橋、倉岡、俵坂、女子部毛利、千々和、國弘、羽原、山口諸君に決定し記念撮影をなし午後各會員の餘興民謠ハーモニカ獨唱、ダンス無言劇、舞踊等に一同歡を盡して午後三時村田幹事閉會の辭を述べ和氣靄々裡に散會

穗積中尉轉任

開原守備隊附穗積中尉は八月一日付靑森聯隊に轉任を命ぜられ近日中出發赴任の由

公主嶺

夏季は窃盜月 十年間の統計

公主嶺警察署で調べた十年間に於ける統計によれば强窃盜の取わけ多い月は六月より九月に至る四ケ月である、それは暑氣のため窓其他戶締の不完全又は忘れてせぬ向きもあり或はほしものを干場に忘れたりするためで、又支那行商人の徘徊等夏季に多いのも原因、左に十年間の强窃盜の增減を示せば
大正八年窃盜一七七件、强盜六件、同九年窃二〇八件、强七件、同十年窃一五八件、强八件、同十一年窃一七一件、强六件、同十二年窃二〇〇件、强一〇件、同十三年窃二二九件、强一七件、同十四年窃三四六件、强一一件、同十五年窃二〇一件、强一〇件、昭和二年窃一九三件、强一七件、同三年窃一七八件、强一九件の合計窃盜一千九百五十七件、强盜百十一件であると

貔子窩

赤痢患者續出

貔子窩巡査は赤痢に罹り當地病院に加療中であつたが、其後新患者續出し既に邦人八名の患者を出して居る、警務課は之が豫防として當務員は勿論當番員迄召集して各戶に渉り檢病的戶口調査を行つて居るが支那人間には未だそれらしき患者を發見して居らない、時節柄凡ての物が腐敗し易く果物等も出盛る時期であれば各自衞生健康に注意して欲しいものであると

瓦房店

野犬撲殺 狂犬病豫防の爲

當警察署にては目下狂犬病豫防のため野犬撲殺を行つて居るが毎日相當の頭數に上つて居ると

安藤氏榮轉

當地醫院事務長安藤榮治郎氏は今回遼陽醫院事務長に榮轉し、後任として撫順醫院より赤川章一氏が來任する事となつた

遼陽

野球リーグ戰 十八日第一回戰

吾社鞍山支局主催の遼陽以南の野球リーグ戰は四日主將會議の結果十八日第一回戰を翌十九日優勝戰開催のことに決定した

中間驛を慰問

遼陽滿鐵社會係では中間驛在勤社員家族慰問の爲め活動寫眞を映寫觀覽せしめつゝあり其の日割は一日煙臺、二日張臺子、三日十里河四日沙河、五日首山の順で十、十一の兩夜は遼陽滿鐵テニスコートで在遼社員及び家族の爲公開すと

水泳大會延期

全遼陽の水泳大會は十一日開催の豫定であつたが、當日奉天に於ても大會開催に付選手中見學に赴く者もあるので十八日に延期することになつた

土曜會の例會

遼陽土曜會では五日午後七時から滿洲ホテルに於て今回の陸軍定期異動で陞遷する鈴木軍醫監、高田大佐、古岳少佐其他の爲め送別を兼ねた例會を催したが出席者多く盛會であつた

秋季大祭準備協議

遼陽神社の秋季大祭執行には準備協議會を六日午後一時から滿鐵社員クラブ樓上に於て開催した

懇親撞球會

遼陽公會堂撞球部では四日會員の懇親撞球會を催したが、其の結果一等松尾二等渡邊(陽)三等山崎の順で會員一同會食の上入賞者に賞品を贈呈した

郵便局の成績

遼陽郵便局に於ける七月中の成績左の通り ▲普通郵便の引受十三萬九千七百五十二件配達十萬六千二百六十一件 ▲書留通常引受千四百五十三配達千六百三十三 ▲價格表記引受六十五配達百九十四 ▲書留小包引受四百四十四配達千四百廿 ▲代金引換小包引受五配達三百五十三 ▲爲替貯金振出四千六百六十一件金額九萬一千七百五十圓四十八錢拂渡千三十件金額二萬九千九百八十六圓十九錢 ▲簡易保險新規申込五十七件金額七千四百十圓九十錢累計四千九百四十三件金額八十七萬二千六十二圓六十錢

蓄音機を盜む

市內市場町三丁目理髮業王芝方に三十日の午前四時頃家人の熟睡中を奇貨とし表入口の扉を破壞侵入した竊盜は店に備へ付けの上海製蓄音機價格金四十五圓、レコード二十九枚及自轉車一臺合計金百十圓の物品を竊取逃走した

旅順

神職會の巡回講演

滿洲神職會では活動寫眞巡回慰安を行ふ豫定の處、これを變更し巡回講演會を開催し講師として大連琴平神社平田勝重氏は「神社と大和民族としての實際生活」沙河口神社河野讓氏は「建國の由來と國民性」との演題のもとに左の日時各地を巡演することに決定し州外は近く確定する由 八月廿二日貔子窩、廿三日普蘭店、廿四日金州、廿五日柳樹屯でいづれも午後七時からである

旅順驛勢

七月中に於ける旅順驛勢を見るに乘車客一等二十六名、二等五百三十名、三等一萬一千三百七名、合計一萬一千八百六十三名に對し降車客一等三十四名、二等五百二十一名、三等一萬一千三百二十一名合計一萬一千八百七十六名を算した、又手荷物發着に於ては發送に於て無賃扱一千百五十六個(前年度一千百四十四個)有賃扱二百九個、五千百十斤にて到着には無賃扱六百五十三個(前年度六百二十一個)有賃扱二百二十一個(前年度二百四十八個)斤量五千七百六十四斤にて前年度は七千八百十一斤に比し多少の減少を示してゐる、更らに亦生果野菜鮮魚等通常小荷物發送は合計六百三十六個斤量に於て三萬八千八百五十二斤金銀扱ひに係る特殊發送物に對しては百四個に對し二千八百七十斤を示し到着に於ては通常一千六十四個斤量に於て一萬二千六百七十四斤特殊は四十九個に對し三千四十九斤を示した、また收入方面における一時保管料金は十三圓五十錢、保管料金としては九圓四十錢を現し發着貨物に於ては社線に於て發送小口扱二十五噸二四、一車扱七百八十九噸、連絡にては小口扱二十六噸九四、一車扱八百五十九噸、到着社線小口扱八百五十噸二一車扱千九百十噸五、連絡小口扱六十九噸一、一車扱三百四十一噸八を示した

簡易保險業績

旅順郵便局の七月末現在に於ける簡易保險の業績は、受持金口數三千八百十三件で金額にして七十萬六千四百九十八圓四十錢で、七月中に新規增加したのは口數にして五十四口、此の金額一萬六十三圓で、六月中の申込は局員總動員で各家庭の戶別訪問を爲し口數にして百五十六件、金額にして三萬二千二百五十四圓餘の新規加入を見たこれを前年度七月に比較すると口數四十七件に增加の好成績だとの事で、一方郵便貯金は七月中四千三百四十八件で此の受領金額四萬三千八百四十七圓餘の數字を表はし、拂出口數は五百二口で此金額一萬八千七百九十八圓強に上り差引二萬五千四十九圓の預金高を示してゐる、六月はボーナス月と云ふので努めて郵便貯金の宣傳には大童になつて務めたのだが、何分官廳勤めの多い旅順の事で、他の都市の樣に會社員が多からず、反つて秋口の衣更準備の爲めに貯金の引き出しが多かつたのだらうと、それでも年々預金が多くなるのは矢張り月給生活者の都市であるからであらう

名家 日滿 敗退將棋 (其六)

【飯塚氏二回勝三回目】
左香落 六段 △飯塚勘一郎
四段 ▲齋藤銀次郎
持駒 齋藤氏 飛桂步步
持駒 飯塚氏 飛角步步
【局面は前號指了迄の圖】

【盤面以下指方】△七一飛▲六三銀△七四步▲七二步△九一飛▲八八馬△五五步▲七八飛△二六香▲五一桂△八四角▲四一金△四五銀▲五五馬

【對局者の感想】齋藤四段曰く敵の二六香は嚴しい手です止むを得ず五一桂と受けたが攻めに使ふ武器だけに隨分嫌であつた。飯塚六段曰く八四角の手で四五角と打つて七九飛成三四角と攻める手もあつたが三三金と强く凌がれると却つて不利の樣な氣がした。

【大崎八段講評】上手輕く二六香と攻めて敵の最も大切な桂を防禦に費させしは種々の味合あり輕く危險を免れてよろし下手敵が四五龍と上るを五五馬と引きしは輕く凌ぎつゝ逆に銀を攻めんとする含みありて面白し。

フォード トラック

積載量一噸半乃至二噸

信頼すべき最も經濟的なる輸送

四十馬力發動機

複式變速器
前進四段 後退二段
牽引力三分の一増大
特價 百六十五圓

十六葉式後部スプリングの構造圖及
ブレーキの位置及新式鋼鐵圓盤車輪

重力供給式燃料槽・容量十ガロン

カーブレッターはホットスポットの吸入管の特製のものである

特別堅牢なる五個の補助フレームを持つ車臺構造

3/4不能逆轉式操從裝置

乾燥單板式運轉機

變速器は撰擇滑走齒輪式標準のもので前進三段後退一段のものである

冷却は遠心力式循環ポンプ

電池卷線輪及配電器を有するフォード式の簡單な發火裝置

十二葉前部スプリング

前部避震機

前部スプリングの水壓式複動式避震機二個

後車軸は3/4浮動式

フォード式鋼鐵圓盤式車輪

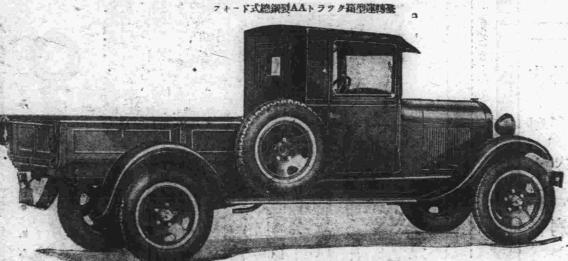
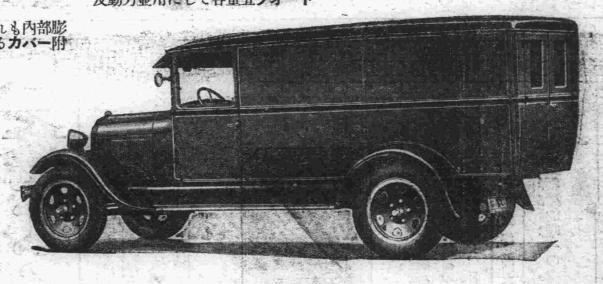
フォードAA式車臺
積載量一噸半……二噸

十六葉カンテイレバー式發條

六個の制動機

足動制動機四個獨立手動制動機二個何れも内部膨張式にて塵埃及水を防止する完全なるカバー附

注油裝置は故障無く壓力式飛散式及動力並用にして容量五クオート

フォード式總鋼製AAトラック箱型運轉車臺

鋼板製配給フォード車臺 標準AA式フォード荷物車臺

フォード製總鋼鐵AA貨車々臺及總鋼鐵運轉臺

乘合自動車用支那製車臺各種 各フォード代理店にて販賣

機構簡單

フォード車の機械の構造は極めて簡單であつて他の自動車に比較して運動個所は半分減じてあります、故に之を修繕するにも極めて簡單で摩滅した爲めに取換るべき部分品の數も減じられます、此の事實は他の自動車部分品取換費用がフォードより五割乃至二倍を要すると云ふ事に思ひ當つた時に自動車使用上重大な問題であります。

輕量にして堅牢

比較的輕量にも拘わらず新式フォードトラックが驚異的車體強力なる所以は九十パーセント以上は鋼鐵製であつて而も三百九十ケ所の電氣熔接及三百ケ所の鋲熔接とによつて車臺の重さを増す事なく強さを増す事が出來るからであります。

Ford

最大能力

發動機は少しの回轉で四十馬力を發生致します全車臺の重要なる部分には二十五個の摩擦防止のボール及ローラーベアリングの裝置があり自動車の力を増大すると同時に車の生命を長からしめます、且つ一噸半乃至二噸の荷物を積載して時速四十マイル乃至五十マイルを疾速する事が出來ます。

トラック

トラックについては最寄りの販賣店で御問合せ下さるならば繪畫入りの説明書を差上げます、尚ほフォードトラックの車臺を各種取揃へてありますから實物について御覽下さい。

大連特約販賣店 **大連モーターセールス商會** 山縣通百十四番地

電話八五四六・七六九九六番

上海フォード自動車株式會社

連山關の林間聚落へ（一）

汽車の窓にうつる安奉線の美しいながめ

青山生

◇安奉線の連山關に林間聚落がはじめられるやうになつてから今年がちやうど六年目、私はぜひ一度いつて見たいと思ひながらいそがしいのと何分にも遠いのとで未だに行かれないでゐたが、二三日まへやうやくすこしばかりひまをこしらへたので、思ひきつて、でかけることにした。

◇私ののつた二十二時大連驛發の夜行列車は、そのあくる日の朝奉天に到着、こゝで安奉線にのりかへる。

◇安奉線は、けしきのよいので有名だ。

◇蘇家屯から小さい驛を四つか五つ過ぎると今までかうりやん畑ばかり見えてゐた窓のまどには低い山が見えて來る。そして、汽車が進むにしたがつて、その山はだん／＼高くなり、兩側からまどに近づいて來る。

◇汽車のまどからはさら／＼と美しい水のながれてゐる小川がしきりに見えそして、その川には支那のこどもがパチャ／＼およいでゐたりした。

◇山には、木が次第に多くなる。

◇火連寨といふ驛のあたりからはいよ／＼山が汽車の線路の兩がはにせまり、汽車は時々ものすごい音をたてゝトンネルの中に入る。あたりはすつかり山國の感じだ。

◇橋頭驛あたりからは山も川もうんと大きくなり、トンネルも多くなる。汽車がトンネルを出ると必ず川が見え、川があると必ず水車場が見える。あとで聞いて知つたのだが、それは、みんなせんこうのこなをこしらへる水車場なのださうだ。

◇汽車が連山關に近づいた頃今まで晴れわたつてゐた青空はにはかにまつくらになつて瀧のやうな雨が列車のまどガラスを洗ふやうにながれる。「こりやたいへんなことになつたぞ」とうらめしさうに空をながめてゐたが、わづか十分間ばかりでカラリとはれ、汽車が連山關についたころは、そらはすつかりあかるくなつて雲のあひだからお日さまがさつとさしてきた。

◇カバンをかゝへて驛におりると林間聚落主事の久世先生がわざわざでむかへにきてくれてゐた。「ようこそ、さあごあんないいたしませう」でつぷりふとつた久世先生が先に立つてさつさとあるく

◇驛前のすばらしくりつぱなポプラの並木道をよこぎつて、ゆるい坂みちを少しばかりのぼるとそこはもう學校だ、そして此の學校が聚落場になつてゐる。

◇學校の前に立つてあたりを見まわすと、どこを見ても青々とした山ばかりだ。はだにさわる空氣が何となくひえ／＼とする。（寫眞は連山關驛前のポプラのなみ木）

童謠　矢車草

大連　武藤カズエ

矢車ぐる／＼
矢車草は
夏のお庭の
風の中
ゆうらり　ゆらりと
ゆれて咲く

七色きれいな
矢車草は
ぐる／＼廻るの
花のやう
さらさらさらりと
吹かれてる

夏の科學　蟬の話（二）

はるみち

一郎。お父さん、蟬は何からできるのですか。

父。蟬のたまごからうまれるのさ。

一郎。蟬も卵をうむの？

父。さうとも、虫はみんなたまごをうむよ。

一郎。たまごをどこにうむのでせうね？

父。木のみきにうみつけるのだ、蟬のめすをつかまへて見るとよくわかるが、めすのしつぽにはのこぎりのやうな形のたまごをうむくだがある。そのくだを木の皮の中につゝこんで白くて少しほそ長いたまごを二れつにうみつける。

一郎。そのたまごがすぐに蟬になるのですか。

父。いや、どうして、そのたまごが蟬になるまでには少くとも十二三年はかゝる。長いのになると十七八年もかゝるさうだ。

一郎。ずゐぶん長くかゝるのですね。そんな長いあひだ木の中にゐるのですか。

父。さうぢやない、うみつけられたたまごは十四五日で幼蟲になる。そして、その幼蟲は木のみきをつたつてぢめんに下り、地中にふかく入つて木の根からしるをすふのだ。この幼虫の生活がまことに長い。しかしいよ／＼蟬になつてからのいのちはたいへんみじかくて、三四日ぐらゐしか生きてゐない。

一郎。ずいぶんみじかいいのちですねえ。

父。それにくらべると五十年も六十年も、或は七十年も八十年も生きられる人間は心からかみさまにおれいを言はなければならないわけだ。

ニドメノ大チヤンノタンケン（83）

ハルミチ作　ジラウ畫

大チヤンハ　オヂサンノ　オハナシヲ　キイテ　オヂサンノ　コノシマニ　キタ　ワケガ　ヨク　ワカリ　マシタ。コンドハ　大チヤンノ　オハナシヲ　スル　バンデス。

大チヤンハ　クロンボヲ　タイジシタ　ハナシヤ　シマノ　ムスメタチヲ　タスケタ　ハナシヤ　モリノ　マワウヲ　シマナガシニシタ　ハナシヲ　オヂサンニ　キカセマシタ。

オヂサンハ　大チヤンノ　ハナシヲ　オモシロサウニ　キイテヰマシタガ　センスイテイガ　マダ　コノシマニ　ツナイデアルトイフコトヲキクト　キウニヒザヲ　ノリダシマシタ。

兒童作品

水泳大會

鄭家屯小學校五年　塚本志津子

今日は私たちが七日間きたへにきたへた水泳の大會がありました。五級の私は浮身競爭をやりました。いよ／＼私等の番が來た時「さあゆきなさい」といふ號令がでた時胸はおどりました。波のしぶきは一滴毎に寒さを覺えましたが、さきを爭つて入りました[illegible]來た時號令がかゝりました。私達は皆一せいに浮きました少しするとはりきれそうないきに「ぷくぷく／＼」と口から出て來ましたもうたまりません。顔を上げて見たら私一人でした。これはしまつたと思つたがもうおひつかなかつた

足

嶺前小學校三年　渡邊マス代

「ますちやんの足はでぶね」と、いふのは内のねえさんです。私はしやくにさはつて、たまりません。私の足はでぶに見えるのかいつもこんなことをいふのです。

私の足はよく虫にくはれるので、はれたやうになります。へつこんだり、ふくれてゐたりして、私の足はへんなかたちをしてゐます。お母様がよく「ますちやんの足はきたないね」とおつしやいます。時々私も「どうして」ときくこともあります。右の足は内中で「おかしい」と笑はれる足なのです。足のかたちが「おかしい」といふのは内中の人です。毎日ほうたいばかりしてゐる。あるきかたもへんなのでせう。内の人は私のあるくたんび、へんなかほをしてゐます。私は「どうしたのか」と思つてゐることもあります「そんなにおかしい」といつもいつてゐます。とくべつ私の右の足は「けがをする足だ」と思ひます。此の間もせんしゆにでゝ、こけた足は右です私はふしぎに思つてゐます。右の足をけがしたのは、とてもいたいです。又左をけがしても、ちよつともいたくないことがあります「それはどうしてゞせう」と、私は思ふこともあります。右の足はいつもほうたいをまかなきやいけないけがをする足です。

ヨワイコドモガ　ツヨクナル

ドイツデハ　リツパナコクミンヲ　ツクルノニ　マヅ　コドモノ　カラダヲ　ジヨウブニ　シナケレバナラナイト　イフノデ　チカゴロ　ヨワイコドモヲ　ツヨクスル　オウチヲ　コシラヘマシタ。コノオウチニハ　オホキナ　オヘヤガ　アツテ　ソノ　オヘヤノマワリニハ　クオーツランプトイフ　オホキナ　デンキノ　ランプガ　ナラベテアリマス。ソシテ　カラダノ　ヨワイ　コドモタチハ　マツパダカニナリ　クロイメガネヲ　カケテ　ランプノ　ヒカリヲ　アビマス。コウシテ　マイニチ　クオーツランプノ　ヒカリヲ　アビテヰルト　ヨワイ　コドモモ　ダンダン　ツヨクナルノデス。

後半戰で滿倶大に振ひ 遂に全大阪を屠る

スコアー十A―九の大接戰

都市對抗一勝者戰

【東京特電五日發】全國都市對抗野球大會一勝者戰たる滿洲倶樂部對全大阪野球戰は八月五日午後一時三十分より明治神宮球場にて全大阪先攻で擧行、滿倶軍は前鬪塚の山口（新入社）をプレートに立てた、最初大阪軍優勢にして五回までに七點を入れ殆ど勝敗の數既に決したと見たが滿倶最後の猛襲物凄く遂に十A對九の大接戰にて滿倶の快勝するところとなつた、球審天知、壘審武滿、試合經過次の如し

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
大阪得點	1	0	3	3	0	0	0	1	1	9
滿倶得點	0	0	0	0	0	3	3	0	4A	10A

五回裏までは大阪七滿倶零

△第一回 大阪長谷川遊飛濱井四球梅田の投飛に濱井封殺中川四球此の時三木物凄い熱球で三壘を突破し梅田長驅生還して一點を先取、森田一邪飛▲滿倶吉野左飛永澤三飛長澤二飛に三者凡退（大阪一滿倶零）

△第二回 大阪濱崎三振鶴田三邪飛高濱遊飛に退く▲滿倶片岡二飛トンネルに生き濱崎のバントに一擧三進したが木原は右翼、宗正は左翼に飛球を呈して空し（兩軍零）

△第三回 大阪第一打者長谷川先づ投手足下を拔き直ちに二盗し濱井三振したが梅田の遊擊安打に生還、中川の左翼二壘打に梅田も還り（此の時滿倶投手山口濱崎と更代し綠川左翼に入る）中川三盗三木投飛に二死となつたが森田遊擊越の安打を放つて中川生還、濱崎三飛に退いたが大阪三點を加へて優勢▲滿倶綠川二飛、疋田遊飛、吉野三飛に大連振はず（大阪三滿倶零）

△第四回 大阪鶴田遊飛、高濱四球、長谷川の三飛不規則バウンドの安打となつて二者生き投手暴投に二三進、濱井四球に一死滿壘梅田三振して二死となつたが濱崎再び暴投して高濱生還、中川の遊飛惡投に長谷川も生還し濱井三進三木再度の安打して濱井を迎え森田投飛に大阪の總攻擊は止んだが、また三點を加え滿倶益々形勢惡し▲滿倶永澤中飛、長澤二飛、片岡左飛（大阪三滿倶零）

△第五回 大阪濱崎左飛、鶴田三振、高濱三飛に走者なく▲滿倶濱崎四球に出たが木原の二飛に封殺、宗正の二飛に木原も封殺綠川は右邪飛（兩軍零）

疋田本壘打し最初の一點を

△第六回 大阪、長谷川四球濱井の二飛に進壘し梅田の二飛後投手三度暴投して長谷川三進するも中川三振▲滿倶、疋田二―三後左中間に見事な本壘打を放ちて最初の一點を擧げ、吉野の左飛後永澤左中間に安打し長澤の中飛後投手の牽制球に乘じ二壘を奪ひ片岡四球に出でダブルスチール成つて走者二三進、濱崎四球を利して、滿壘となり木原二―三後二壘背後に絶好の適時安打を放つて永澤、片岡二者生還、宗正三振したが滿倶三點を返す（大零滿三）

△第七回 大阪、三木左飛森田四球濱崎遊擊右にゴロを打ちあはや安打と思はれたが長澤巧みに之を捕えて森田を二壘に封殺、鶴田三振▲滿倶、綠川四球に出で疋田の左飛後二盗投手の牽制惡投に更に三進し、吉野の遊飛に綠川生還、永澤四球二盗の後長澤の遊三間安打に生還、續く片岡一ボールを得た時（鶴田退きて森田プレートに立ち三田村三壘に入る）長澤二盗片岡の遊三間安打遊擊手の足に當つて球は轉々として二壘打となり長澤も還る、濱崎二飛に退いたが再び三點を返して差一點となる、（大零滿三）

△第八回 大阪、高濱遊飛、長谷川濱井共に四球、梅田の二飛に封殺、梅田長谷川はダブルスチールに出で捕手の二壘に送球するに乘じ長谷川本壘を衝き二壘手すかさず返球したが間一髮にて生還、續く中川の三壘安打に梅田三進したが三木三振▲滿倶、木原三振、宗正右飛、綠川右邪飛して凡退（大阪一滿零）

△第九回 大阪、森田四球濱崎の遊ゴロに二進三田村四球藤尾（高濱の代打）四球に一死滿壘となり長谷川三壘安打し森田生還濱井投飛して本壘に走る三田村と共に併殺され滿倶の危機漸く去る▲滿倶（大阪戸田左翼となる）疋田遊擊強襲の直球安打し吉野左翼二壘打を放ちて疋田生還、滿倶の當り物凄く永澤の左翼越の二壘打に吉野還り、長澤の三飛は不規則バウンドして三壘頭上を越す二壘打となつて永澤生還して同點、スタンド一杯の觀衆總立となりて熱狂す、未だ滿倶無死、片岡の遊ゴロに長澤三進濱崎木原共に敬遠されて四球、一死滿壘となるこの時兒玉、宗正に代つて立ち中堅に犧飛して長澤生還し十A對九にて滿倶遂に勝つ、時に閉戰四時十八分

全大阪

		打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	過失	刺殺	補殺
9	長谷川	4	3	3	0	1	0	2	0	5	0
4	濱井	3	1	0	0	0	1	3	1	1	4
2	梅田	5	2	1	0	1	1	0	0	2	0
8	中川	4	1	2	0	0	1	1	0	3	0
3	三木	5	0	2	0	0	1	0	0	7	0
15	森田	3	1	1	0	0	0	2	0	1	1
6	濱崎	5	0	0	0	0	1	0	0	2	3
1	鶴田	4	0	0	0	0	2	0	1	0	1
5	三田村	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7	高濱	3	1	0	0	0	0	1	0	5	0
P.H	藤尾	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
P.R	太田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	戸田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	36	9	9	0	2	7	11	2	26	9

滿倶

		打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	過失	刺殺	補殺
5	吉野	5	1	1	0	0	0	0	0	1	1
4	永澤	4	3	2	0	3	0	1	0	2	2
6	長澤	5	2	2	0	1	0	0	1	1	6
2	片岡	4	1	1	0	1	0	1	0	8	1
17	濱崎	1	0	0	1	1	0	3	0	1	2
9	木原	4	0	1	0	0	1	1	0	0	0
8	宗正	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0
P.H	兒玉	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
1	山口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7	綠川	3	1	0	0	1	0	1	0	2	0
3	疋田	4	2	2	0	0	0	0	0	12	0
	合計	34	10	9	2	7	2	7	1	27	13

本壘打 疋田
二壘打 中川―片岡―長澤―永澤
暴投 濱崎三
併殺 濱崎―片岡―疋田
試合時間 二時間四十八分

バツトの響

山口は關西に永く居たため大阪軍に球質を知悉され濱崎平日のコントロール無く戰ひは前半滿洲軍に取つて非常に不利であり殆ど勝敗決したかの觀があつたが、主將疋田第六回滿倶最初の安打（しかも本壘打）を放ちて當りの止まつた滿倶軍に元氣を加へ出し、しかも九回また彼が最初の安打に出て勝因を作つてゐる、其他長澤永澤が依然として良く當り滿倶は其の果敢な鬪魂と練習に鍛へられた實力とで遂に難關を切拔けた

門鐵快勝 八A―三で全神戸に

【東京五日發電】全國都市對抗野球一勝者戰神戸對門司は五日午後四時四十分より神宮球場に桐原、高須兩審判のもとに神戸先攻で開戰、八A對三で門鐵二勝した閉戰同六時五分、尚神戸の森口は本壘打を打つた

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
門司	0	0	0	4	0	0	0	0	4A	8A
先攻神戸	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3

バツテリー 門司（山口、山下） 神戸（原口、今北、森口、片岡、横山）

准決勝戰戰績 九對三のスコアで門鐵軍敗北す 對名古屋鐵道軍戰

【東京特電六日發】全國都市對抗野球大會の准決勝戰たる門鐵軍對名鐵軍の試合は六日午後零時半より名古屋の先攻で開始されたが、門司第一、二回に一點づゝを入れ二點を先取して氣勢をあげたが名古屋は第三回に奮起して一擧四點を奪ひ二點をリードし更に第四回三點を入れて優勢を持し七回再び二點を加へて九點を得たるに對し門司は第八回僅に一點を恢復したのみで遂に及ばず九對三で名鐵軍快勝す

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
門鐵	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
先攻名鐵	0	0	4	3	0	0	2	0	0	9

無事周水飛行場に到着の旅客機

十九の店員、主金を拐帶 馴染み女と逃亡す

四千五百餘圓を銀行から引出し 旅順に潛伏中を御用

大連柳町五三建築請負業松尾利作かた店員川崎幸雄（一九）は五日午前九時ごろ主人の命で大山通り一二正隆銀行振出し額面一千六百二十圓、伊勢町六九滿洲銀行振出し額面二千九百四十二圓、計額面四千五百六十二圓の小切手二枚と當座預金帳を携行、これを預金すべく兩銀行に行つたが、遂に拂戻して拐帶し逃走姿を晦ましたので午後二時半ごろ松尾の訴へにより大連署にて搜査の結果正午ごろ豫ねて馴染みを重ねてゐる逢坂町六九貸座敷第五豐榮樓抱え酌婦染奴こと岡田ミサヲ（二〇）と諜し合せ自動車で旅順方面へ逃走したこと判明、保坂、山本、安部の三刑事は被害者松尾と共に自動車を飛ばして赴旅、旅順署と協力し午後四時五十分ごろ同地青葉町旅順ホテルに潛伏し居るを發見逮捕して引き揚げたが、拐帶金の大部分はまだ所持してゐた

女を身受けして 内地へ高飛の心算

女は餘りの大金に怯氣づく

右に關し川崎は銀行より金を引き出すとその足で遼東カフエーに行き染奴に旅順に行くから仕度をせよと命じ直ちにふじタクシーに乘つて女の許に行き女と同乘して旅順に行きましたが、途中女が落籍して呉れと云ふので旅順に着くと同時に前借金を支拂ひそして六日出發、陸路内地へ高飛する心算でしたと語り、この道伴れになつたステツキ酌婦

染奴は 川崎が途中自動車の中で主金を拐帶して來たから内地へ行かうと思ふ、お前も一所に行かないかと云ふから落籍して下さいと云ひました、旅順に着いて何れ程拐帶して來てゐるのか、川崎が便所に立つた後でソツと調べて見たら餘りの大金に驚き且つ恐ろしくなり仲居に相談する心算で川崎に對し落籍するならおばさんを呼んで支拂ひしやうと仲居を呼び寄せました、之れが足のついた原因です

と洒々話してゐた

柳町區費を 横領消費

約百五十圓を

四千五百餘圓を拐帶し情婦染奴と逃走した大連柳町五三建築請負業松尾利助かた店員川上幸雄（一九）に對しては引續き取調中の處、同人は雇主松尾氏が南山麓の區長たるを奇貨とし勝手に領收證を作成し五圓、三圓と區費を徴收し之れを松尾氏に告げず市中の各カフエー蕎麥屋、貸座敷八千代樓、品川樓、第五豐榮樓等で飲食、遊興に費消した事實あり、三十六件、約百五十圓の横領額だけは判明してゐるもまだ被害を蒙つてゐる區長が幾人あるか判明しないので松尾氏も閉口してゐる模樣である

通信妨害のため 電線を切斷

五日夜大官屯附近で 十三時間通信杜絶す

【撫順特電六日發】近來通信機關の被害頻發してゐるが、五日午後十時二十分大官屯驛を距る六キロの地點鞍爾屯信號所附近の大連、撫順間及び奉撫間の電信電話線を通信妨害の目的で切斷した五名組の匪賊があつた、その爲め大連、奉天と撫順間との十三時間通信杜絶した、撫順局では六日午前七時黒顯技手外八名現場に急行應急修理の結果六日午前十時十五分漸く復舊した

裏切つた染奴（上）と主金拐帶の川崎

馬賊現はれブローニング及び獨逸製長銃をつきつけられてその場から拉致され、三十日吉林縣邊神の林間中につれ行かれ大洋三萬元の身代金を要求されたが、去月一日午前一時頃賊の隙を窺つて脫出し陶家屯に歸還した、賊はかくと知つて奪還に向ふらしいので當局は警戒中である

京大生旅行團

京都帝國大學々生鮮滿北支外交經濟軍事見學旅行團は大野熊雄氏引率の下に十日夜連絡船にて下關を發し朝鮮經由十五日午前八時五十五分安東に入り奉天、撫順、長春哈爾賓等沿線見學の上二十二日奉天發一路北平に到り更に天津より海路廿九日大連着、九月三日迄旅大を見學し同日大連出帆の定期船にて歸京の豫定だと

少年を人質

【公主嶺】懷徳縣の南方王家子に先月三十日夕刻現はれた五十餘名の馬賊團は、軍裝をなし十四五歳の少年を人質として連行内二名は王及高と稱し同地の實家に對し之れが贖金として奉票二萬圓宛強要してゐると

虎口を逃る

【長春】陶家屯の南方五十支里懷徳縣三合屯居住豪農玉榮胡（二八）は去月二十九日午後六時頃附近高粱畑を通行中、突然畑中から六名の

けふのラヂオ

昭和四年八月七日（水曜日）
二、英語講座 第十三課教室にて 大連彌生高等女學校茶谷茂
三、ギター獨奏（イ）アンダンテ、ソナチネよりジユリアーニ作品七一ノ一（ロ）落葉の精武井守成作品二十七 滿鐵音樂會 荒井善次
四、萬歳 福樂キートン、立花家秀丸
五、尺八本曲二重奏 噴水塔 一部濱島主除 二部草崎主山
六、支那唱 石邦人招親 唱李筱寶、師付王振泉

プロ作家の 葉山嘉樹氏來る

日本一周旅行團に參加して 「無思考時代」を語る

過去數年來例の「淫賣婦」や「海に生くる人々」等の傑作を通じて現下日本の無産派文壇に斷然代表的作家としての地位を築きつゝあり前日本大衆黨中央委員のいかめしい肩書を有つ文藝戰線派のプロ文士葉山嘉樹氏は六日朝日本一周旅行團あめりか丸で來連したが卅六よりは若く見へる日に燒けた黒い元氣な顏で率直に内地に於ける濱口内閣の人氣や大連の第一印象に就いて滿洲は初めてです、左の如く語る

大連で暢んびりした好い所ですね、贅食を喰つたヤマトホテルなんか帝國ホテル見たいに贅澤ですね、一體に餘裕がある土地にも人にも……之が第一印象「改造」や其他の新聞雜誌の依賴で材料の蒐集に來たのですが内地の無産政黨の連中なんか今迄餘り滿蒙問題に對して冷淡でしたね、抽象的な理論よりも先づもつとよく滿蒙を研究する必要を痛感しました、内地は今や「無思考時代」といふことが出來ます、富める者は富めるなりに無産者は無産者として一體に生活指導精神といふものが失はれ生活態度がニヒリステイツクとなり生活に追はれ喘ぎ「明日」の生活を深く見極めることをしないのです、深く考へることが苦痛な時代なのです、殊にプチブルジョアーや智識階級にこの傾向が著しいですね、ジャズ文化、銀座の裏表通りに二百軒から在るカフエーの繁昌、就職難、自殺者の激增等は彼等が明日を考へないで現實を誤魔化しそれから逃避しつゝある傾向の具體的な現れです、暗い絶望的な明日を考へないで眩惑しいテンポの狂噪的なジャズ音樂、ダンスで刹那的に日を送る……世紀末的現象ですね、濱口内閣の緊縮政策で不景氣と失業問題は益々擴大するでせう日本大衆黨では失業反對同盟でこれに向つて準備してゐます、現在支離滅裂に混亂せる無産派の政治戰線は多少の曲折あるとするも近く先づ左翼から統一されるでせう【寫眞は滿蒙物資館を出る葉山氏】

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
京城	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4
滿倶	3	0	0	3	0	0	1	1	0	8

愛慾の窓 (62)

戸川貞雄 作
淺枝次朗 畫

金 (三三)

「……不良少年か、さうか、仲々面白い子供ぢやの、何といふ?龍吉と云つたかの?」

と、英太氏は眼を細くして――しかし細めた眼瞼の蔭では、鋭く眼を光らして、ぢろ／＼と龍吉の顔を眺めて云つた。

「いくら欲しいのぢやな、小僧さん」

「……二百圓さ!」

と、龍吉は吐き出すやうに答へた。

「よろしい、たつたそれだけなら現金で手許にある。今、持つて來て上げよう。はゝ、面白い奴だ」

と、英太氏はのつそり椅子から腰を離け、スリッパで床の絨氈を踏み占めながら、扉の外へ出て行つた。

「……親父さんはやつぱり親父さんだけのことはあるね、おぢさんは駄目だな、そんなケチ臭い根性ぢや、小森の屋臺骨は背負つてけねえぞ!はツはゝゝゝ」

龍吉は、煙草の烟を吹かしながら、英輔を揶揄つた。

そこへ小間使らしい綺麗な身じまひの婢が、銀盆に紅茶のセットを盛つてはひつて來て、龍吉の前と英輔の前に茶碗を置くと、紅茶を淹れ、ミルクを滴して、もの靜かな會釋で去つてゆく。

龍吉は、肱掛椅子にひよいと移つて銀を据えると、無遠慮に茶碗を取つて一口二口飲んでから、英輔の顔を見た。

「……これからも時々來るぜ、をぢさん!うるさいかも知れないが小森商事で御厄介になつてゐる仁科美智子の弟だ、仲好くしようね」

英輔は、苦蟲を嚙み潰したやうな顔付で、横を向いてゐる。

扉を引開けて、英太氏が引返して來た。

「……さ、二百圓上げる、持つて行け」

差出す紙幣を、龍吉はひよいと攫ふやうに取つてちらと眺めてから、素早く内ポケットへ押し込んだ。

「有り難う!では引上げるとするか、だが、やけな吹き降りでゐやあがらあ!」

「……送らせようかの?」

と、英太はきらり眼を光らした。

「……何處へ?」

と、龍吉もきつとなつた。

「……警察へぢや!」

「……ウヌ!そんなことだらうと思つたよ!二百圓ぽッちの端た金だが、攫るだけは攫つても、出すことは舌せへ出したがらねえッて評判の小森か、馬鹿にアッサリ出しやあがつたと思つたら!」

龍吉はせゝら笑つた。

もうその瞬間には、ドアを押し明けて、多分この邸の詰襟巡査であらう、警官が先に、その後には書生が二人、どか／＼と應接間へ闖入して來てゐた。

「……その小僧ですか?」

「さうぢや、面倒でも送つてやつてくれ!懐には恐喝の二百圓かはいつてゐる」

「……畜生!折角久振りで拜んだ紙幣だ、二度と再び吐き出す龍吉ぢやあねえや!いづれ御禮はするぜ、あばよ!」

ひらりと身も輕々と、長椅子を躍り越えて、龍吉は窓際へ驅け寄つたが、素早くカーテンを引くと同時に、から／＼と窓の扉を明け放つた。いざといふ場合の用心にかねて錠は外して置いたものと見える。どつと吹き込む突風に、室内の調度が何か床へ落ちた。ぴか／＼ッと眼も眩むやうな電光、間もおかず百雷一時にくずれ落ちるかのやうな霹靂……。はつとなつて、彼等がたぢろぐ刹那をもう龍吉は窓の縁に跨つて

「……はつはゝゝ!此度はお天氣のいゝ晩に來よう!」

さう云ひ捨てたかと思ふと、忽ち雷鳴と暴風雨の荒狂ふ闇のなかへ消え去つた。

新刊紹介

▲文藝(八月號)東京市牛込區新小川町二丁目文藝社(定價二十五錢)
▲東亞(八月號)東京市京橋區南紺屋町四番地文録社(定價二十錢)
▲滿洲遞信協會雜誌(七月號)大連滿洲遞信協會(定價五十錢)
▲大乘(八月號)京都府紀伊郡堀内村印刷部内五一の一大乘社(定價四十五錢)
▲農業世界(八月號)東京日本橋區本石町三丁目博文館(定價四十錢)
▲海友(八月號)大連市寺内通三番地大連海務協會(定價三十五錢)
▲滿鮮情報 京城府旭町一丁目二十七番地滿鮮情報社(定價二十錢)
▲印刷雜誌(七月號)東京牛込區矢來町三十一印刷雜誌社(定價七十錢)
▲工事畫報(七月號)東京仲通り四號工事畫報社(定價七十錢)
▲畜產雜誌(八月號)北海道廳内北海畜產協會(定價二十錢)
▲支那問題(七月號)北京東城豆腐巷十七號支那問題社(定價五十錢)
▲社會研究(八月號)大連松山臺五滿洲社會事業研究會(定價六十錢)
▲實業界(八月號)東京市麴町區平河町實業界社發行(定價五十錢)
▲農民(八月號)東京府北多摩郡千歲村八幡山八全國農民藝術聯盟(定價十錢)
▲滿洲經濟時報(七月號)大連加賀町六番地同時報社(定價五十錢)
▲海外(八月號)東京市外落合町文化村海外社(定價四十錢)

水府先生歡迎句會

一、會場 市内中央公園南華園内
一、日時 八月七日午後四時より
一、會費 金壹圓(先生短册贈呈)
一、賞品 宿題三光五客
一、宴會 當日午後七時登瀛閣にて(會費金貳圓當日持參)

主催 大連各川柳會
後援 滿洲日報社